

lewtop

塩化ビニル樹脂系シート防水 2015

iewtop

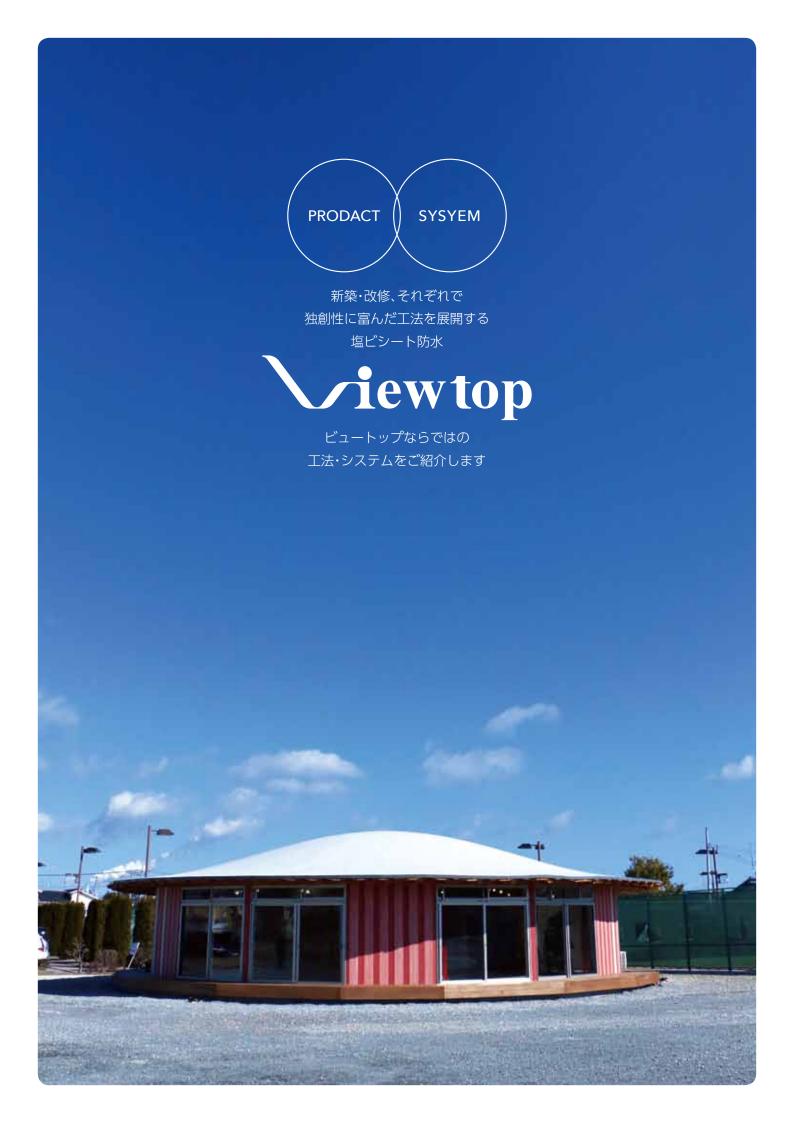
屋上に次代の価値を創造するビュートップ防水

雨を防ぐという基本性能はもちろん、多彩な仕上げやさまざまな状況に適応できるシステムを備えた 塩ビシート防水の新標準、それが「ビュートップ」です。





T17	ビュートップ防水に <mark>つい</mark> て	4	シールド工法(既存塩ビシート防水改修工法	去)12
目次	仕上げの種類	5	立上り乾式かぶせ工法	13
	防水システムの紹介	6	施工方法解説(接着・機械的固定)	14
	サーモコントロール断熱	7	仕様番号の見方・共通注意事項	15
	高反射塗料	8	防水工法	16
	断熱材	9	技術資料	53
	GI工法(断熱接着工法)	10	納まり図例	63
	DIPS-VIT(ルーフデッキ下地対応工法)	11	材料紹介	77



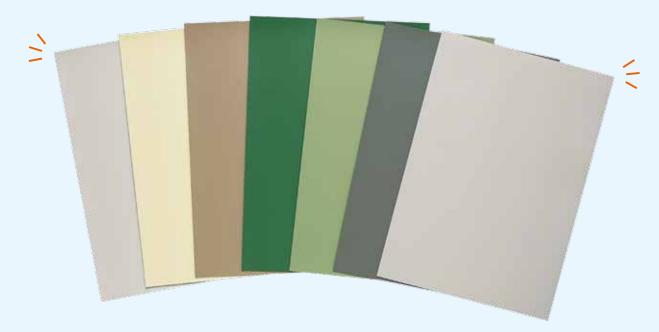


「防水」

という機能を全うする

カラフルなカラーバリエーション

ビュートップはガラス繊維を心材とした塩化ビニル樹脂系シート防水材です。 耐候性や強度、寸法安定性などに優れ、厳しい屋上環境の下で長期にわたって建物を守り続けます。 カラフルなカラーバリエーションに加え、高日射反射機能を持つタイプなども取り揃えています。



一体化による水密性の確保

熱や溶剤で溶ける塩ビ樹脂の 特長を活かした防水システム です。

ジョイント部のシートは、熱や 溶剤で溶融し接合することで 一体化し、高い水密性を確保 します。



鳥害に強い

露出防水では、カラスなどの 鳥により嘴でつつかれたり、 引き裂かれたりする事例が 確認されていますがビュー トップ防水では、鳥害による 漏水事例は確認されていま せん。



自己消炎性機能がある

塩ビ樹脂で構成されているビュートップシートには 自己消炎性があります。

火種を近づけると着火しますが、取り除くと燃え広がら ずに火が消えます。

火種あり





火種 なし

安心の「F☆☆☆☆」取得

シックハウス対策に配慮し、「F☆☆☆☆基準適合」の接着剤を取りそろえています。



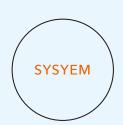




VTボンド



シールドボンド



屋上に 新たな機能を生み出す

多彩な仕上げが可能

色調豊かな意匠だけではなく、用途・目的に応じた仕上げが選べるのがビュートップです。

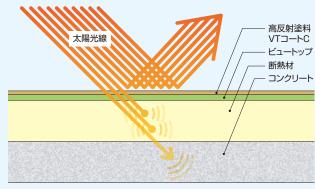
○高反射塗料「VTコートC」と断熱材の組合せ

ビュートップはシートそのままでの仕上げが可能ですが、保護塗料による仕上げがおすすめです。

「VTコートC」は、高反射機能タイプの保護塗料。 特に断熱工法との併用で効果を発揮します。

防水層温度が上昇する夏場、断熱材の上はさらに過酷な温度となり、防水層の劣化が進行する要因となります。そこで高反射保護塗料を用いると、温度上昇の原因となる近赤外線を反射。防水層温度上昇を大幅に抑えます。田島ルーフィングでは、断熱と高反射塗料の組合せを「サーモコントロール断熱」と名付け、防水層の延命化だけではなく、躯体の保護、省エネなど様々な効果を生み出すシステムとして提案しています。

遮熱+断熱=サーモコントロール断熱



- ① 高反射塗料が太陽光線中の赤外線を反射
- ② 熱エネルギーの通過を断熱材が防ぐ

○高耐久·防汚塗料「VTコート」

VTコートは、ビュートップシートと同系色の、耐久性・耐汚染性に優れた保護塗料です。一般の塩ビシートに生じがちな表面のべたつきに起因する汚れを抑え、長期にわたり美しさを保ち続ける効果があります。また、シートに含まれる可塑剤の揮散を抑制することで、シートの柔軟性を持続させて高い耐久性を付与します。



防滑性シート仕上げ

p.45

ビュートップ施工後、防滑性のある ビニル床シート「ビュージスタ」で 仕上げると、屋上やバルコニーが快適 な歩行空間に生まれ変わります。

屋上緑化



屋上スペースの有効利用として、定着しつつある緑化。

ビュートップでは、省管理型の薄層 緑化ユニットなども取り揃え、屋上 緑化を身近にしています。

ヘリサイン

p.47



夜間でも、優れた視認性を誇る「フレクターフイルム」は、ビュートップ表面をプライマー処理するだけで施工できる災害対策用へリサインです。

適応するシステム

シート以外の材料との組合せによるシステムが、新築はもちろん改修その他様々な状況に適応します。

断熱接着工法

p.10•p.19



断熱工法は、機械的固定が一般的と されてきた中、硬質ウレタンフォーム 上に、ビュートップを全面接着で 施工する耐風圧性に優れた工法です。

断熱軽歩行工法



断熱材上に、特殊鋼板を敷設して ビュートップを施工。

断熱防水の軽歩行を実現しました。

ルーフデッキ下地

p.11 • p.41



「屋根30分耐火認定」を取得した ルーフデッキ上に、直接断熱防水 施工することで、軽量かつ工期短縮 を実現する構法です。

既存塩ビシート改修

p.12·p.37



経年劣化した塩ビシート上に、専用マットを敷設した後、新規シートを施工する、かぶせ改修工法です。

既存折板屋根改修工法

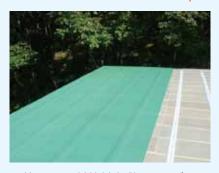
p.40



ハゼ式、重ね式などの折板屋根上に、 金属製レールを敷設し、断熱材を用い て平滑な下地を作った後、ビュー トップで仕上げる工法です。

既存瓦棒屋根改修工法

p.39



瓦棒の間に断熱材を敷設し、ビュートップにて仕上げます。 断熱効果や雨音低減効果を生み出します。

立上り乾式かぶせ工法

p.13

機械的固定工法による改修の際、既存アゴ付立上り部分にパネルで下地を作り、シンプルに仕上げる工法です。

架台ウレタン防水併用工法

専用プライマーの採用で、ウレタン 塗膜防水の併用を実現しました。 架台回りなどの複雑部位の納まりも 安心です。

ソーラー用乾式架台

p.49



設置機会が増えてきた、太陽光発電システムも、防水層取り合い部の処理を誤ると漏水につながります。 防水納まりに充分配慮した、専用の乾式架台をご用意しました。 **SYSTEM**

サーモコントロール断熱

遮熱・断熱を組合せて建物や屋内温度環境に大きな効果を生み出す

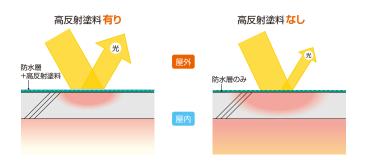
特長

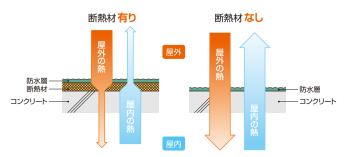
①遮熱効果

太陽光は物に当たると熱エネルギーに変換されます。 遮熱とは、太陽光、特に熱エネルギーとして吸収されやすい近赤外 波長領域を反射させることで、この熱量を軽減する機能のことです。 高反射機能を持つ塗料を防水層表面に塗布することで、近赤外波長領域を反射し、夏場の屋上表面温度を下げる効果が得られます。

2断熱効果

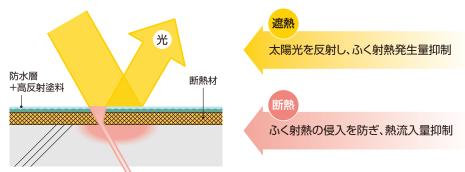
断熱工法では、断熱材の部位で熱の行き来が制限されるため、外気温の影響が少なくなります。また、室内冷暖房の熱が流出するのを防ぐ効果があります。断熱工法には、建物の内側に断熱材を設ける「内断熱」と、外側に設ける「外断熱」の2種類があり、構造体の保護という視点から、現在は「外断熱」が主流となっています。





❸遮熱+断熱それが「サーモコントロール断熱」

高反射塗料+断熱材



外断熱防水に高反射塗料を組合せると、特に夏場において、双方の優れた点を足し算した効果が得られます。高反射塗料によって、熱エネルギーに変換されるふく射熱の量が減らされ、減量されたふく射熱が屋内に伝わろうとするのを断熱材が妨げます。

遮熱+断熱の2段階で、屋内の温熱環境をより安定した状態にするのが

「サーモコントロール断熱」です

機能性保護塗料がサーモコントロール断熱を支える



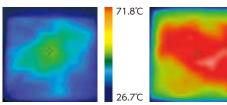
グリーン購入 高日射反射率防水適合品 【特許番号】特許 第4698997号

1 高反射性能

VTコートCは、熱の要因となる近赤外波長領域の反射率が70% 以上という高反射性能を持ち、夏季における屋上表面温度を 大きく下げる効果*があります。

*赤外ランプによる当社試験による比較

サーモグラフィーによる表面温度の比較



VTコートC T-25(ライム) 温度差18℃ 最高温度:53℃



VTコートCなし 最高温度:71℃



試験の様子

カラーバリエーションと反射率







T-10 パールグレー T-25 ライム

T-35 グレープ

- ※シートの色はV-12(ライトグレー)をご使用ください。
- ※日射反射率の測定は、JIS K 5602に準じます。
- ※各見本の色は印刷上現物と幾分の色差がありますのでご決定の際は現物 見本等をご確認ください。

近赤外領域日射反射率(780~2500nm)

色	近赤外領域日射反射率(%)
T-10 パールグレー	76.9
T-25 ライム	72.2
T-35 グレープ	76.6
T-45 サハラ	72.3

2高耐久機能

塗料皮膜が、紫外線・熱による表面クラックの発生を抑制します。 また、塩ビシートに含まれる可塑剤の揮散を抑制するためシート の柔軟性を長持ちさせ、シートに高い耐久性を持たせます。

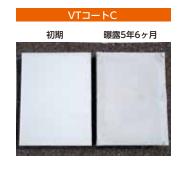
可塑剤残存率の比較 100 95 可塑剤残存率(%) 90 85 ◆ VTコートCあり 80 ◆ VTコートCなし 75 1000 1500 促進老化時間(時間)



VTコートCなし

3防汚機能

表面に汚れがつきにくい塗料皮膜を形成することにより、一般の 塩ビシートのような、表面のべたつきによる汚れも少なく、長期に わたり美しさと高反射性能が持続します。





PRODACT

省エネルギー、屋内温度環境改善、躯体保護などを実現する

特長

断熱材の種類が豊富

工法に合わせて用意した断熱材は4種類。それぞれに特長を備えた顔ぶれです。

機械的固定工法用断熱材

VTボード

(硬質ウレタンフォーム)

熱伝導率:0.023W/m·K

熱伝導率が小さく、耐久性・寸 熱伝導率:0.028W/m・K 法安定性・透湿抵抗に優れた ノンフロン断熱材。

スタイロフォーム RB-GK-II

(押出法ポリスチレンフォーム)

両面のスキン層により透湿係 数と吸水性が非常に小さく、断 熱性能の低下しにくいノンフ ロン断熱材。

接着工法用断熱材

GIボード

熱伝導率:0.023W/m·K

強固に下地へ固定。

(硬質ウレタンフォーム)

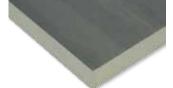
熱伝導率が小さく、寸法安定性 に優れている。両面の特殊面材 と専用接着剤によって、長期間

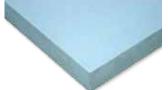
PEフォーム

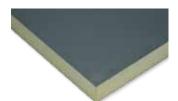
(ポリエチレンフォーム)

熱伝導率: 0.037W/m·K

柔軟性があり、下地になじみや すく、耐溶剤性に優れた断熱材。









住宅の省エネルギー基準に基づく断熱材の厚さ

		改正省エネ基準 助 国土交通省告示第907号 2013年(平成25年)					次世代省エネ基準 建設省告示第998号 1999年(平成11年)			
都道府県名※1	地域区分	断熱材の 熱抵抗値	断熱材の 断熱材の厚さ(mm) 物料な		地域区分	断熱材の 熱抵抗値	断熱材の厚さ(mm)			
	分	屋根 m·K/W	GIボード VTボード	スタイロフォーム RB-GK-II	PE フォーム	分	屋根 m [•] ·K/W	GIボード VTボード	スタイロフォーム RB-GK-II	PE フォーム
北海道	1.2	3.0	70	85	115 **	I	3.0	70	85	115 *2
青森県·岩手県·秋田県	3	2.2	60	65	85	Π	2.2	60	65	85
宮城県·山形県·福島県·新潟県·長野県·栃木県	4	2.0	50	60	75	Ш	2.0	50	60	75
茨城県·群馬県·山梨県·富山県·石川県·福井県·岐阜県·滋賀県·埼玉県·千葉県·東京都·神奈川県·静岡県·愛知県·三重県·京都府·大阪府·兵庫県·奈良県·和歌山県·島取県·島根県·岡山県·広島県・山口県·徳島県·香川県·愛媛県·高知県·福岡県・佐賀県·長崎県・熊本県・大分県	5.6	2.0	50	60	75	IV	2.0	50	60	75
宮崎県·鹿児島県	7	2.0	50	60	75	V	2.0	50	60	75
沖縄県	8	1.4	35	40	55	VI	2.0	50	60	75

- ※1. 市町村によっては他の地域に区分されることがあります。
- ※2. PEフォームは最大60mm(30mm 2枚重ね)までの対応となります。

- ・適用には開口部比率の基準を満たす必要があります。
- ・低炭素建築物認定に適用することはできません。

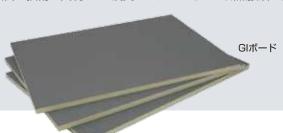
シャ シャスティ シャスティ かんしょう かんしょう かんしょ しんしゅう かんしょ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	閉口部比率の其淮	

住宅の種類	1~3地域	4~8地域
一戸建て	0.11未満	0.13未満
共同住宅など	0.09未満	0.08未満

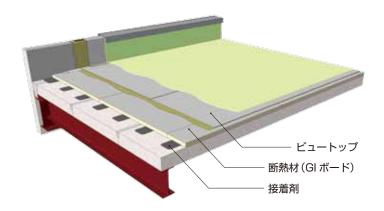
SVSTEM

GI工法

独自の技術で実現した、硬質ウレタンフォーム断熱接着工法



仕様例



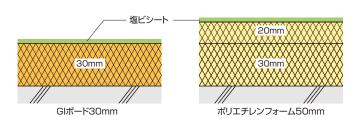
GIボードは、接着固定が可能な硬質ウレタンフォームで、優れた断熱性能を誇ります。

GI工法は断熱材を含めプレートなどの各部材も接着固定するため、特に耐風圧性に優れたシステムとなっています。機械的固定に必須の穿穴を必要としませんので、躯体への負担軽減、騒音・振動低減などの効果があります。

特長

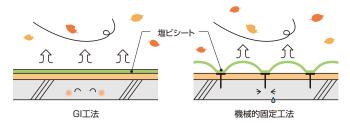
●高い断熱性能 従来工法の1.6倍!

従来の接着断熱工法で用いられる断熱材(ポリエチレンフォーム) と比べると、1.6倍の高性能です。



2ノンメカニカル 風にも安心・長持ち

断熱材、防水層共に接着剤で面固定のため機械的固定工法特有の 風によるバタツキがありません。強風地域でも安心です。



❸工期短縮 施工がスピーディー!

従来の接着断熱工法に比べ、シンプルな施工で工期の短縮が可能です。 接着材特有の待ち時間(オープンタイム)も少なくスピーディーに施工できます。

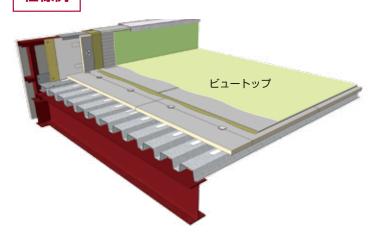


CVCTEM

DIPS-VIT

軽量化を追求、具現化したスチールデッキ+断熱工法システム

仕様例



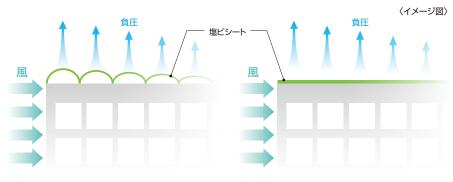
屋根の軽量化に大きく寄与するスチールデッキ下地の断熱防水が採用されるケースが増えてきました。しかし、強風のもたらす力がシートのフラッタリング現象を引き起こし、防水層にダメージを与える事故も生じています。

ビュートップDIPS-VITは、アンカーに頼らない接着工法。"点"ではなく"面"で固定することで、風に強い軽量屋根が生まれました。

ノンメカニカル だから風に強い!

建物に風が吹き付けると屋根面に風圧(負圧)が発生します。負圧力は屋根面の場所によって異なり、シートを吸い上げてばたつき(フラッタリング)を生じさせます。このフラッタリングにより、固定部にはさまざまな方向からの力が加わります。

スチール製デッキの厚みは1.0~1.2mm 程度がほとんどで、このような薄い鉄板に穴を開けてアンカーを固定しても、フラッタリングによってアンカーが縦横に動いてしまい、この繰り返しにより鉄板の穴が広がって、アンカーが抜けるなどの不具合が生じる可能性が高まります。



一般的な機械的固定工法

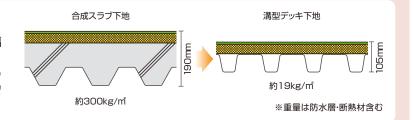
DIPS-VITシステム

DIPS-VITでは、風に強くフラッタリングを生じない 接着工法を採用しました!

軽さを生み出す金属系下地

DIPS-VITは、コンクリート系下地に比べ、大幅に屋根荷重を軽減。

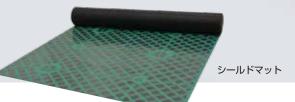
屋根30分耐火認定を取得した金属系下地との 組合せが基本ですから、防火・準防火地域でも安 心してご採用いただけます。



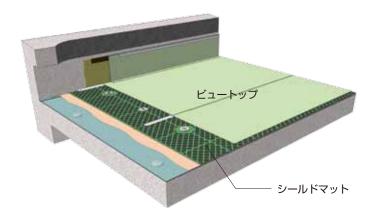
SYSTEM

シールド工法 改修システム

塩ビが守った屋上を塩ビで受け継ぐ真のサイクル



仕様例



機械的固定工法の塩ビシート防水を同じ機械的工法で改修する場合、硬化により破断した旧シートが新規シートを傷つける可能性があります。また、旧シートにカッターを入れた際にシートが収縮して隙間が開き、工事中に雨漏りが生じる恐れもあります。シールド工法は専用マットを新旧防水層間に敷設することで、このような悩みを解決する改修専用工法です。

既設塩ビシート防水改修における心配要素



古い塩ビシートが破断し、新規防水層を傷つける危険性があります。破断箇所で新しい塩ビシートと接触し、可塑剤の移行による新規塩ビシートの劣化が早まる心配があります。



古い塩ビシートにカッターを入れたり、穴を開けたりすると、塩ビシートが破断して鋭利な刃物のようになり、緩衝マットや防水層を傷つける心配があります。



古い塩ビシートをカットすると、シートが収縮して大きく隙間が開いてしまうことがあり、工事中の雨漏りの心配があります。

シールド工法は

このような心配を解消した塩ビ下地専用のかぶせ工法です!

●既存機械的固定向けの改修工法

従来の防水改修では、既存防水層が塩ビシート防水機械的固定工法の場合には旧防水層の撤去が基本でした。シールド工法は既存の防水層を撤去することなく、再機械的固定が可能な改修工法です。

3可塑剤移行防止

既存塩ビシートと新規塩ビシートとの接触で発生する可塑剤の 移行を防止します。

2新規塩ビシートの保護効果

硬化した既存塩ビシートの突起から新規塩ビシートを保護します。

4簡易雨養生

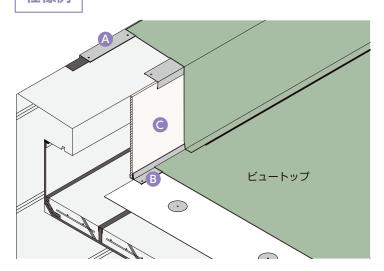
アンカー固定作業までの簡易雨養生効果があります。

SYSTEM

す」とり乾元けかぶせ工法 改修システム

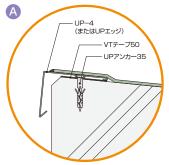
市販パネルを活用し、平面部~立上り~天端までをシンプルかつ確実に納める

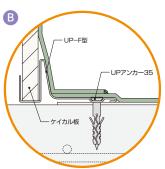
仕様例



機械的固定工法での改修の際、アゴ付き立上り部分のシンプルな納まりを実現するのが「乾式立上りかぶせ工法」です。

専用の塩ビ被覆鋼板(プレート)と珪酸カルシウム板を用いて既設の防水層アゴ下を覆い、納まりの良い防水下地を作り上げ、パラペット上部まで塩ビシートを巻き上げることを容易にします。





€ 珪酸カルシウム(ケイカル)板



消石灰・珪藻土・無石綿に水を 混合してつくった耐火性に優 れたボードです。

比重が軽く、現場で容易に「切断・加工」が施せます。

厚さ=12mm

施工手順



下地にプレートを固定



プレートにケイカル板を挟み込む



立上り下地完成



ドレン部(切込み後ドレン取付)

ビュートップの

施工方法について

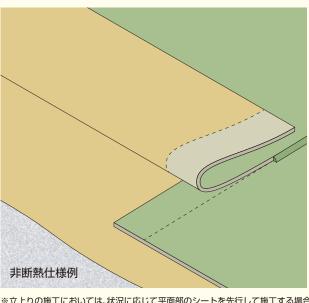
施工方法は大きく分けて、シート全面に接着剤を塗布して下地に貼り付ける「接着工法」と、 ビス・ディスクを用いて部分的にシートを固定する「機械的固定工法」の2種類があります。

接着工法

シートと下地の双方に接着剤を全面塗布して貼り付けます。シート同士の接合部は、加熱または溶剤によって溶着します。断熱工法では、下地に接着剤を塗布し断熱材を貼付後、シートと断熱材双方に接着剤を塗布し、貼り付けます。

特長

- ・耐風圧性に優れている。
- ・下地によっては接着が難しい場合がある。



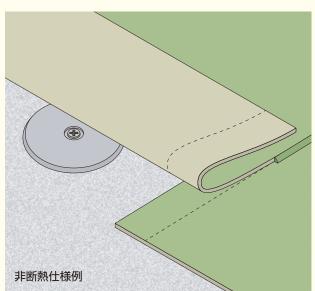
機械的固定工法

ビスとディスクを用いてシートを部分的に下地へ固定します。 シート同士およびディスクとシートの接合部は、加熱または 溶剤によって溶着します。

断熱工法では、断熱材をビスとディスクで固定した後、ディスクにシートを固定します。

特長

- ・改修の場合、既存防水層の状況などの影響を受けにくい。
- ・下地の状況によっては、ビス固定力が確保できない場合がある。
- ・部分固定のため、風によりシートがあおられ飛散する懸念が 生じる。



※立上りの施工においては、状況に応じて平面部のシートを先行して施工する場合と、立上りを先行する場合があります。

【仕様番号の見方】



【アイコンの説明】



軽歩行

特定の人が特定の用途に使用。



非歩行

メンテナンス程度の使用。



高反射 (遮熱)

高反射機能があります。



高耐久

特に耐久性に優れています。



防汚

汚れがつきにくい機能があります。



外断熱

断熱機能があります。



機械的固定工法

アンカーを用いて下地に固定する工法です。



接着工法

接着剤で下地に接着する工法です。



線状固定工法

シートを線状に固定する工法です。

【共通注意事項】-

- ・下地勾配は1/50以上が好ましく、水はけの良い下地とします。
- ・下地は充分に乾燥させ、清掃を行ってください。
- ・下地は平滑に調整してください。
- ·ALCパネル下地の場合、厚さが100mm以上の場合に限ります。
- ・ドレンは塩ビシート専用を使用し、仕上面がスラブ面より高くならないようにしてください。
- ・機械的固定工法を採用する場合、強風地域や屋根形状によっては、固定金具を増やす必要があります。
- ・アンカー固定を必要とする工法を採用する場合は、事前に下地強度をご確認ください。
- ・機械的固定工法ではシート施工後、温度変化によりシートにシワが発生する場合がありますが、時間の経過とともに解消されます。
- ・接着剤(VTボンド・ビューボンド)は、下地の状態により使用量が変動する場合があります。
- ·各種プレートの突き付け部は5mm程度あけ、P-カットテープを貼り付けます。
- ・施工にあたっては、立上り部のシートを先行する方法もあります。
- * 納まり等、ご不明な点がございましたら、弊社営業担当までご相談ください。



防水工法と仕様

工法・仕様一覧	17
断熱接着工法 GI工法	19
断熱軽歩行工法 LF工法	21
断熱機械的固定工法(VTボード)	23
断熱機械的固定工法(スタイロフォームRB-GK-II) …	25
断熱接着工法(PEフォーム)	27
機械的固定工法	29
機械的固定工法(ALC下地)	31
機械的固定工法ディスク後施工	33
接着工法	34
接着工法(ALC下地)	35
接着工法(木造下地)	36
シールド工法	37
金属屋根改修工法	39
断熱接着構法(耐火認定ルーフデッキ下地)	41
架台廻りウレタン塗膜防水併用工法	43
防滑性ビニル床シート仕上げ	45
(ビュージスタVJ)	
屋上緑化システム	46
災害対策用ヘリサインフィルム仕上げ	47
(フレクターフイルム)	
ソーラーパネル設置用基礎	49
(PV-FIX ソーラーベース)	- 1
官公庁·日本建築学会仕様	5 I

工法・仕様一覧

断熱機有工法 (GI工法)	工法	仕様番号	シート種類	シート厚 (mm)	断熱	断熱材の種類
WTFL0820G ピュートップC2D 2.0 ● 使用DL9シフォーム WTFM820VLF ピュートップM2O 2.0 ● 使用DL9シフォーム WTFM81SV ピュートップM2O 2.0 ● 使用DL9シフォーム WTFM81SF ピュートップM2O 2.0 ● ボリスチレンフォーム WTFM81SF ピュートップM2O 2.0 ● ボリスチレンフォーム WTFM82OP ピュートップM2O 2.0 ●		VIT-M920GI	ビュートップM20	2.0	•	硬質ウレタンフォーム
#新熱酵が口法 (LF工法) WTM820NLF ビュートップM20 2.0 ● 確何ションターム VTM820NLF ビュートップM20 2.0 ● ポスタメンターム VTM820NLF ビュートップM20 2.0 ● オペスタメンターム VTM920NLF ビュートップM20 2.0 ● オペスタメンターム VTM920NLF ビュートップM20 2.0 ● オペスタレンターム VTM920NLF ビュートップC20 2.0 ● オペスタレンターム VTM930NLF ビュートップC20 2.0 ▼イン930NLF ビュートップC20 2.0 ▼イ	断熱接着工法 (GI工法)	VIT-U920GI	ビュートップU20	2.0	•	硬質ウレタンフォーム
Minimage Vituas Vitua		VIT-C920GI	ビュートップC20	2.0	•	硬質ウレタンフォーム
野熱軽歩行工法 (LF工法)		VIT-M820VLF	ビュートップM20	2.0	•	硬質ウレタンフォーム
MSARB#FT工法 (LFT法)		VIT-M820RLF	ビュートップM20	2.0	•	ポリスチレンフォーム
VIT-UBBORLF ビュートップUBD 2.0 ● ボリスキレンフォーム VIT-OBZORLF ビュートップCSO 2.0 ● ボリスキレンフォーム VIT-OBZORLF ビュートップCSO 2.0 ● ボリスキレンフォーム VIT-UBISV ビュートップUBD 1.5 ● 競貨シレタンフォーム VIT-UBISV ビュートップUBD 1.5 ● 競貨シレタンフォーム VIT-OBSIGN ビュートップUBD 1.5 ● 競貨シレタンフォーム VIT-OBSIGN ビュートップUBD 1.5 ● 競りレタンフォーム VIT-OBSIGN ビュートップUBD 1.5 ● ボリスチレンフォーム VIT-UBISR ビュートップUBD 1.5 ● ボリスチレンフォーム VIT-OBSIGN ビュートップUBD 1.5 ● ボリエチレンフォーム VIT-OBSIGN ビュートップUBD 1.5 ● ボリエートップUBD 1.5 ● ボートップUBD	바다축하 #장 나는 샤프 ' 는 / L ' 는 ' \	VIT-U820VLF	ビュートップU20	2.0	•	硬質ウレタンフォーム
VIT-CB20PLF ピュートップC20 2.0 ● ポリスチレンフォーム VIT-UB16V ピュートップUIS 1.5 ● 優勢 ロックフォーム VIT-UB16V ピュートップUIS 1.5 ● 優勢 ロックフォーム VIT-OB16V ピュートップOIS 1.5 ● 優勢 ロックフォーム VIT-OB16V ピュートップOIS 1.5 ● 優勢 ロックフォーム VIT-OB16V ピュートップOIS 1.5 ● 優勢 ロックフォーム VIT-UB16R ピュートップOIS 1.5 ● ポリスチレンフォーム VIT-UB16R ピュートップOIS 1.5 ● ポリスチレンフォーム VIT-OB16R ピュートップOIS 1.5 ● ポリスチレンフォーム VIT-OB16P ピュートップOIS 1.5 ● ポリエチレンフォーム VIT-OB16P ピュートップOIS 1.5 ● ポリエチレン VIT-OB16P ビュートップOIS 1.5 ● ポートップOIS 1.5 ● ポート	断热粹少仃上法 (LF上法)	VIT-U820RLF	ビュートップU20	2.0	•	ポリスチレンフォーム
VIT-UBISV ピュートップUIS 1.5 ● 接換Dレタンフォーム VITUBEOV ピュートップUISO 2.0 ● 接換Dレタンフォーム VITUBEOV ピュートップOIS 1.5 ● 接換Dレタンフォーム VITUBEOV ピュートップOIS 1.5 ● 接換Dレタンフォーム VITUBEOV ピュートップOIS 1.5 ● ボリスチレンフォーム VITUBEOR ピュートップOIS 1.5 ● ボリエチレンフォーム VITUBEOR ピュートップOIS 1.5 ● ボリエチレンフ 2.0 ● ボリエチレンDIS 1.5 ● ボリエートップOIS 1.5 ● ボリエートップOIS 1.5 ● ボリエートップOIS 1.5 ● ボートップOIS 1.5 ● ボリエートップOIS 1.5 ● ボートップOIS 1.5 ● ボート		VIT-C820VLF	ビュートップC20	2.0	•	硬質ウレタンフォーム
WITU820V ピュートップU20 2.0 使うレタシフォーム VITU820V VITU8158 ビュートップU15 1.5 使うレタシフォーム VITU8158 ビュートップU20 2.0 使うレタシフォーム VITU8158 ビュートップU20 2.0 使うレタンフォーム VITU8158 ビュートップU20 2.0 ボリスチレンフォーム VITU8158 ビュートップU20 2.0 ボリスチレンフォーム VITU8158 ビュートップU20 2.0 ボリスチレンフォーム VITU8158 ビュートップU20 2.0 ボリスチレンフォーム VITU8159 ビュートップU20 2.0 ボリエチレンフォーム VITU8159 ビュートップU20 2.0 ボリエチレンフォーム VITU8159 ビュートップU20 2.0 ボリエチレンフォーム VITU8150 ビュートップU20 2.0 ボリエチレンフォーム VITU8150 ビュートップU20 2.0 ボリエチレンフォーム VITU820P ビュートップU20 2.0 ボリエチレンフォーム VITU820P ビュートップU20 2.0 ボリエチレンフォーム VITU820P ビュートップU20 2.0 ボリエチレンフォーム VITU8150 ビュートップU20 2.0 ボリエチレンフォーム VITU8150 ビュートップU20 2.0 VITU81500 ビュートップU20 2.0 VITU8200 U2000 VITU8200 U2000 VITU8200 U2000 VITU8200		VIT-C820RLF	ビュートップC20	2.0	•	ポリスチレンフォーム
断熱機械的固定工法		VIT-U815V	ビュートップU15	1.5	•	硬質ウレタンフォーム
WIT-C820V		VIT-U820V	ビュートップU20	2.0	•	硬質ウレタンフォーム
Wif-U815R ピュートップU15 1.5 ● ポリスチレンフォーム VIF-U815R ピュートップU15 1.5 ● ポリスチレンフォーム VIF-U816R ピュートップU15 1.5 ● ポリスチレンフォーム VIF-U816R ピュートップU15 1.5 ● ポリスチレンフォーム VIF-U816P ピュートップU15 1.5 ● ポリスチレンフォーム VIF-U816P ピュートップU15 1.5 ● ポリスチレンフォーム VIF-U816P ピュートップU15 1.5 ● ポリエチレンフォーム VIF-U816P ピュートップU15 1.5 ● オリエチレンフォーム VIF-U816P ピュートップU15 1.5 ● オリエートップU15 1.5 ● オートップU16 1.5 ● オート		VIT-C815V	ビュートップC15	1.5	•	硬質ウレタンフォーム
Virtusian ピュートップUs 15 ● ポリスチレンフォーム Virtusian ピュートップCs0 2.0 ● ポリスチレンフォーム Virtusian ピュートップUs 1.5 ● ポリスチレンフォーム Virtusian ピュートップUs 1.5 ● ポリスチレンフォーム Virtusian ピュートップUs 2.0 ● ポリエチレンフォーム Virtusian ピュートップCs0 2.0 ● オリエチレンフォーム Virtusian ピュートップCs0 2.0 ● オリエートップCs0 2.0 ● オリエートップCs0 2.0 ● オリエートップCs0 2.0 ● オリエートップCs0 2.0 ● オートップCs0 2.0 ● オリエートップCs0 2.0 ● オリエートップCs0 2.0 ● オートップCs0 2.0 ● オートップCs0 2.0 ● オートップCs0 2.0 ● オリエートップCs0 2.0 ● オートップCs0 2.0 ● オート		VIT-C820V	ビュートップC20	2.0	•	硬質ウレタンフォーム
VIT-C815R ピュートップC15 1.5 ポリスチレンフォーム VIT-C820R ピュートップC20 2.0 ポリスチレンフォーム VIT-U916P ピュートップU15 1.5 ポリスチレンフォーム VIT-U916P ピュートップU20 2.0 ポリエチレンフォーム VIT-U920P ピュートップU20 2.0 ポリエチレンフォーム VIT-U920P ピュートップC15 1.5 ポリエチレンフォーム VIT-C916P ピュートップC20 2.0 ポリエチレンフォーム VIT-C916P ピュートップC20 2.0 ポリエチレンフォーム VIT-C920P ピュートップC20 2.0 ポリエチレンフォーム VIT-U815 ピュートップU15 1.5 VIT-C820P ピュートップC20 2.0 VIT-C815 ピュートップC20 2.0 VIT-C815 ピュートップC20 2.0 VIT-C815 ピュートップC20 2.0 VIT-C816 ピュートップC20 2.0 VIT-C916 U2-L9-V7-C20 2.0 VIT-C920 U2-L9-V7-C20 2.0 VIT-C920 U2-L9-V7-C20 2.0 VIT-C920-ALC U2-L9-V7-C20 2.0	断熱機械的固定上法	VIT-U815R	ビュートップU15	1.5	•	ポリスチレンフォーム
VIT-C820R		VIT-U820R	ビュートップU20	2.0	•	ポリスチレンフォーム
WIT-U915P		VIT-C815R	ビュートップC15	1.5	•	ポリスチレンフォーム
WIT-U920P ビュートップU20 2.0 ポリエチレンフォーム WIT-W920P ビュートップM20 2.0 ポリエチレンフォーム WIT-C915P ビュートップC15 1.5 ポリエチレンフォーム WIT-C920P ビュートップC20 2.0 ポリエチレンフォーム WIT-C920P ビュートップU15 1.5		VIT-C820R	ビュートップC20	2.0	•	ポリスチレンフォーム
断熱接着工法 VIT-M920P ビュートップの15 1.5 ● ポリエチレンフォーム VIT-C915P ビュートップの20 2.0 ● ポリエチレンフォーム VIT-C915P ビュートップの20 2.0 ● ポリエチレンフォーム VIT-U815 ビュートップの30 1.5 ● ポリエチレンフォーム VIT-U816 ビュートップの5 1.5 ● ポリエチレンフォーム VIT-U820 ビュートップの5 1.5 ● プリエチレンフォーム VIT-U816・ALC ビュートップの20 2.0 ● プリエチレンフォーム VIT-U816・ALC ビュートップの20 2.0 ● プリエチレンフォーム VIT-U816・ALC ビュートップの5 1.5 ● プリエチレンフロ5 1.5 ● プリエチレンD16 1.5 ● プリエチレンD16 1.5 ● プリエートップの20 2.0 ● プリエートップの2		VIT-U915P	ビュートップU15	1.5	•	ポリエチレンフォーム
VIT-C915P ビュートップC15 1.5 ● ポリエチレンフォーム		VIT-U920P	ビュートップU20	2.0	•	ポリエチレンフォーム
VIT-G920P ビュートップC20 2.0 ★リエチレンフォーム	断熱接着工法	VIT-M920P	ビュートップM20	2.0	•	ポリエチレンフォーム
横横的固定工法 VT-U815 ビュートップU15 1.5 VT-U820 ビュートップU20 2.0 VT-U815 ビュートップC20 2.0 VT-U815 ビュートップC20 2.0 VT-U815-ALC ビュートップC20 2.0 VT-U815-ALC ビュートップU20 2.0 VT-U815-ALC ビュートップU20 2.0 VT-U815-ALC ビュートップU20 2.0 VT-U815-ALC ビュートップC20 2.0 VT-U915 ビュートップU15 1.5 VT-U920 ビュートップU20 2.0 VT-U916 ビュートップU20 2.0 VT-U920 ビュートップU20 2.0 VT-U920 ビュートップU20 2.0 VT-U915 ビュートップU20 2.0 VT-U915 ビュートップC20 2.0 VT-U915-ALC ビュートップC20 2.0 VT-U915-ALC ビュートップU20 2.0 VT-U920-ALC ビュートップU20 2.0 VT-U915-ALC ビュートップU20 2.0 VT-U916-ALC ビュートップU20 2.0 VT-U916-ALC ビュートップU20 2.0 VT-U916-ALC ビュートップU20 2.0 VT-U916-ALC ビュートップU20 2.0 VT-U916-W ビュートップU20 2.0 VT-U916-W ビュートップU20 2.0 VT-U916-W ビュートップU20 2.0 VT-U915-W ビュートップU20 2.0 VT-U915-W ビュートップU20 2.0 VT-U916-W VT-U916-W VT-U916-W VT-U916-W VT-U916-W VT-U916-W VT-U916-W VT-U916-W VT-U916-W V		VIT-C915P	ビュートップC15	1.5	•	ポリエチレンフォーム
機械的固定工法 (VT-U820 ビュートップ015 1.5 (VT-C815 ビュートップ020 2.0 (VT-U815-ALC ビュートップ020 2.0 (VT-U815-ALC ビュートップ016 1.5 (VT-U820-ALC ビュートップ016 1.5 (VT-U820-ALC ビュートップ016 1.5 (VT-U820-ALC ビュートップ016 1.5 (VT-U820-ALC ビュートップ016 1.5 (VT-U820 ビュートップ020 2.0 (VT-U816 ビュートップ020 2.0 (VT-U820 ビュートップ020 2.0 (VT-U820 ビュートップ020 2.0 (VT-U820 ビュートップ020 2.0 (VT-U820 ビュートップ020 2.0 (VT-U816 ビュートップ020 2.0 (VT-U816-ALC ビュートップ020 2.0 (VT-U816-W ビュートッブ020 2.0 (VT-U816-W ビュートッグ020 2.0 (VT-		VIT-C920P	ビュートップC20	2.0	•	ポリエチレンフォーム
### Wind District		VT-U815	ビュートップU15	1.5		
### Winding を表しています。 VT-0820		VT-U820	ビュートップU20	2.0		
機械的固定工法 VT-U815-ALC ビュートップU15 1.5 VT-U820-ALC ビュートップD20 2.0 VT-C815-ALC ビュートップD20 1.5 VT-C820-ALC ビュートップD20 2.0 VT-U915		VT-C815	ビュートップC15	1.5		
VT-U815-ALC ビュートップU20 2.0 VT-U820-ALC ビュートップU20 2.0 VT-U815-ALC ビュートップC20 1.5 VT-U815-ALC ビュートップC20 2.0 VT-U915 ビュートップU20 2.0 VT-U915 ビュートップU20 2.0 VT-U920 ビュートップU20 2.0 VT-U920 ビュートップC15 1.5 VT-U920 ビュートップC15 1.5 VT-U920 ビュートップC20 2.0 VT-U915-ALC ビュートップU15 1.5 VT-U920-ALC ビュートップU15 1.5 VT-U920-ALC ビュートップU20 2.0 VT-U915-ALC ビュートップC15 1.5 VT-U920-ALC ビュートップC15 1.5 VT-U920-ALC ビュートップC15 1.5 VT-U915-W ビュートップC20 2.0 VT-U915-W ビュートップU10 2.0 VT-U915-W ビュートップU20 2.0 VT-U915-W ビュートップU20 2.0 VT-U915-W ビュートップU20 2.0 VT-U915-W ビュートップC20 2.0 VT-U915-W ビュートップC20 2.0 VS-U816 ビュートップU20 2.0 VS-U817 ビュートップU20 2.0 VS-U818 ビュートップU20 2.0 VS-U819 ビュートップU20 2.0 VS-U810 ビュートップU20 2.0 VS-U815 ビュートップC20 2.0 VS-U816 ビュートップC20 2.0 VS-U817 ビュートップC20 2.0 VS-U818 ビュートップC20 2.0 VS-U819 ビュートップC20 2.0 VS-U815 ビュートップC20 2.0 VT-U915 1.5 VS-U816 ビュートップC20 2.0 VS-U817 VS-U817 VS-U817 VS-U817 VS-U817 VS-U817 VS-U817 VS-U817	166 LD 44 CT 34	VT-C820	ビュートップC20	2.0		
VT-C815-ALC ビュートップC15 1.5 VT-C820-ALC ビュートップC20 2.0 VT-U915 ビュートップU5 1.5 VT-U920 ビュートップU20 2.0 VT-M920 ビュートップU20 2.0 VT-C915 ビュートップC20 2.0 VT-C916 ビュートップC20 2.0 VT-U915-ALC ビュートップU5 1.5 VT-U920-ALC ビュートップU20 2.0 VT-M920-ALC ビュートップU20 2.0 VT-C915-ALC ビュートップM20 2.0 VT-C915-ALC ビュートップC20 2.0 VT-C915-ALC ビュートップC20 2.0 VT-U915-MC ビュートップC20 2.0 VT-U915-MC ビュートップC20 2.0 VT-U920-W ビュートップC20 2.0 VT-U920-W ビュートップD15 1.5 VT-C920-W ビュートップC15 1.5 VT-C920-W ビュートップC15 1.5 VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VT-U915-W 2.0	機械的固定上法	VT-U815-ALC	ビュートップU15	1.5		
VT-0820-ALC ビュートップ020 2.0		VT-U820-ALC	ビュートップU20	2.0		
VT-U915 ビュートップU15 1.5 VT-U920 ビュートップU20 2.0 VT-M920 ビュートップC15 1.5 VT-C915 ビュートップC20 2.0 VT-C915 ビュートップC20 2.0 VT-U915-ALC ビュートップU15 1.5 VT-U920-ALC ビュートップU20 2.0 VT-M920-ALC ビュートップU20 2.0 VT-C915-ALC ビュートップC15 1.5 VT-C915-ALC ビュートップC15 1.5 VT-C920-ALC ビュートップC15 1.5 VT-C920-ALC ビュートップC15 1.5 VT-U920-W ビュートップU20 2.0 VT-U915-W ビュートップU20 2.0 VT-M920-W ビュートップU20 2.0 VT-M920-W ビュートップC20 2.0 VT-C915-W ビュートップC20 2.0 VT-C915-W ビュートップC20 2.0 VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VS-U815 ビュートップC20 2.0 VS-U820 ビュートップC20 2.0 VS-C820 ビュートップC20 2.0		VT-C815-ALC	ビュートップC15	1.5		
VT-U920 ピュートップU20 2.0 VT-M920 ピュートップM20 2.0 VT-C915 ピュートップC15 1.5 VT-C920 ピュートップU20 2.0 VT-U915-ALC ピュートップU15 1.5 VT-U920-ALC ピュートップU20 2.0 VT-M920-ALC ピュートップM20 2.0 VT-C915-ALC ピュートップC20 2.0 VT-U915-W ピュートップC20 2.0 VT-U915-W ピュートップU20 2.0 VT-U920-W ピュートップM20 2.0 VT-M920-W ピュートップM20 2.0 VT-C915-W ピュートップM20 2.0 VT-C920-W ピュートップC20 2.0 VS-U815 ピュートップU20 2.0 VS-U820 ピュートップC15 1.5 VS-C815 ピュートップC20 2.0 ビュートップC20 2.0		VT-C820-ALC	ビュートップC20	2.0		
VT-M920 ビュートップM20 2.0 VT-C915 ビュートップC20 2.0 VT-C920 ビュートップC20 2.0 VT-U915-ALC ビュートップU15 1.5 VT-U920-ALC ビュートップU20 2.0 VT-M920-ALC ビュートップD20 2.0 VT-C915-ALC ビュートップD20 2.0 VT-C915-ALC ビュートップC15 1.5 VT-C920-ALC ビュートップC15 1.5 VT-U915-W ビュートップU15 1.5 VT-U920-W ビュートップU20 2.0 VT-M920-W ビュートップU20 2.0 VT-C915-W ビュートップC20 2.0 VT-C915-W ビュートップC20 2.0 VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VS-U815 ビュートップU20 2.0 VS-U820 ビュートップU20 2.0 VS-C815 ビュートップC20 2.0 VS-C820 ビュートップC20 2.0		VT-U915	ビュートップU15	1.5		
VT-C915 ビュートップC15 1.5 VT-C920 ビュートップC20 2.0 VT-U915-ALC ビュートップU15 1.5 VT-U920-ALC ビュートップU20 2.0 VT-M920-ALC ビュートップM20 2.0 VT-C915-ALC ビュートップC15 1.5 VT-C915-ALC ビュートップC15 1.5 VT-C920-ALC ビュートップC20 2.0 VT-U915-W ビュートップU15 1.5 VT-U920-W ビュートップU20 2.0 VT-M920-W ビュートップU20 2.0 VT-C915-W ビュートップM20 2.0 VT-C915-W ビュートップC15 1.5 VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VT-C915-W ビュートップC20 2.0 VS-U815 ビュートップU20 2.0 VS-U820 ビュートップU20 2.0 VS-C815 ビュートップC20 2.0 VS-C820 VS-C820 2.0 VS-C820 VS-C820 2.0		VT-U920	ビュートップU20	2.0		
VT-C920 ビュートップC20 2.0 VT-U915-ALC ビュートップU15 1.5 VT-U920-ALC ビュートップU20 2.0 VT-M920-ALC ビュートップM20 2.0 VT-C915-ALC ビュートップM20 2.0 VT-C915-ALC ビュートップC20 2.0 VT-U915-W ビュートップU15 1.5 VT-U920-W ビュートップU20 2.0 VT-M920-W ビュートップM20 2.0 VT-C915-W ビュートップM20 2.0 VT-C915-W ビュートップC20 2.0 VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VS-U815 ビュートップU20 2.0 VS-U820 ビュートップU20 2.0 VS-C815 ビュートップC20 2.0 VS-C820 ビュートップC20 2.0		VT-M920	ビュートップM20	2.0		
接着工法 ドカート下地専用改修工法 VT-U915-ALC VT-U915-ALC VT-U915-ALC VT-U915-ALC VT-M920-ALC VT-M920-ALC VT-C915-ALC VT-C915-ALC VT-C920-ALC VT-U915-W VT-U915-W VT-U915-W VT-U920-W VT-U920-W VT-M920-W VT-M920-W VT-C915-W VT-C915-W VT-C915-W VT-C915-W VT-C920-W VT-C915-W VT-C920-W VT-C		VT-C915	ビュートップC15	1.5		
接着工法		VT-C920	ビュートップC20	2.0		
接着工法		VT-U915-ALC	ビュートップU15	1.5		
VT-C915-ALC ビュートップC15 1.5 VT-C920-ALC ビュートップC20 2.0 VT-U915-W ビュートップU15 1.5 VT-U920-W ビュートップU20 2.0 VT-M920-W ビュートップM20 2.0 VT-C915-W ビュートップC15 1.5 VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VS-U815 ビュートップU15 1.5 VS-U820 ビュートップU20 2.0 VS-C815 ビュートップC15 1.5 VS-C820 ビュートップC20 2.0		VT-U920-ALC	ビュートップU20	2.0		
VT-C920-ALC ビュートップC20 2.0 VT-U915-W ビュートップU15 1.5 VT-U920-W ビュートップU20 2.0 VT-M920-W ビュートップM20 2.0 VT-C915-W ビュートップC15 1.5 VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VS-U815 ビュートップU15 1.5 VS-U820 ビュートップU20 2.0 VS-C815 ビュートップC15 1.5 VS-C820 ビュートップC20 2.0	接着工法	VT-M920-ALC	ビュートップM20	2.0		
VT-U915-W ビュートップU15 1.5 VT-U920-W ビュートップU20 2.0 VT-M920-W ビュートップM20 2.0 VT-C915-W ビュートップC15 1.5 VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VS-U815 ビュートップU15 1.5 VS-U820 ビュートップU20 2.0 VS-C815 ビュートップC15 1.5 VS-C820 ビュートップC20 2.0		VT-C915-ALC	ビュートップC15	1.5		
VT-U920-W ビュートップU20 2.0 VT-M920-W ビュートップM20 2.0 VT-C915-W ビュートップC15 1.5 VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VS-U815 ビュートップU15 1.5 VS-U820 ビュートップU20 2.0 VS-C815 ビュートップC15 1.5 VS-C820 ビュートップC20 2.0		VT-C920-ALC	ビュートップC20	2.0		
VT-M920-W ビュートップM20 2.0 VT-C915-W ビュートップC15 1.5 VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VS-U815 ビュートップU15 1.5 VS-U820 ビュートップU20 2.0 VS-C815 ビュートップC15 1.5 VS-C820 ビュートップC20 2.0		VT-U915-W	ビュートップU15	1.5		
VT-C915-W ビュートップC15 1.5 VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VS-U815 ビュートップU15 1.5 VS-U820 ビュートップU20 2.0 VS-C815 ビュートップC15 1.5 VS-C820 ビュートップC20 2.0		VT-U920-W	ビュートップU20	2.0		
VT-C920-W ビュートップC20 2.0 VS-U815 ビュートップU15 1.5 VS-U820 ビュートップU20 2.0 VS-C815 ビュートップC15 1.5 VS-C820 ビュートップC20 2.0		VT-M920-W	ビュートップM20	2.0		
塩ビシート下地専用改修工法 (シールド工法) VS-U815 ビュートップU15 1.5 VS-U820 ビュートップU20 2.0 VS-C815 ビュートップC15 1.5 VS-C820 ビュートップC20 2.0		VT-C915-W	ビュートップC15	1.5		
塩ビシート下地専用改修工法 (シールド工法) VS-U820 ビュートップU20 2.0 VS-C815 ビュートップC15 1.5 VS-C820 ビュートップC20 2.0		VT-C920-W	ビュートップC20	2.0		
VS-C815 ビュートップC15 1.5 VS-C820 ビュートップC20 2.0		VS-U815	ビュートップU15	1.5		
VS-C815 ビュートップC15 1.5 VS-C820 ビュートップC20 2.0	塩ビシート下地車田改修工法	VS-U820	ビュートップU20	2.0		
VS-C820 ビュートップC20 2.0		VS-C815		1.5		
	耐火認定ルーフデッキ下地断熱接着工法	DIPS-VIT·M20GI		2.0	•	硬質ウレタンフォーム

[※]各仕様に、高反射・高耐久・防汚機能塗料「VTコートC」・高耐久・防汚機能「VTコート」をプラスすることができます。

軽歩行	高反射率		適応下地		防火認定	 標準仕様適用	ページ
122 12	シート	RC·PCa	ALC	木造	(下記認定が必要な場合があります)		
		•	•			SI-F2 %1	19
		•	•			SI-F2 %1	19
	•	•	•			SI-F2 **1	19
•		•					21
•		•					21
•		•					21
•		•					21
•	•	•					21
•	•	•					21
		•	•			SI-M2	23
		•	•		DR-0256 (VTコートC難燃塗布必須)	SI-M2	23
	•	•	•			SI-M2	23
	•	•	•			SI-M2	23
		•	•			SI-M2	25
		•	•			SI-M2	25
	•	•	•			SI-M2	25
	•	•	•			SI-M2	25
		•	•			SI-F2	27
		•	•			SI-F2	27
		•	•			SI-F2	27
	•	•	•			SI-F2	27
	•	•	•			SI-F2	27
		•				S-M2	29
•		•				S-M2	29
	•	•				S-M2	29
•	•	•				S-M2	29
			•				31
			•				31
	•		•				31
	•		•				31
		•				S-F2	34
•		•				S-F2	34
•		•				S-F2	34
	•	•				S-F2	34
•	•	•				S-F2	34
			•			S-F2	35
			•			S-F2	35
			•			S-F2	35
	•		•			S-F2	35
	•		•			S-F2	35
				•	DR-1235	S-F2	36
•				•	DR-1123 DR-1235	S-F2	36
•				•	DR-1123 DR-1235	S-F2	36
	•			•	DR-1235	S-F2	36
•	•			•	DR-1123 DR-1235	S-F2	36
		•	•			S-M2	37
•		•	•			S-M2	37
	•	•	•			S-M2	37
•	•	•	•			S-M2	37
			 耐火認定ル <i>ー</i> フデッキ				41

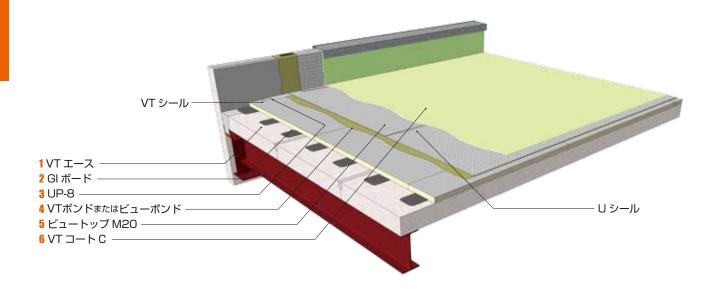
^{※1} 断熱材は硬質ウレタンフォームとなります。

断熱接着工法 GI工法



硬質ウレタンフォームを断熱材に採用した塩ビシート防水断熱接着工法です。

※断熱材は硬質ウレタン フォームになります。



●推奨仕様(高耐久仕様·防汚·高反射機能)

防水層重量目安:4.6kg/㎡(断熱35mm) 厚み:約37.0mm(断熱35mm)













1	VTエース	0.45kg/m [°]
2	GIボード	
3	UP-8	0.12kg/m VTシール
4	VTボンドまたはビューボンド	0.4kg/㎡ 0.2kg/㎡ 断熱材側 0.2kg/㎡ シート側
5	ビュートップM20	
6	VT⊐-トC	0.15kg/m [*]

●標準仕様

防水層重量目安:4.4kg/m (断熱35mm) 厚み:約37.0mm (断熱35mm)







1 VTエース	0.45kg/m [*]
2 GIボード	
3 UP-8	0.12kg/m VTシール
4 VTボンドまたはビューボンド	0.4kg/㎡ 0.2kg/㎡ 断熱材側 0.2kg/㎡ シート側
5 ビュートップM20	

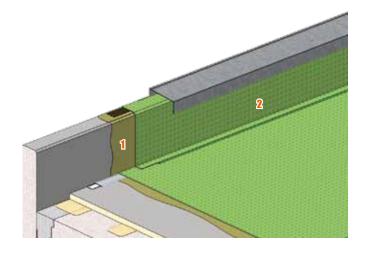
[※]ビュートップM20を他のシートに変更することができます。(その場合は、仕様番号が変わります。) シート名(仕様番号): ビュートップU20(VIT-U920GI)、ビュートップC20(VIT-C920GI)

注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)

- ・塩ビシートは必ず2.0mm厚品をご採用ください。(ビュートップM20・U20・C20)
 ・接着剤(VTエース・VTボンド・ビューボンド)は、下地の状態により使用量が変動する場合があります。
 ・GIボードに隙間・段差が発生した場合はルートガードテーブにより処理します。
 ・断熱材の厚さが50mmを超える場合はご相談ください。

立上り部例

接着工法



1 VTボンドまたはビューボンド

0.4kg/m^{*}

2 ビュートップM20

※立上り端末部にはVTテープを貼り付けます。

●保護塗料

高耐久·防汚機能塗料









VIT-M920GI-

各種仕様工程参照

VTコート

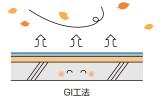
0.15kg/m⁸

※仕様番号の後にCが追加されます。

チェックポイント

優れた耐風圧性能

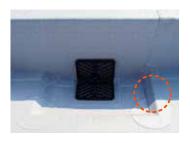
GI工法では、塩ビシートが断熱材に面で固定されているため、局所的な風の影響を受けにくく長期にわたり優れた耐風圧性能を維持します。



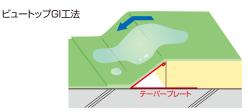
〈イメージ図〉

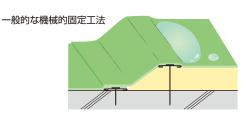
ドレン廻りなどの排水をスムーズに 「**テーパープレート**」

GI工法用「テーパープレート」は、ドレン廻りの断熱材部分での段差を解消する、オリジナル形状の鋼板です。 スムーズな排水を実現し、水溜りの発生を抑えます。



雨水排水イメージ

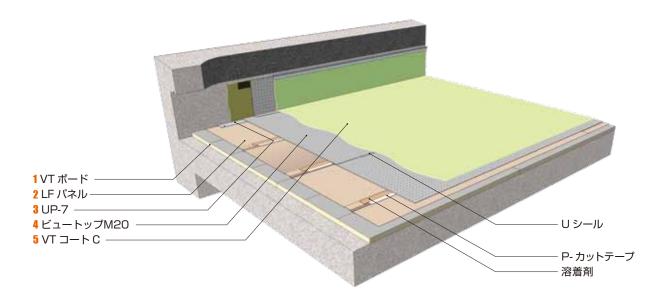




- ·接着剤(VTボンド·ビューボンド)は、下地の状態により使用量が変動する場合があります。
- ・プレートの上には接着剤を塗布せず、溶融着させます。
- ・プレートの設置が不安定な場合はアンカービスを用いて固定します。
- ・防火認定が必要な場合には、本仕様は適用できません。

断熱軽歩行工法 LF工法

断熱材の上に塩ビ被覆鋼板「LFパネル」を敷設し、ビュートップシートを線状に溶着する工法です。 断熱工法と、防水層上部の歩行(軽歩行)を両立した防水システムです。



●推奨仕様(高耐久仕様·防汚·高反射機能)

防水層重量目安:8.3kg/㎡(断熱35mm) 厚み:約37.1mm(断熱35mm)













- 1 VTボード
- LFパネル UPアンカー または TCアンカー
- **3** UP-7
- 4 ビュートップM20
- 5 VTI----

0.15kg/m⁸

●標準仕様

防水層重量目安:8.1kg/㎡(断熱35mm) 厚み:約37.1mm (断熱35mm)







- 1 VTボード
- LFパネル UPアンカー または TCアンカー
- **3** UP-7
- 4 ビュートップM20

※断熱材をVTボードから「スタイロフォームRB-GK-Ⅱ」に変更することができます。但し断熱性能が違いますので、ご注意ください。

※ビュートップM20を他のシートに変更することができます。

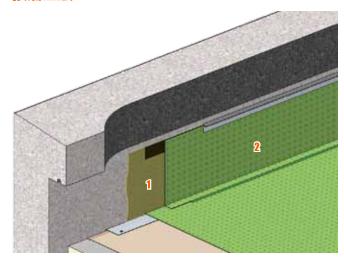
〈VTボード仕様〉シート名(仕様番号): ビュートップU20(VIT-U820VLF)、ビュートップC20(VIT-C920VLF) 〈スタイロフォームRB-GK-Ⅱ仕様〉シート名(仕様番号):ビュートップU20(VIT-U820RLF)、ビュートップC20(VIT-C920RLF)

- ・塩ビシートは必ず2.0mm厚品をご採用ください。(ビュートップM20·U20·C20)
- ・強風地域や屋根形状によっては、固定金具を増やす必要があります。
- ·LFパネル·プレートのジョイント部はP-カットテープを貼り付けます。
- ・LFパネルの段差部分で水はけが悪くなる場合がございますので、できる限り水勾配に対して平行になるように敷設します。

注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)

立上り部例

接着工法



1 VTボンドまたはビューボンド

0.4kg/m⁸

2 ビュートップM20

※立上り端末部には VT テープを貼り付けます。

●保護塗料

高耐久·防汚機能塗料









VIT-M820RLF

各種仕様工程参照

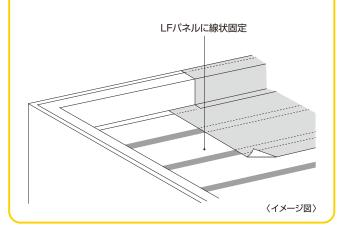
VTコート

 $0.15 kg/m^{3}$

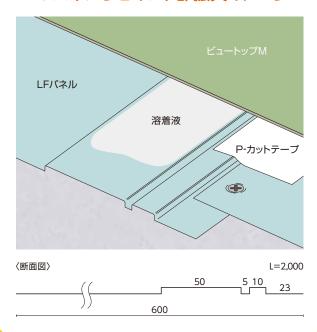
※仕様番号の後に C が追加されます。

新しいシート固定工法「線状溶着」

LF工法は、平面部を線状溶着するという新しい固定方法 を採用。施工効率と固定強度を大幅に向上させました。



LFパネルジョイント部拡大イメージ



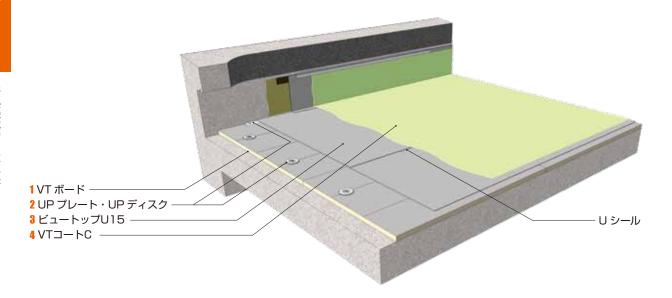
[·]LFパネル短辺突き付け部分は5mm程度あけて、P-カットテープを貼り付けます。

[・]ALCバネル下地は採用できません。
・防滑性ビニル床シート「ビュージスタ」仕上げ、UPアンカー8シリーズは適用できません。
・接着剤(VTボンド・ビューボンド)は、下地の状態により使用量が変動する場合があります。

断熱機械的固定工法(VTボード)



防湿層付き断熱材 VT ボード(硬質ウレタンフォーム)とビュートップ U(塩ビシート)を組み合 わせた、機械的固定工法の断熱防水です。



●推奨仕様(高耐久仕様·防汚·高反射機能)

防水層重量目安:3.7kg/㎡(断熱35mm) 厚み:約36.5mm(断熱35mm)















1 VTボード

2 UPプレート・UPディスク

3 ビュートップU15

4 VT⊐-トC

0.15kg/m^{*}

●標準仕様

防水層重量目安:3.5kg/m (断熱35mm) 厚み:約36.5mm(断熱35mm)







- 1 VTボード
- 2 UPプレート・UPディスク
- 3 ビュートップU15

※ビュートップU15を他のシートに変更することができます。

シート名(仕様番号):ビュートップU20(VIT-U820V)、ビュートップC15(VIT-C815V)、ビュートップC20(VIT-C820V)

注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)

[・]強風地域や屋根形状によっては、固定金具を増やす必要があります。

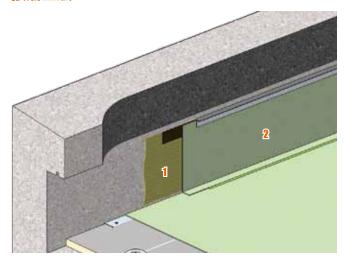
[・]プレートの上には接着剤を塗布せず、溶融着させます。

[·]ALCパネル下地の場合は弊社営業担当までご相談ください。

[·]防火認定が必要な場合で、断熱材の厚みが50mmを超える場合は、ビュートップU20とし、保護塗料($C \cdot CC$)が必要となります。

立上り部例

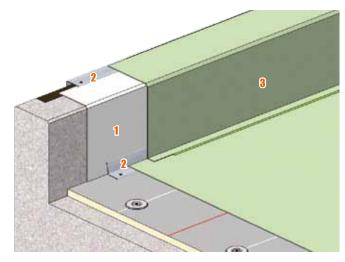
接着工法



- 1 VTボンドまたはビューボンド
- 0.4kg/m⁸
- 2 ビュートップU15

※立上り端末部にはVTテープを貼り付けます。

機械的固定工法



- 1 Uマット2
- 2 UPプレート
- 3 ビュートップU15

※立上り端末部にはVTテープ50を貼り付けます。

●保護塗料

高耐久·防汚機能塗料









VIT-U815V - C

各種仕様工程参照

VTコート

0.15kg/m^{*}

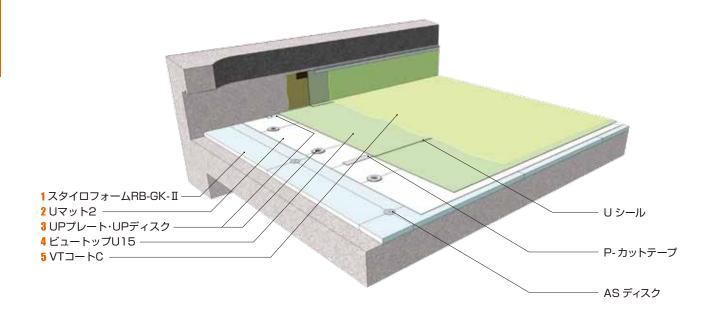
※仕様番号の後にCが追加されます。

[·]接着剤(VTボンド·ビューボンド)は、下地の状態により使用量が変動する場合があります。

断熱機械的固定工法(スタイロフォームRB-GK-II)



スタイロフォーム RB-GK- II (ポリスチレンフォーム) とビュートップ U (塩ビシート) を組み合 わせた、機械的固定工法の断熱防水です。



●推奨仕様(高耐久仕様·防汚·高反射機能)

防水層重量目安:3.7kg/㎡(断熱35mm) 厚み:約38.5mm(断熱35mm)















スタイロフォームRB-GK-Ⅱ または RBボード

ASディスク留め

- 2 Uマット2
- 3 UPプレート・UPディスク
- 4 ビュートップU15
- 5 VTI----

0.15kg/m^{*}

●標準仕様

防水層重量目安:3.5kg/㎡(断熱35mm) 厚み:約38.5mm(断熱35mm)







1 スタイロフォームRB-GK-Ⅱ

ASディスク留め

- 2 Uマット2
- 3 UPプレート・UPディスク
- 4 ビュートップU15

※ビュートップU15を他のシートに変更することができます。

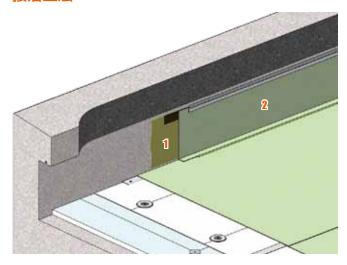
シート名(<mark>仕様番号)</mark>: ビュートップU20(VIT-U820R)、ビュートップC15(VIT-C815R)、ビュートップC20(VIT-C820R)

- ・強風地域や屋根形状によっては、固定金具を増やす必要があります。
- ·Uマット2のジョイント部はP-カットテープを貼り付けます。
- ・ディスクヒーターを使用する場合、スタイロフォームRB-GK-IIの溶融を抑えるためにUPディスクの下にはディスクパッチを敷設してください。
- ・プレートの上には接着剤を塗布せず、溶融着させます。

注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)

立上り部例

接着工法



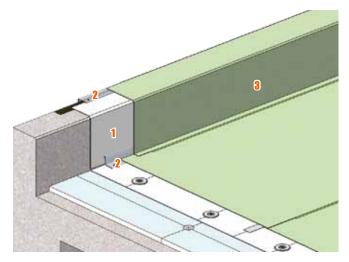
1 VTボンドまたはビューボンド

0.4 kg/m

2 ビュートップU15

※立上り端末部にはVTテープを貼り付けます。

機械的固定工法



- 1 Uマット2
- 2 UPプレート
- 3 ビュートップU15

※立上り端末部にはVTテープ50を貼り付けます。

●保護塗料

高耐久·防汚機能塗料









VIT-U815R VIT-U820R

各種仕様工程参照

VTコート

0.15kg/m⁸

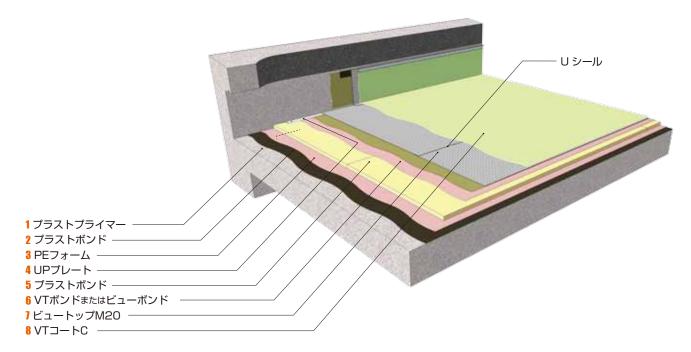
※仕様番号の後にCが追加されます。

[・]スタイロフォームRB-GK-IIの厚みが50mmを超える場合は防火対策が必要になる場合がありますので、弊社営業担当までご相談ください。・ALCパネル下地の場合は弊社営業担当までご相談ください。・接着剤(VTボンド・ビューボンド)は、下地の状態により使用量が変動する場合があります。

断熱接着工法(PEフォーム)



PE フォーム(ポリエチレンフォーム)を接着剤で下地に直接貼り付け、ビュートップを断熱材に全 面接着させる工法です。



●推奨仕様(高耐久仕様·防汚·高反射機能)

防水層重量目安:3.4kg/㎡(断熱30mm) 厚み:約32mm (断熱30mm)







1	プラストプライマー	0.2kg/m [*]
2	プラストボンド	0.4kg/㎡ 0.25kg/㎡ 下地側 0.15kg/㎡ フォーム側
3	PEフォーム	
4	UPプレート	
5	プラストボンド	0.15kg/m 断熱材側
6	VTボンドまたはビューボンド	0.25kg/㎡ シート側
7	ビュートップM20	
8	VT⊐	0.15kg/m ⁸

●標準仕様

防水層重量目安:3.2kg/㎡ (断熱30mm) 厚み:約32mm(断熱30mm)







1 プラストプライマー	0.2kg/m²
2 プラストボンド	0.4kg/㎡ 0.25kg/㎡ 断熱材側 0.15kg/㎡ フォーム側
3 PEフォーム	
4 UPプレート	
5 プラストボンド	0.15kg/㎡ 断熱材側
6 VTボンドまたはビューボンド	0.25kg/㎡ シート側
1 ビュートップM20	

シート名(仕様番号):ビュートップU15(VIT-U915P)、ビュートップU20(VIT-U920P)、ビュートップC15(VIT-C915P)、ビュートップC20(VIT-C920P)

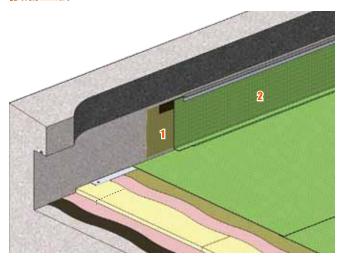
注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)

- ・プラストプライマーは、下地の状態により使用量が変動する場合があります。
- ・下地の挙動が大きいとされるALC版・PCaパネル下地の場合は、パネルの短辺方向をP-カットテープで増し貼りをします。
- ・ALCバネル下地の場合、リグレーまたはリグレーエボで下地処理をします。 ・断熱材がPEフォームで厚みが10mmの場合にはブラストフォーム10を使用します。

[※]ビュートップM20を他のシートに変更することができます。

立上り部例

接着工法



1 VTボンドまたはビューボンド

0.4 kg/m

2 ビュートップM20

※立上り端末部にはVTテープを貼り付けます。

●保護塗料

高耐久·防汚機能塗料







VIT-U915P - C

各種仕様工程参照

VTコート

 $0.15 kg/m^{4}$

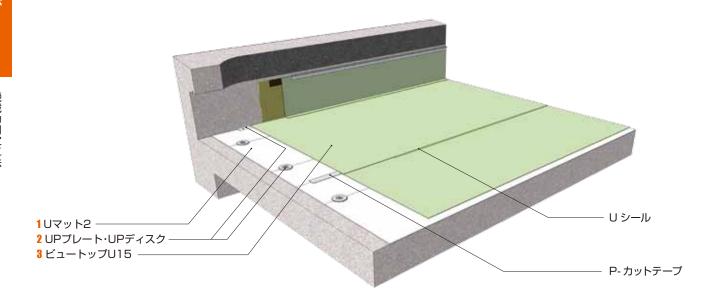
※仕様番号の後にCが追加されます。

[・]プレートの上には接着剤を塗布せず、溶融着させます。
・PEフォームの厚みは、60mmを上限とします。またPEフォームは、立上りから300mm以内の箇所で、切り込みを入れます。(図の破線部分)・接着剤(VTボンド・ビューボンド)は、下地の状態により使用量が変動する場合があります。
・防火認定が必要な場合には、本仕様は適用できません。

機械的固定工法



ビュートップリをアンカー固定したディスクを介して下地と固定し、下地とシート防水層を絶縁し た工法です。



●標準仕様

防水層重量目安:2.3kg/㎡ 厚み:約3.5mm





- 1 Uマット2
- 2 UPプレート・UPディスク
- 3 ビュートップU15

※ビュートップU15・U20を他のシートに変更することができます。 シート名(仕様番号):ビュートップC15(VT-C815)、ビュートップC20(VT-C820)

防水層重量目安:2.8kg/m² 厚み:約4.0mm



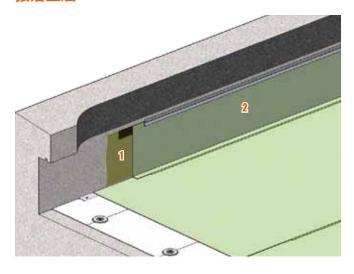


- 1 Uマット2
- 2 UPプレート・UPディスク
- 3 ビュートップU20

- ·Uマット2のジョイント部はP-カットテープを貼り付けます。
- ・プレートの上には接着剤を塗布せず、溶融着させます。
- ・強風地域や屋根形状によっては、固定金具を増やす必要があります。 ・ALC下地の場合は、29・30ページをご参照ください。

立上り部例

接着工法



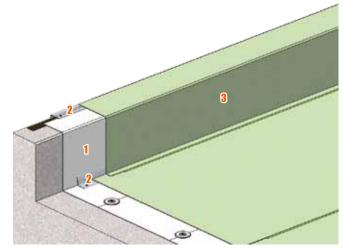
1 VTボンドまたはビューボンド

0.4 kg/m

2 ビュートップU15

※立上り端末部にはVTテープを貼り付けます。

機械的固定工法



- 1 Uマット2
- 2 UPプレート
- 3 ビュートップU15

※立上り端末部にはVTテープ50を貼り付けます。

●保護塗料

高耐久·防汚·高反射機能塗料

VTJ-FC









VT-U815 **- CC** VT-U820 **- CC**

各種仕様工程参照

 $VT \Box - FC$

 $0.15 kg/m^{4}$

※仕様番号の後にCCが追加されます。

高耐久·防汚機能塗料









VT-U815 - C

各種仕様工程参照

VTコート

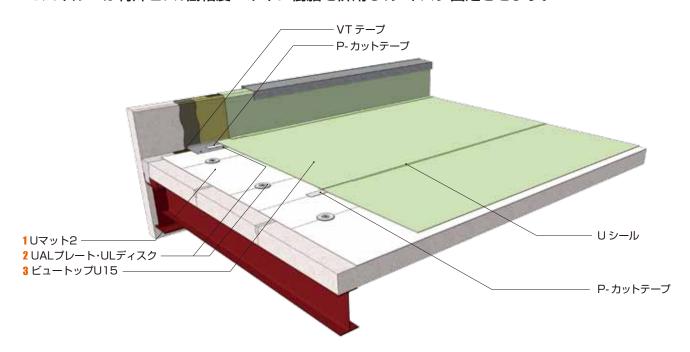
0.15 kg/m

※仕様番号の後にCが追加されます。

[·]接着剤(VTボンド·ビューボンド)は、下地の状態により使用量が変動する場合があります。

機械的固定工法(ALC下地)

ALCパネル下地の場合の機械的固定工法です。 ALCパネルへは特殊ビス、低粘度エポキシ樹脂を併用し、ディスク固定させます。



●標準仕様

VT-U815-ALC

防水層重量目安:2.3kg/㎡ 厚み:約3.5mm





- 1 Uマット2
- 2 UALプレート・ULディスク
- 3 ビュートップU15

VT-U820-ALC

防水層重量目安:2.8kg/㎡ 厚み:約4.0mm





- 1 Uマット2
- 2 UALプレート・ULディスク
- 3 ビュートップU20

※ビュートップU15・U20を他のシートに変更することができます。シート名(仕様番号):ビュートップC15(VT-C815-ALC)、ビュートップC20(VT-C820-ALC)※ALCパネルにアンカーを施工する前に、下穴へボンドE206(エボキシ樹脂)を必ず注入します。

注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)

[・]強風地域や屋根形状によっては、固定金具を増やす必要があります。

[・]Uマット2のジョイント部はP-カットテープを貼り付けます。

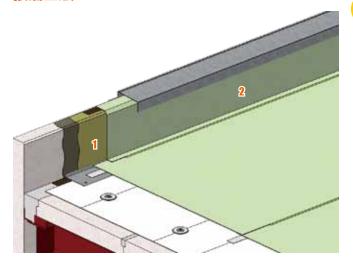
[・]立上り部接着工法の場合は、リグレーまたはリグレーエポで下地処理をします。

[・]下穴掘削深さはアンカーの埋め込み長さよりも10mm程度深くします。

〈イメージ図〉

立上り部例

接着工法



1 VTボンドまたはビューボンド

0.4kg/m^{*}

2 ビュートップU15

※立上り端末部にはVTテープを貼り付けます。



●保護塗料

高耐久·防汚·高反射機能塗料

VTJ-FC









VT-U815-ALC - CC VT-U820-ALC - CC

各種仕様工程参照

 $VT \supset - FC$

 $0.15 kg/m^{3}$

※仕様番号の後にCCが追加されます。

高耐久·防汚機能塗料

VTJ-







VT-U815-ALC - C

各種仕様工程参照

VTコート

 $0.15 kg/m^{3}$

※仕様番号の後にCが追加されます。

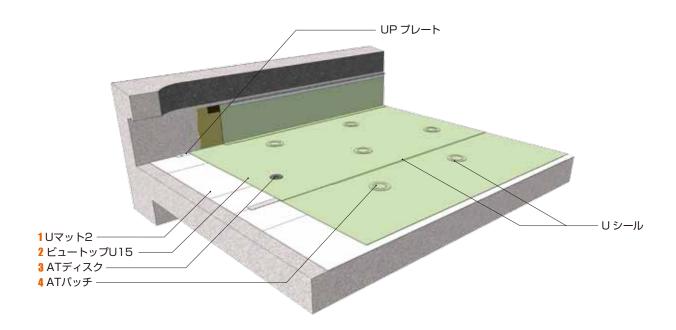
[・]下穴掘削作業は回転ドリルを使用してください。振動ドリルを使用するとALCパネルを欠落させる原因となります。

[·]ALCパネルの厚さは100mm以上とします。

[·]接着剤(VTボンド・ビューボンド)は、下地の状態により使用量が変動する場合があります。

機械的固定工法のディスクを後施工する場合

塩ビシートを敷設した後にディスクで留めつける場合に適応した工法です。



●仕様例

VT-U815**-A**T

VT-U815の場合

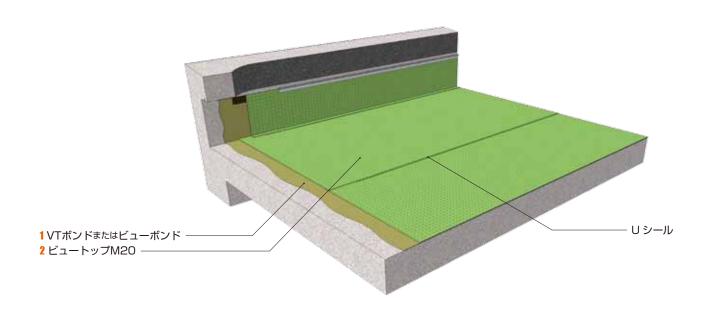
- 1 Uマット2
- 2 ビュートップU15
- 3 ATディスク・各種アンカー
- 4 ATパッチ

[・]誘導加熱装置(ディスクヒーター)は使用できません。

接着工法



ビュートップを接着剤で下地に直接貼り付ける工法です。



●標準仕様

防水層重量目安:2.7kg/㎡ 厚み:約2.0mm





1 VTボンドまたはビューボンド

0.4kg/m 0.2kg/m 下地側 0.2kg/m シート側

2 ビュートップM20

防水層重量目安:2.2kg/㎡ 厚み:約1.5mm





1 VTボンドまたはビューボンド

0.4kg/m² 0.2kg/m 下地側 0.2kg/m シート側

2 ビュートップU15

※ビュートップU15·M20を他のシートに変更することができます。

シート名(仕様番号):ビュートップU20(VT-U920)、ビュートップC15(VT-C915)、ビュートップC20(VT-C920)

●保護塗料

高耐久·防汚·高反射機能塗料

VT-U915



各種仕様工程参照

VTコートC





 $0.15 kg/m^{3}$







各種仕様工程参照

VTコート $0.15 kg/m^{4}$ ※仕様番号の後にCが追加されます。

※仕様番号の後にCCが追加されます。

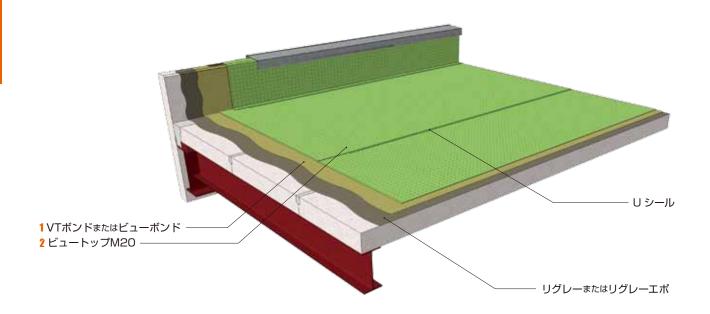
注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)

[・]下地は平滑な金ゴテ仕上げとします。 ・接着剤(VTボンド・ビューボンド)は、下地の状態により使用量が変動する場合があります。

接着工法(ALC下地)



ビュートップを接着剤で ALC 下地に直接貼り付ける工法です。



●標準仕様

防水層重量目安:2.7kg/㎡ 厚み:約2.0mm





1 VTボンドまたはビューボンド

0.4kg/m² 0.2kg/m 下地側

0.2kg/m シート側

2 ビュートップM20

0.4kg/m

0.2kg/m 下地側 0.2kg/m シート側

2 ビュートップU15

高耐久·防汚機能塗料

1 VTボンドまたはビューボンド

防水層重量目安:2.2kg/㎡

厚み:約1.5mm

※ビュートップM20·U15を他のシートに変更することができます。 シート名(仕様番号): ビュートップU20(VT-U920-ALC)、ビュートップC15(VT-C915-ALC)、ビュートップC20(VT-C920-ALC)

●保護塗料

高耐久·防汚·高反射機能塗料

















各種仕様工程参照

VTコートC 0.15kg/m⁸

※仕様番号の後にCCが追加されます。

各種仕様工程参照

VTコート 0.15kg/m^{*}

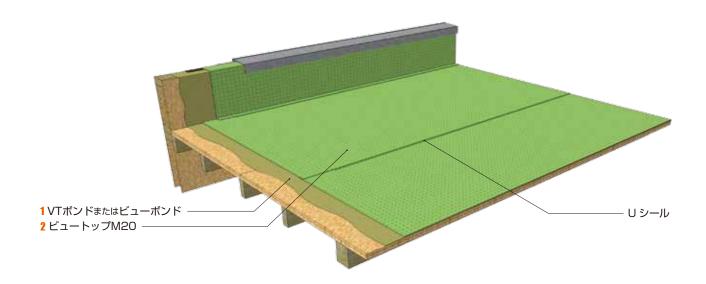
※仕様番号の後にCが追加されます。

注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)

- ・ALCパネルの短辺方向をP-カットテープで増し貼りをします。
- ・リグレーまたはリグレーエポで下地処理をします。
- ・立上りの構造により、立上り入隅部にプレートが必要な場合があります。
- ·接着剤(VTボンド·ビューボンド)は、下地の状態により使用量が変動する場合があります。

接着工法(木造下地)

ビュートップを接着剤で木造下地に直接貼り付ける工法です。



●標準仕様

防水層重量目安:2.7kg/㎡ 厚み:約2.0mm





1 VTボンドまたはビューボンド

0.4kg/m 0.2kg/m 下地側 0.2kg/m シート側

2 ビュートップM20

※ビュートップU15·M20を他のシートに変更することができます。 シート名(仕様番号):ビュートップU20(VT-U920-W)、ビュートップC15(VT-C915-W)、ビュートップC20(VT-C920-W)

防水層重量目安:2.2kg/㎡ 厚み:約1.5mm





1 VTボンドまたはビューボンド

0.4kg/m² 0.2kg/m 下地側 0.2kg/m シート側

2 ビュートップU15

●保護塗料

高耐久·防汚·高反射機能塗料









各種仕様工程参照

VTコートC 0.15kg/m

※仕様番号の後にCCが追加されます。

高耐久·防汚機能塗料









各種仕様工程参照

VTコート 0.15kg/m

※仕様番号の後にCが追加されます。

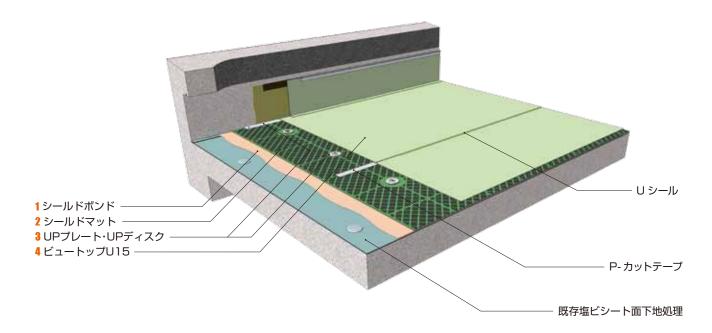
注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)

- ・GIボードを使用した断熱工法も可能です。[仕様番号例: VIT-M920GI-W]
- ただし、シートは2mm厚品のみとなります。(ビュートップM20·U20·C20) ·防火(飛び火)認定が必要となる場合は下地に制約が生じます。詳細はP54をご参照ください。

シールド工法



塩ビシート下地改修専用の絶縁マットを敷設することで、平面部の既存塩ビシートを撤去すること なく、新規に塩ビシートを施工することができます。



●標準仕様

防水層重量目安:2.3kg/㎡ 厚み:約1.7mm





4 ビュートップU15

1	シールドボンド	0.15kg/m [*]
2	シールドマット	
3	UPプレート・UPディスク	

※ビュートップU15・U20を他のシートに変更することができます。 シート名(仕様番号):ビュートップC15(VS-C815)、ビュートップC20(VS-C820)

防水層重量目安:2.8kg/㎡ 厚み:約2.2mm





1 シールドボンド	0.15kg/m²
2 シールドマット	
3 UPプレート・UPディスク	
4 ビュートップU20	

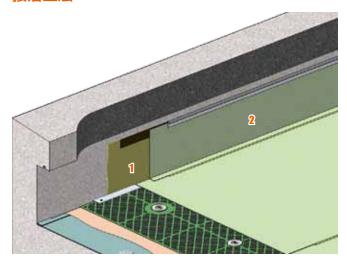
注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)

[・]浮き出ているアンカービス・ディスクは撤去してください。 ・シールドマット・ブレートのジョイント部分にはP-カットテーブを貼り付けます。 ・下地がALCパネルの場合は専用のディスク・アンカー・ブレートをご採用ください。

^{※1} 公共建築工事標準仕様書および公共建築改修工事標準仕様書 平成22年版では、「ALCパネル下地の場合は、機械的固定工法は適用しない」と記述されています。

立上り部例

接着工法



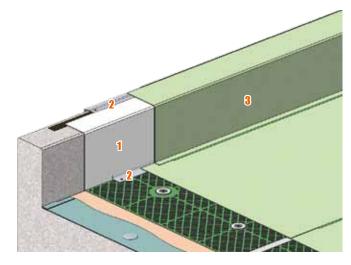
1 VTボンドまたはビューボンド

0.4 kg/m

2 ビュートップU15

※立上り端末部にはVTテープを貼り付けます。

機械的固定工法



- 1 Uマット2*
- 2 UPプレート
- 3 ビュートップU15
- *下地の状態により、シールドマットを使用する場合もあります

●保護塗料

高耐久·防汚·高反射機能塗料

VTコートC









VS-U815 **- CC** VS-U820 **- CC**

各種仕様工程参照

 $VT \Box - FC$

0.15kg/m⁸

※仕様番号の後にCCが追加されます。

高耐久·防汚機能塗料









VS-U815 **- C** VS-U820 **- C**

各種仕様工程参照

 $\forall \top \exists - \vdash$

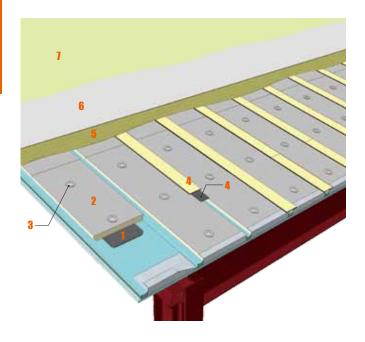
0.15 kg/m

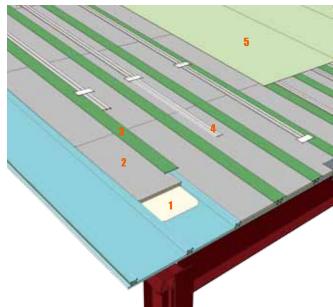
※仕様番号の後にCが追加されます。

[・]接着剤(VTボンド・ビューボンド)は、下地の状態により使用量が変動する場合があります。

金属屋根改修工法

金属屋根上に断熱材で平滑な下地を作り、ビュートップで仕上げる工法です。断熱効果や雨音低減効果を生み出します。





●瓦棒下地(接着工法)

KB-VIT-M820-CC



1	Rボンド	0.45kg/m ²	
2	GIボードW		
3	ASディスク・MRビス100		
4	ハイテープB・目地カバープレート		
5	VTボンド または ビューボンド	0.4kg/m²	
6	ビュートップM20		
7	VT⊐C	0.15kg/m ²	
※施工に先立ち必ずビスの引抜き試験、ならびに下地と断熱材の接着試験を実施して			

- ※施工に先立ち必ずビスの引抜き試験、ならびに下地と断熱材の接着試験を実施してください。
- ※シートは必ず2mm厚をご使用ください。

●瓦棒下地 (機械的固定工法)

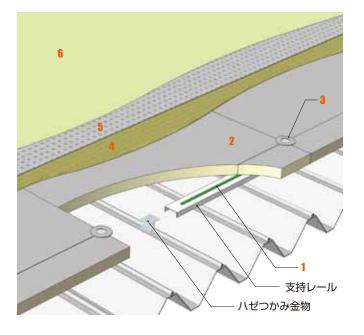
VIT-MR•U15

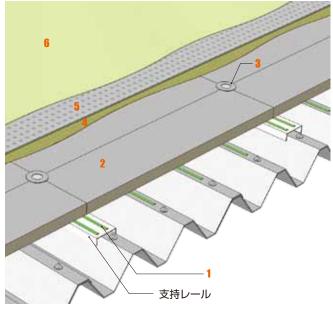


- 1 ACボンド O.1kg/m[®]
- 2 断熱材*
- 3 ルートガードD
- 4 MRプレートA・B (受注生産品) MRビス 100
- 5 ビュートップU15
- *リブ間のスペーサーとして使用。下地の状況により使用する断熱材が変わります。
- ※既設屋根の母屋の間隔は606mmまでとし、それを超えるものについては対応できませんので、ご注意ください。
- ※強風地域や屋根形状によっては、固定金具を増やす必要があります。
- ※MRプレートの固定には、適切なビスを用い、ジョイント部はP-カットテーブを貼り付けます。
- ※リブ間スペーサーとしてスタイロフォームRB-GK-II を使用する場合は、その上に Uマット2を敷設してください。
- ※アンカービスは母屋に固定します。

- ·接着剤(Rボンド·VTボンド·ビューボンド)およびディスクは、下地の状態や種類により使用量が変動する場合があります。
- ・軒先・ケラバ等の雨仕舞は、現地調査の上ご検討ください。
- ·GIボードWに隙間・段差が発生した場合はルートガードテープにより処理します。
- ・GIボードWの厚さが50mmを超える場合はご相談ください。

注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)





●ハゼ式折板下地

KH-VIT-M820-CC



1 Rボンド	•
--------	---

2 GIボードW

ASディスク・ビス (Rビス75 または DIPSビス60)

4 VTボンド または ビューボンド 0.4kg/㎡

5 ビュートップM20

6 VT⊐−トC 0.15kg/m^{*}

※施工に先立ち必ずビスの引抜き試験、ならびにハゼつかみ金物の引張試験を実施してください。

※シートは必ず2mm厚をご使用ください。

●重ね式折板(88式)下地

KS-VIT-M820-CC



1 Rボンド

2 GIボードW

ASディスク・ビス (Rビス75 または DIPSビス60)

4 VTボンド または ビューボンド 0.4kg/㎡

5 ビュートップM20

6 VT⊐−トC 0.15kg/m^{*}

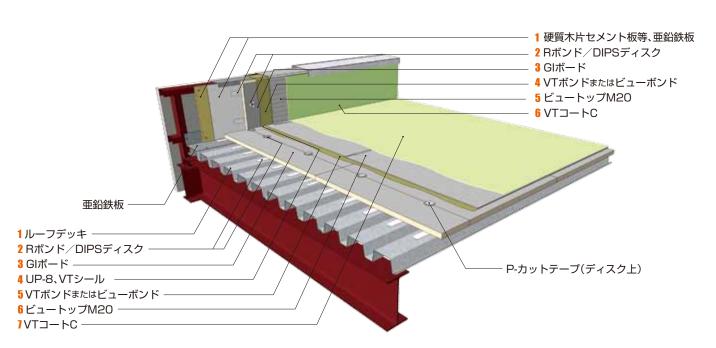
※施工に先立ち必ずビスの引抜き試験を実施してください。 ※シートは必ず2mm厚をご使用ください。

[・]折板の溝幅が90mm以上の場合は、GIボード40mm以上をご使用ください。

[・]点検用通路などとして、防滑性ビニル床シート「ビュージスタ」を塩ビシート上に敷設することも可能です(ビュージスタVJ、VJBに限る)。

耐火認定ルーフデッキ下地 断熱接着構法

屋根 30 分耐火認定を取得したルーフデッキを下地に用い、その上に直接断熱防水施工することで、 軽量かつ工期短縮を実現しました。



●推奨仕様

DIPS-VIT-M20GI-CC

防水層重量目安: 4.8kg (断熱35mm、ルーフデッキ含まず) 厚み: 約37mm (断熱35mm、ルーフデッキ含まず)





1	耐火認定ルーフデッキ DIP-U75 または IR DIP750	
2	Rボンド 線貼り・ディスク併用	0.4kg/m²
3	GIボード	
4	UP-8・VTシール	0.12kg/m
5	VTボンド または ビューボンド	0.4kg/㎡ 0.2kg/㎡ 下地側 0.2kg/㎡ シート側
6	ビュートップM20	
7	VT⊐-⊦C	0.15kg/m ⁸

立上り部

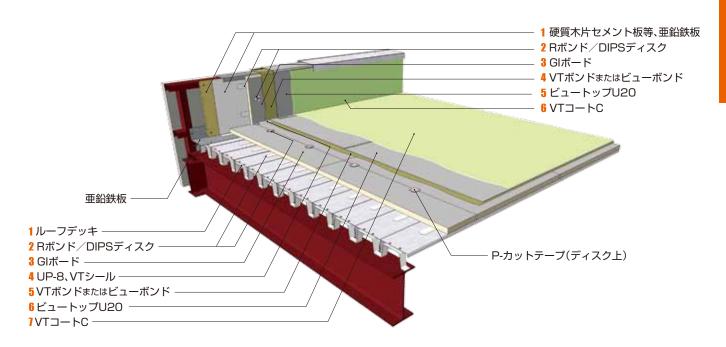
1 硬質木片セメント板等・亜鉛鉄板	硬質木片セメント板等・亜鉛鉄板		
2 Rボンド 線貼り・ディスク併用	0.4kg/m²		
3 GIボード			
4 VTボンド または ビューボンド	0.4kg/㎡ 0.2kg/㎡ 下地側 0.2kg/㎡ シート側		
5 ビュートップM20			
6 VT⊐-⊦C	0.15kg/m²		
	·		

※ビュートップM20を他のシートに変更することができます。(その場合は、仕様番号が変わります)シート名(仕様番号):ビュートップU20(DIPS-VIT・U20GI)、ビュートップC20(DIPS-VIT・C20GI)
※保護塗料をVTコート(0.15kg/㎡)にする場合、仕様番号末尾が「-C」となります。例:DIPS-VIT・M20GI-C

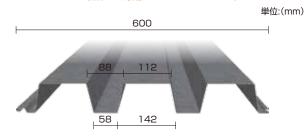
注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)

- ・接着剤(Rボンド・VTボンド・ビューボンド)およびディスクは、下地の状態や種類により使用量が変動する場合があります。
- ・シートは必ず2mm厚をご使用ください。
- ·GIボードに隙間・段差が発生した場合はルートガードテープにより処理します。

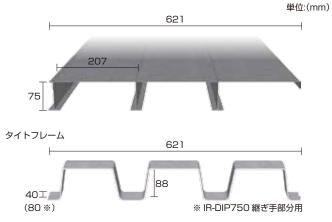
[·]GIボードの厚さが50mmを超える場合はご相談ください。



ルーフデッキ DIP-U75 (屋根30分耐火 FP030RF-0161)



ルーフデッキ IR DIP750 (屋根30分耐火 FP030RF-1745)



DIP-U75		
1.0mm(または1.2mm)		
13.4kg/m(1.0mm) 15.9kg/m(1.2mm)		
単純支持:3.8m以下 連続支持:3.8m以下		
1,000~10,000mm		
母屋板厚6mm以上:発射打込み鋲、焼抜き栓溶接 (ドリリングタッピンねじ) 母屋板厚6mm未満:ドリリングタッピンねじ		

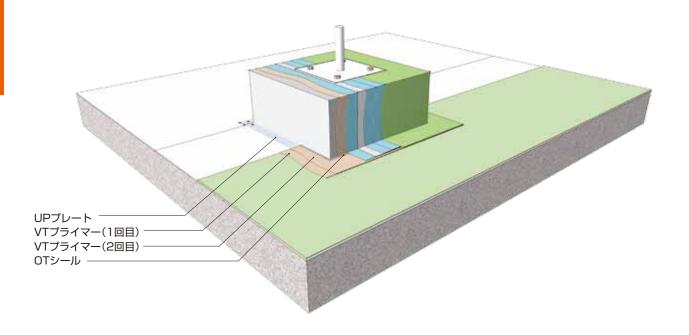
製造:	口 全部 /	→ ← Z由	++/+	:311	ΙΛ Ε
₩1 □ .1	11年77	十六疋	ጥ// ኒ ጥ/አ	:	IA-F

IR DIP750				
板厚	1.0mm(または1.2mm) ※板厚1.4mm、1.6mm品も対応可能(受注生産品)			
重量	15.8kg/㎡(1.0mm) 18.9kg/㎡(1.2mm)			
耐火認定取得 スパン	4,000mm以下			
長さ	1,000~10,000mm ※長さ10m以上の場合はご相談ください			
	タイトフレームと母屋	・すみ肉溶接 ・発射打込みびょう(ドリルネジ)		
接合方法	タイトフレームとIR-DIP750	·IRビス		
	IR-DIP750相互	・DIPSビス平頭		
製造:東邦シートフレーム(株)アイルーフ75				

[・]満型ルーフデッキの満幅が90mm以上の場合は、GIボード40mm以上をで使用ください。 ・点検用通路などとして、防滑性ビニル床シート「ビュージスタ」を塩ビシート上に敷設することも可能です(ビュージスタVJ、VJBに限る)。 ・必ず専用の「DSドレン」をご使用ください。(詳細は別冊カタログ「DIPS-VIT SYSTEM」を参照)

架台廻りウレタン塗膜防水併用工法

機械設備架台など複雑な箇所で塩ビシート施工が困難な場合に、液状のウレタン塗膜防水材を併用することで連続した防水層を形成できます。



●標準仕様

VT-0S-3S

1 平面部 VTプライマー	0.1kg/m²
2 平面部 VTプライマー	0.1kg/m²
3 架台部 OTブライマーAまたは VTプライマー	0.2kg/m²
4 OTシール	
5 立上り用オルタックスカイ	0.3kg/m²
6 メッシュUB	
立上り用オルタックスカイ	1.7kg/m²
8 立上り用オルタックスカイ	1.0kg/m²
9 OTコートシリコーン	0.2kg/m²

VT-OS-3A

1	平面部	VTプライマー	0.1kg/m²
2	平面部	VTプライマー	0.1kg/m²
3	架台部	OTプライマーAまたは VTプライマー	0.2kg/m²
4	OTシー	JV	
5	立上り用オルタックスカイ		0.3kg/m²
6	メッシュUB		
7	立上り用オルタックスカイ		1.7kg/m [*]
8	立上り月	用オルタックスカイ	1.0kg/m²
9	OT⊐-	· FA	0.2kg/m²

※使用可能なウレタン防水材は、立上り用オルタックスカイ、オルタックモードTです。これ以外の物についてはご相談ください。 ※ウレタン塗膜防水材に関する詳細については「オルタックスカイ」のカタログをご参照ください。

注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)

[・]塩ビシートとウレタン塗膜防水の取り合い部には必ずVTプライマーを使用してください。

[·]VTプライマーの塗布は、20~60分程度の間隔で2回塗りします。

[・]架台入隅はOTシール(ウレタン系シール材)を充填します。VTシールは接着しないため使用できません。

VTプライマーが長期接着耐久性を可能にします

塩ビシートとウレタン塗膜の取り合い部に VT プライマーを用いることで、ウレタンとの接着性ならびに可塑剤の移行防止機能による耐久性が確保できます。ウレタン防水用プライマーでは、接着性が確保できませんのでご注意ください。

VTプライマー



オルタックスカイ凝集破壊

OTプライマーA

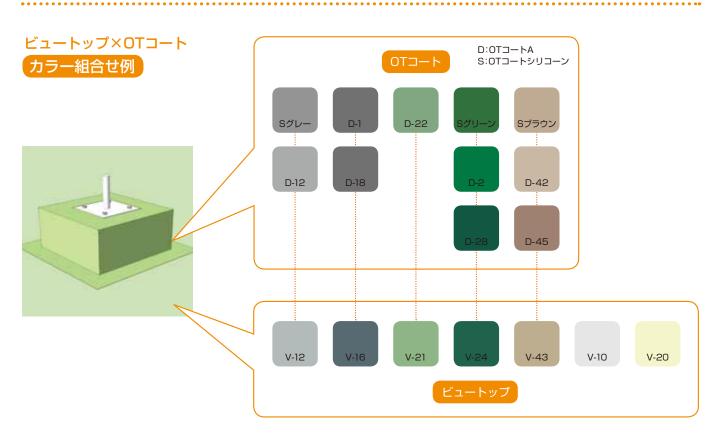


OTプライマーA/ビュートップU界面剥離

60℃熱処理接着試験

試験方法

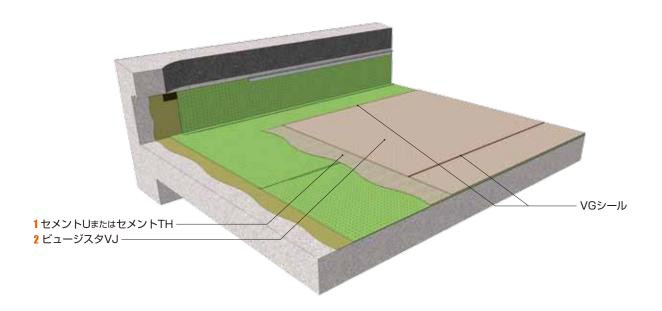
180°ピーリング試験 テストスピード:200mm/min 劣化処理:60°C熱処理 測定温度:20°C



- ・OTコートについての詳細は別冊「オルタックスカイカタログ」をご参照ください。
- ・上記組合せは参考として当社が提案するものであり、これ以外の組合せを除外するものではありません。
- ・各見本の色は、印刷上現物と幾分の色差がありますので、ご決定の際は現物見本等をご確認ください。

防滑性ビニル床シート仕上げ(ビュージスタVJ)

防滑性の高いビニル床シートを塩ビシート上に敷設することで、さらに意匠性を高め、耐歩行性も向上します。



●仕様例

VT-M920-VJ-1



ビュートップ各仕様 (VT-M920など)

1 セメントUまたはセメントTH 0.4 kg/㎡

2 ビュージスタVJ

※ビュージスタVJの接合部、接合端末部にはVGシールを充填します。



注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)

[・]ビュージスタVQは適用できません。ご注意ください。

[・]LF工法上には使用できません。

[・]機械的固定工法の上に敷設する場合、ディスクの段差やシートの段差・伸縮等により、シワを生じることがあります。

屋上緑化システム

ビュートップ防水にはグランドカバープランツを中心に豊富な種類の草花が植栽可能なユニットや、 セダムを中心にした省管理型現場植えタイプの採用が可能です。



●標準仕様

VT-M920-FD-U-GC

	VT-M920	
1	VTコート	0.15kg/m ²
2	エコムテープ20	
3	FDコーンH86*	
4	GCユニット*	
5	FDワッシャー	
	10-1-10-10-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11	

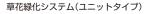
VT-M920-FD-U-S

VT-M920	
1 VTコート	0.15kg/m²
2 エコムテープ20	
3 FDコーンH86*	
4 エコムユニット*	
5 FDワッシャー	

※ご検討の際には、屋上緑化カタログ「グリーン・ルーフ・ストーリー」も併せてご参照ください。

*田島緑化工事(株)取扱商品









セダム緑化システム(現場植えタイプ)

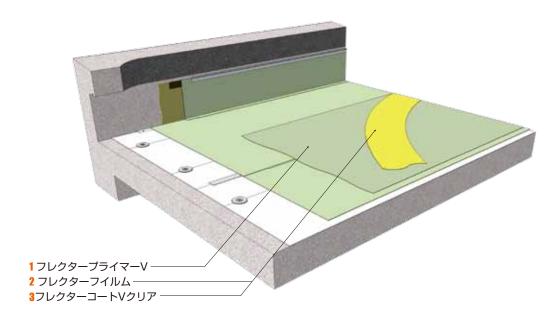
〈イメージ〉

注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)

[·]公共建築工事標準仕様または公共建築改修工事標準仕様の場合には保護層(FDマット1000S)が必要となります。

災害対策用ヘリサインフィルム仕上げ(フレクターフィルム)

「フレクターフイルム」は、防水層用災害へリサインフィルムです。長期にわたり強固に密着し、色 素層は過酷な水平面でも色褪せしにくく、高い耐久性、耐退色性を有します。さらに再帰性反射機 能があり、夜間時にヘリコプターからのランディングライトやサーチライトに高輝度で反射します。



●仕様例

VT-U815•FF-2

ビュートップ各仕様(VT-U8	ビュートップ各仕様(VT-U815など)		
1 フレクタープライマーV 0.1 kg/㎡			
2 フレクターフイルム			
3 フレクターコートVクリア	0.1 kg/m²		

●防滑仕様例

VT-M920•FF-2 防滑仕上げ

ビュートップ軽歩行可能仕様	(VT-M920など)	
1 フレクタープライマーV	0.1 kg/m²	
2 フレクターフイルム		
3 フレクターコートVクリア +Mチップ	0.1 kg/m²	

[・]VTコート・VTコートC仕上げの場合は、フレクタープライマーVの工程を省略することができます。・ビュートップ防水以外の防水層に施工した場合、剥がれや膨れ等が発生する場合があります。

[·]フレクターコートVクリアは受注生産品(納期約10日)となります。

■再帰性反射機能

災害、救急は昼夜問わず発生します。夜間時の視認性を高めるために、フレクターフイルムは、入射光を光源の方向にまっすぐ戻す 【再帰性】反射機能を有しております。ヘリコプターのランディングライトや、サーチライトからの視認性を高めるために、高い反射 機能を付加しました。

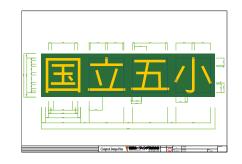




光源:600W 使用 高度:300m より夜間撮影

■デザイン

一般的にヘリサインは 1 文字 4m から 6m 角の大きさで表現します。上空 300m 以上の高度からこれらの文字を認識するためには、見やすい正確なフォントデザインが求められます。工場でコンピュータ制御によってカットされたフレクターフイルムは、正しいフォントデザインを忠実に再現します。



■コストバリュー

フレクターフイルム設置範囲に専用プライマーを塗布した後、カットされた材料の位置を確認しながら剥離紙を剥がし貼り付けます。 材料が全て工場で正確にカットされ、現場に搬入されることで、現場でのカット作業を極力無くし、何層も塗布する塗装方式と比べ て圧倒的な工期短縮を実現します。





カラーバリエーション*







ホワイト・イエロー・オレンジ共に JIS Z9117 ライプ 1-A-a 適合

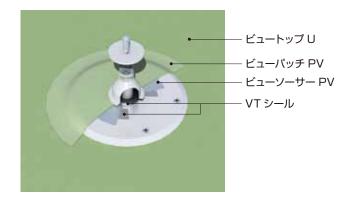
^{*}カタログの印刷色は実際のフィルムの色とは異なります。サンブルをご確認ください。 ※フレクターフイルムに関する詳細については「フレクターフイルム」のカタログをご参照ください。

ソーラーパネル設置用基礎(PV-FIX ソーラーベース)

ソーラーパネル設置用基礎「ソーラーベース」は防水材メーカーが開発した、新築だけでなく既存 の建物にも設置が可能な、太陽光ソーラーと防水の共生を可能にする、これからのソーラーパネル 設置用基礎です。



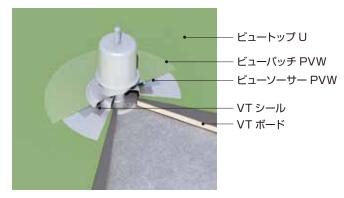
●非断熱仕様



- 1 ソーラーベース
- 2 ビューソーサーPV(VTシールにて貼り付け)
- 3 ビューパッチPV
- **4** 端部 VTシール

※ご検討の際には、「PV-FIX ソーラーベース」カタログも併せてご参照ください。

●断熱仕様



- 1 ソーラーベースW
- 2 ビューソーサーPVW(VTシールにて貼り付け)
- 3 ビューパッチPVW
- 4 端部 VTシール

注意事項(P.15の共通注意事項もご確認ください)

- ·必ず、構造計算を行った上で、ソーラーベース(W)の設置個数・割付を決定してください。
- ・必ず、現地にてアンカーの引き抜き試験を行い、下地強度の確認を行ってください。 ・適用下地はコンクリートのみとなります。(ALCパネル下地には適用できません)

ソーラーベースに求められる耐力

ソーラーベースにはパネル・架台を介して様々な方向を持った力が作用します。

ソーラーベースは防水納まりを考慮して複雑な形状で設計されているため耐力の設定は実証実験を踏まえ検証しています。

■ソーラーベース本体 荷重変形特性

■測定項目

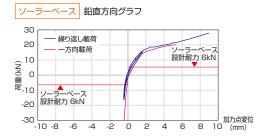
荷重

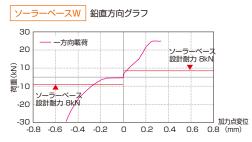
一方向載荷および繰り返し載荷 変位

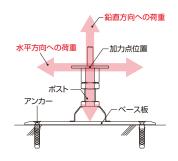
加力点・ポスト部・ベース板部・ アンカー部

- ●設計耐力の設定において、鋼材の降伏耐力をもとに、荷重一変位・荷重一歪の関係から弾性範囲内かつ安全率を考慮する。
- ●安全率の設定に際しては、結局 強度時の状況を考慮した。

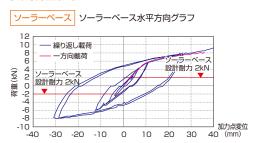
鉛直方向載荷実験

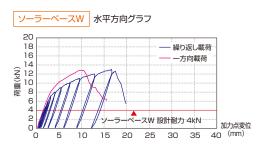






水平方向載荷実験





結 果

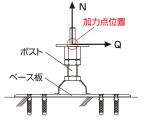
- 繰り返し載荷及び一方向載荷の履歴は設計耐力内において同様の結果を示している。
- 繰り返し載荷の履歴より、設計耐力内においては、弾性挙動を示していることが確認できる。
- ソーラーベース・ソーラーベース W は弾性限界から終局耐力まで十分な余裕がある。(設計耐力を超える負荷がかかっても容易に破壊しない)

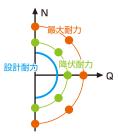
■設計耐力の決定

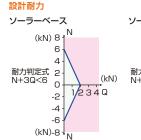
様々な実験結果を基にソーラーベースの設計耐力を決定する。

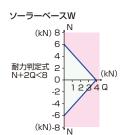
載荷試験結果により、ソーラーベースの耐力設定を鉛直方向 6kN、水平方向 2kN、ソーラーベース W の耐力設定を鉛直方向 8kN、水平方向 4kN、としました。 この結果を基に設定した安全領域の設計耐力図が下図です。

概念図









官公庁•日本建築学会仕様

【公共建築工事標準仕様書 平成25年版 合成高分子系ルーフィングシート防水】 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) 【公共建築改修工事標準仕様書 平成25年版 合成高分子系ルーフィングシート防水】(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

S-F2 塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水接着工法

(単位:kg/㎡)

S-F2	VT-M920 平面部
1 一 (プライマー塗り 0.3)*1	1 (リグレーまたはリグレーエポ)
2 接着剤塗布 0.4	2 VTボンドまたはビューボンド 下地側:0.2 シート側:0.2
3 塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート張付け	3 ビュートップM20

S-M2 塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水機械的固定工法 (単位			(単位:kg/㎡)	
	S-M2		VT-U815 平面部	
1	(絶縁用シート敷設)※2	1	(Uマット2)	
2	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシートの固定金具による固定	2	ビュートップU15 UPプレート・UPディスク	

SI-F2 塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水接着工法

(単位:kg/m)

SI-F2	VIT-M920GI 平面部	VIT-M920P 平面部
1 一 (プライマー塗り 0.3)*1	1 -	1 ー(リグレーまたはリグレーエポ)
接着剤 2 断熱材	2 VTエース 0.45 2 GIボード	プラストプライマー 0.2 2 プラストボンド 0.4 PEフォーム※3
3 接着塗布 0.4	3 VTボンドまたはビューボンド 断熱材側:0.2 シート側:0.2	プラストボンド 断熱材側:0.15 VTボンドまたはビューボンド シート側:0.25
塩化ビニル樹脂系 4 ルーフィングシート張付け	4 ビュートップM2O	4 ビュートップM2O

\$1-W2 塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水機械的固定工法

(単位:kg/m)

	SI-M2	VIT-U815V 平面部	VIT-U815R
1	防湿用フィルム/断熱材	1 絶縁シートなど/VTボード	1 絶縁シートなど/スタイロフォームRB-GK-Ⅱ
2	絶縁用シート敷設	2 -*4	2 Uマット2
3	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシートの 固定金具による固定	ビュートップU15 3 UPプレート・UPディスク	ビュートップU15 3 UPプレート・UPディスク

^{※1} ALC下地の場合は、工程1を()内とします。

公共建築工事標準仕様書 平成 25 年版 P141(公共建築改修工事標準仕様書 平成 25 年版 P61)に「ALC パネル下地の場合は、機械的固定工法は適用しない」と記述されています。 断熱材を用いる場合は、SI工法とし、断熱材の種類、厚さは特記によります。

^{※2 ()}内は改修工事の仕様です。
※3 断熱材の厚みが10mmの場合にはPEフォームに代えて、プラストフォーム10を使用します。
※4 VTボードの面材に可塑剤移行防止機能があるため工程2(絶縁用シートの敷設)を省くことができます。

【 日本建築学会 建築工事標準仕様書・同解説 JASS8 2014年版 シート防水工事 】

S-PF 塩化ビニル樹脂系シート防水工法・接着仕様

(単位:kg/m)

S-PF			VT-M920 平面部
1 接着剤塗り	下地側:0.2 シート側:0.2	1	VTボンドまたはビューボンド 下地側:0.2 シート側:0.2
2 塩化ビニル樹脂	旨系シート厚さ1.5mm張付け	2	ビュートップU15

S-PFT 塩化ビニル樹脂系シート防水工法・断熱接着仕様

(単位:kg/m)

S-PFT	VIT-M920P 平面部
1 接着剤塗り 下地側:0.2 シート側:0.2	1 プラストプライマー 0.2 プラストボンド 0.4
2 断熱材張付け	2 PEフォーム*1
3 断熱材の固定金具による固定(立上り際)	3 UPプレート
4 接着剤塗り 下地側:0.2 シート側:0.2	プラストボンド 断熱材側:0.15 VTボンドまたはビューボンド シート側:0.25
5 塩化ビニル樹脂系シート厚さ1.5mm張付け	5 ビュートップU15

\$-PW 塩化ビニル樹脂系シート防水工法・機械的固定仕様

(単位:kg/㎡)

S-PM	VT-815
1 塩化ビニル樹脂系シート厚さ 1.5mmの固定金具による固定	1 (Uマット2)※2
	2 ビュートップU15 UPプレート・UPディスク

S-PMT 塩化ビニル樹脂系シート防水工法・断熱機械的固定仕様

(単位:kg/㎡)

	S-PMT	VIT-U815V 平面部	VIT-U815R
1	断熱材の敷き並べ※3	1 VTボード	1 スタイロフォームRB-GK-II
2	絶縁用シートの敷き並べ	2 -*4	2 Uマット2
3	塩化ビニル樹脂系シート厚さ1.5mmの 固定金具による固定	ビュートップU15 UPプレート・UPディスク	ビュートップU 3 UPプレート・UPディスク

 ^{※ 1} 断熱材の厚みが 10mm の場合には PE フォームにかえて、プラストフォーム 10 を使用します。
 ※ 2 () 内は下地状況によって使用する場合があります。
 ※ 3 「エネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断の基準」(平成 25 年経済産業省・国土交通省告示第 1 号) の別表 4 に定められた地域 1,2,3,4 の場合、工程 1 「断熱材の敷き並べ」に先立ち、防湿用フィルム (絶縁シートまたはシールドマット) を敷き並べるようにします。 ※ 4 VT ボードの面材に可塑剤移行防止機能があるため工程 2 (絶縁用シートの敷き並べ) を行いません。

技術資料

近隣火災からの防火や強風への耐力など、ビュートップが果たすべき役割は防水だけではありません。

【屋根の防火性能】

建築基準法では、火災が発生した場合の火の粉などによる周囲への延焼被害を防ぐために、防火関連法規(地域、屋根の構造、屋根材の規定など)を定めています。

■防火と耐火の違い

屋根の防火性能(外側からの火)

近隣の火災による火の粉などにより、炎が室内に達する様な 亀裂や燃え抜けが生じないこと。

延焼の恐れがある火災が生じないこと。



耐火性能(内側からの火)

当該建物内で発生した火災を一定時間外部に出さないこと。 その建物が倒壊しないこと。



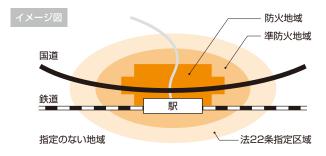
■屋根に防火性能が必要な地区

- ●防火地域、準防火地域
- ●法 22 条指定区域

(大規模な木造建築の場合も屋根に防火性能が求められます:建築基準法 25条)

地域の区分

防火地域(建築基準法61条)、準防火地域(建築基準法62条)は都市計画法によって市街地における火災の危険を防ぐために指定した地域です。法22条指定区域は特定行政庁が防火地域、準防火地域以外の市街地について指定した地域です。



■防火性能を有する屋根構造

建築基準法63条、22条に基づき、建築物の屋根構造を定めています。 具体的には以下の構造とします。

A平12年建設省告示第1365号の構造

- ・屋根が耐火構造で、勾配が30度以内であること
- ·断熱材の厚さの合計が50mm以下であること
- ・塩化ビニル樹脂系シート防水(ビュートップ防水)であること

※最表面を不燃材で覆っている場合は、下地や傾斜に関係なく防火地域、準防火地域、法22条指定区域内の建物に施工できます。

B国土交通大臣の認定を受けた構造

屋根の防火(飛び火)性能試験







屋根の防火(飛び火)認定試験に合格し、 国土交通大臣の個別認定を取得

■ビュートップ防水における防火性能を有する屋根構造

	↑ #=1005円 引載の様件	E	国土交通大臣の認定を受けた構造(概	略)
	A 告示1365号 記載の構造	DR-0256	DR-1817 (9)	DR-1817 (1)
		コンクリート製下地 (RC・PCa・ALC)	コンクリート製下地 (RC・PCa・ALC)	木製下地
屋根構造	耐火構造 RC·PCa·ALC	厚さ100mm以上	厚さ50mm以上	支持部材: 垂木 30×40mm以上 支持間隔 910mm以下 野地板: 合板 18mm以上 (9mm以上、2枚以下重張り)
下地の傾斜角	30° 以下	30°以下	30° 以下	30°以下
断熱材の厚み	50mm以下	VTボード 55〜150mm (3枚以下重ね張り)	GIボードW 55〜150mm (3枚以下重ね張り)	GIボードW 25~150mm (3枚以下重ね張り)
防水	ビュートップ防水 機械的固定工法、接着工法	機械的固定工法 ビュートップU20/VTコートC難燃	接着工法 ビュートップM20・U20/ VTコート (C)	接着工法 ビュートップM20・U20/ VTコート (C)
構成図				

		B 国土交通省大臣認定を受けた構造	
	DR-1817 (6)	DR-1817 (3)	DR-1818-1
	鋼製下地	木製下地	鋼製下地
屋根構造	支持部材: リップ溝型鋼 60×30×10×1.6mm以上 溝型鋼 75×40×5mm以上 支持間隔 910mm以下 野地板: 木質系セメント板 18mm以上 (普通木片セメント板は30mm以上)	支持部材:垂木 30×40mm以上 支持間隔 910mm以下 野地板:合板 18mm以上 (9mm以上、2枚以下重張り)	デッキブレート:1.0mm以上 フラットデッキ:1.0mm以上
下地の傾斜角	30°以下	30°以下	30°以下
断熱材の厚み	GIボードW 25〜150mm (3枚以下重ね張り)	断熱材なし	GIボードW 55~150mm (3枚以下重ね張り)
防水	接着工法 ビュートップM20・U20/ VTコート (C)	接着工法 ビュートップM20・U20・ U15・C20・C15	接着工法 ビュートップM20・U20/ VTコート (C)
構成図			

[※]上表は、認定を受けた構造の概略になります。認定を受けた構造方法の内容、該当防水仕様については弊社ホームページにてご確認ください。
※表中以外の屋根構造においても認定を受けているものがあります。詳しくは弊社ホームページ、または営業担当までご確認ください。

【耐風圧性能】

風により屋根面の防水層には上向きの力がかかります。ビュートップ機械的固定工法は防水層が風で飛ば されることがないように、十分な安全性を考慮して、下地との固定強度および固定個数を設定しています。

■建築基準法による風圧力算定

風圧力の計算は、平成 19 年に改正・施行された建築基準法施行令 第82条の4「屋根ふき材等の構造計算」、建設省告示平成12 年 1454 号「E の数値を算出する方法並びに Vo 及び風力係数の数値を定める件」および 1458 号「屋根ふき材及び屋外に面する 帳壁の風圧に対する構造体力上の安全性を高めるための構造計算の基準を定める件」に基づいて行われます。

※建築基準法 第20条「構造計算」

建築基準法施行令 第82条の4「屋根ふき材等の構造計算」

建設省告示 平 12 建告第 1454 号「E の数値を算出する方法並びに Vo 及び風力計数の数値を定める件」

平 12 建告第 1458 号 「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造体力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」

風圧力は以下の式により求められます。

風圧力の計算式:W=q×Cf

W:風荷重(風圧力) q:平均速度圧(N/m) Cf:ピーク風力係数

風圧力の計算式中の平均速度圧 q は以下の式により求められます。 $q=0.6 \times Er^2 \times Vo^2$

Er: 平均風速の高さ方向の分布を表す係数

建築物の高さH、地表面粗度区分およびそれから規定される値 (Z_b, Z_G, α)

①HがZb以下の場合、Er=1.7(Zb/ZG)⁹

②HがZbを超える場合、Er=1.7(H/Zg)^α

	地表面粗度区分	Z₀(m)	Z _G (m)	α
	I	5	250	0.10
ĺ	П	5	350	0.15
	Ш	5	450	0.20
ĺ	IV	5	450	0.20

※地表面粗度区分は、地域の市街化の状況に応じて4段階に分かれます。
※屋根ふき材等の構造計算上では、陸屋根の場合Ⅳ地域はⅢ地域と同じ扱いとなります。

ピーク風圧係数は以下の式により求められます。

Cf=Cpe-Cpi

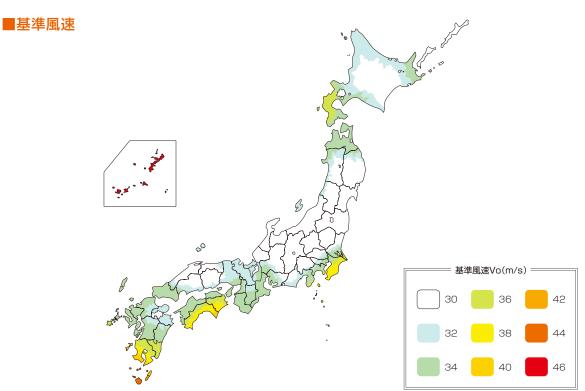
Cpe:ピーク外圧係数

長方形平面屋根、勾配10度以下の場合

	一般部	周辺部	コーナー部
Cpe	-2.5	-3.2	-4.3

Cpi:ピーク内圧係数

閉鎖型建物、ピーク外圧係数が負の場合、Cpi=O



■耐風圧性能基準

ビュートップ各工法の固定強度は次のように算出します。

接着工法の場合

固定強度(N/m)=単位面積あたりの接着強度×mあたり接着面積

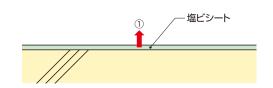
機械的固定工法の場合

固定強度(N/m)=固定強度(N/m)=ディスク1箇所あたりの固定強度(N)×ディスク固定数(M/m)

※弊社における耐風圧性評価は、設計上想定すべき風圧力に対し、その2倍の安全性(安全率200%)をもって社内基準としております。 ※安全率: 固定強度(N/m)÷風圧力(N/m)×100=200%以上

【接着】

●コンクリート下地・非断熱

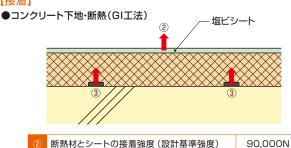


1	下地とシートの接着強度(設計基準強度)	18

39,600N

1㎡あたりの固定強度: 189,600N

【接着】

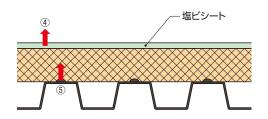


2	断熱材とシートの接着強度(設計基準強度)	90,000N
3	下地と断熱材の接着強度(設計基準強度)	22,500N

1㎡あたりの固定強度:22,500N

【接着】

●ルーフデッキ下地・断熱



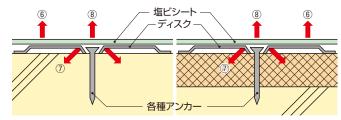
4	断熱材とシートの接着強度 (設計基準強度)	90,000N
5	ルーフデッキと断熱材の接着強度(設計基準強度)	18,000N*

1 ㎡あたりの固定強度: 18,000N ※ニッテツルーフデッキUA-Rの場合(ルーフデッキの種類により強度は異なります)

【機械的固定】

●コンクリート下地・非断熱

●コンクリート下地・断熱



① アンカーによるディスクの固定強度 3,400N	
1 下地に対するアンカーの固定強度 現場確認	

1㎡あたりの固定強度:2,015N

⑧の数値が⑥以上の強度であれば、⑥の数値をディスク1箇所あたりの固定強度とする。

■ディスク固定ピッチ算出手順 -RC下地の場合-

建築基準法に基づいて風圧力を設計する場合



図A 標準固定ピッチでの適応条件早見表

ビュートップ機械的固定工法(ディスク固定)標準割付けパターンで対応できる条件の目安を、高さ3m毎に示しました。 下表は目安となりますので、実際の建築物条件に合わせて耐風圧検討、割付検討が必要となります。

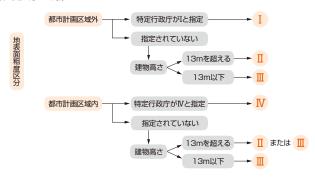
建築基準法・告示に基づき風圧力を算出し、標準割付パターンでの固定力を対比、安全率200%が得られる条件で求めています。 風圧力の算出方法は設計者により異なりますのでご注意ください。

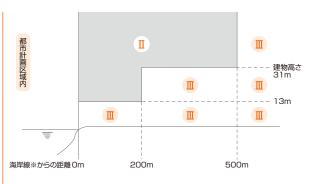
地表面粗度区分Ⅲ

地纹田位	及四刀	ш.							
				基準風速	(m/s)				
高さ(m)	30	32	34	36	38	40	42	44	46
3									
6									
12									
15									
18		***							
21		範囲の場		***	de i la la .				
24		3標準固定		二範囲の第	単出」に				
27	基づ	いて割付							
30									
33									
36									
36									
39						マの笠田	の担合	安全率2	00%
42									
45						算出	生体 ぐさん	るよう、個	万川に
48						昇山			
51									
54									
57									
60									

地表面粗度区分Ⅱ									
基準風速(m/s)									
高さ(m)	30	32	34	36	38	40	42	44	46
13									
15									
18		面粗度区	分Ⅲ						
21	(左君	長)に同じ							
24									
27									
30									
33									
36									
36				地	表面粗度	区分Ⅲ(左表)に同	りじ	
39									
42									
45									
48									
51									
54									
57									
60									

地表面粗度区分の定義

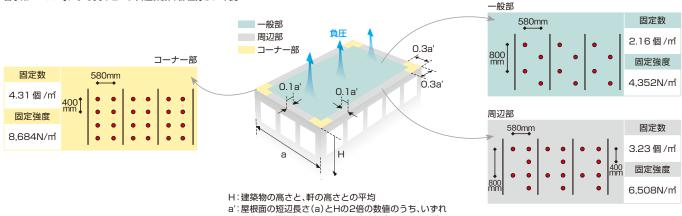




※対岸までの距離が1,500m以上の海岸線または湖岸線

図B 標準固定ピッチと範囲の算出

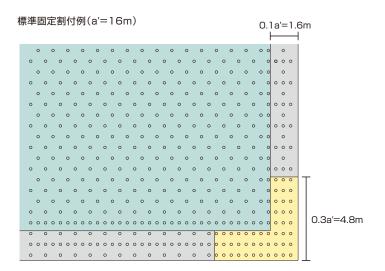
告示第 1458 号による負のピーク外圧係数の部位分けに準拠



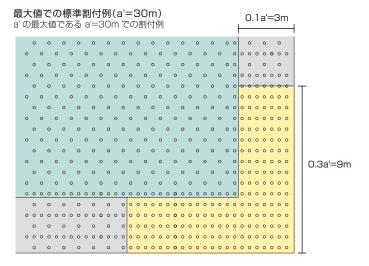
- か小さい数値(ただし30mを超える場合は30とする)

標準固定割付例

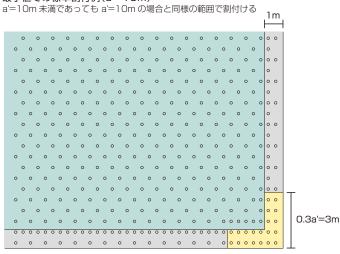
コーナー部、周辺部の固定パターンは、O.1a'、O.3a'で囲まれる範囲の1列外側まで適用します。



図は一例であり、屋根形状によって割付けは異なります。 現場ごとに最適な割付けをご検討ください。

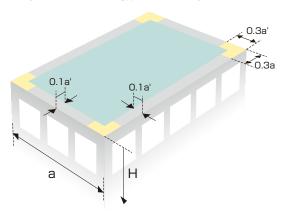


最小値での標準割付例(a'=10m)



a'=屋根面の短辺長さ(a)………① 建築物の高さ(H)の2倍……②

①と②**のうち小さい数値** (ただし 30m を超える場合は a'=30 とする)



技術資料

いくつもの検証を経て立証された、圧倒的なパフォーマンスを備えた防水システム。

●防水シート

耐候性

屋外に曝露される塩ビ防水シートは、紫外線、熱、水等の複合要因によって劣化が引き起こされます。促進耐候性試験機の中でも最も太陽光に近似した分光特性を持つとされているキセノンアークランプ式耐候性試験機を用いて人工的に劣化を促進させてビュートップシートの耐候性の確認を行いました。

寸法安定性

防水シートは、夏季の炎天下時には表面温度が70℃を超える場合もあり、厳しい熱環境に曝されます。シートは熱劣化によって徐々に収縮し、収縮が大きいと破断してしまう場合もあります。熱の影響によるビュートップシートの収縮性を確認しました。

ジョイント接合性

塩ビシート防水はその優れた一体化性能により、シート同士の接合幅は 40mmとなっています。ビュートップシート各種の接合性能を確認しました。

促進耐候性試験

■ 試験方法

キセノンアークランプ式耐候性試験機を用いて、促進 劣化させたシートの伸び率を測定する。

処理時間 1,000 \sim 1,300 時間が実曝露 1 年に相当します。

加熱収縮性状試験

■ 試験方法

JIS A 6008 合成高分子系ルーフィングシートに準ずる.

80℃熱処理をした試験体の寸法変化率を測定する。 測定温度:20℃

接合部引張性能試験

■ 試験方法

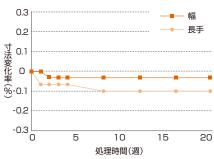
JIS A 6008 合成高分子系ルーフィングシート 接合性状および接合引張性能試験参考。

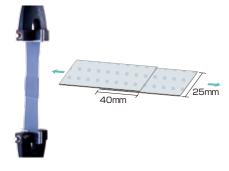
ビュートップシートを 40mm 幅でラップさせ、熱風融着と溶剤溶着で接合する。

試験速度: 200mm/min



試験結果



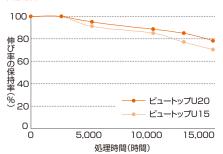


試験結果

(単位:N) ※25mmあたり

(+E11) %E811118/C					
シート	接合	į,	温度条件	ŧ	破断現象
種類	方式	-10℃	20℃	40°C	WX四环家
ビュートップ	熱融着	524	342	336	
U15	溶剤溶着	580	332	346	接合部以外での
ビュートップ	熱融着	677	428	327	破断
M20	溶剤溶着	708	421	321	

試験結果



耐薬品性能

防水層は地域によっては、亜硫酸ガスま たはこれを含む酸性雨、コンクリート中 のアルカリ分、海岸地域における塩分、 熱、紫外線、酸性雨、潮風など種々の曝 露環境により、機械的物性や表面状態に 影響を受けます。ビュートップシートの 耐薬品性を確認しました。

耐摩耗性

防水シートは、屋根に堆積した土や砂等 によって摩耗される環境にあり、屋上を 歩行用途に使用される場合はさらに高い 耐摩耗性が要求されます。摩耗試験によ るビュートップシートの耐摩耗性能を確 認しました。

防滑性

屋上部を歩行用途(軽歩行)として使用 する場合は、防滑性を考慮する必要があ ります。ビュートップシートの防滑性能 を確認しました。

耐薬品性試験

■ 試験方法

各種シートを各薬品に1週間浸漬した後の引張強さ、 伸び率および各種シートの色差ΔEを測定する。

耐壓耗性試験

■ 試験方法

JIS A 1454 高分子系張り床試験方法 耐摩耗性試験 に準ずる。

摩耗試験機に設置された試験体上に散布砂を散布させ つつ、摩擦鋼板、摩擦ブラシおよび打撃びょうの順序で回転板を毎分1回で回転させ、1,000回転回転後、 試験前後の厚さの変化を測定する。

滑り性試験

■ 試験方法

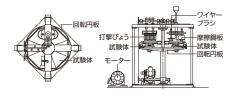
JIS A 1454 高分子系張り床試験方法 滑り性試験に 準ずる。

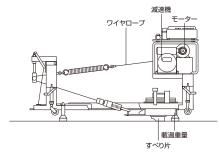
滑り試験機に滑り片(合成ゴム底靴を想定したゴム シート)を貼り付け、載荷重量を80 kgとして荷重速度80kg/秒で引っ張り、下記の式にてC.S.R値 を測定し評価指標をした。

引張最大荷重

載荷重量 (80kg) = C. S. R 値







試験結果

₩ □.6	atturbe (O/)	機械的物性	変色	=π/m
薬品名	濃度(%)	伸び率の 変化率(%)	ΔΕ	評価
塩酸	10	105.3	0.06	0
硫酸	10	106.7	0.10	0
硝酸	10	105.3	0.14	0
酢酸	10	102.2	0.16	0
クエン酸	10	104.4	0.14	0
水酸化 ナトリウム	20	99.1	0.17	0
水酸化 カルシウム	飽和液	95.6	0.10	0
アンモニア水	10	100.9	0.26	0
塩化ナトリウム	10	104.4	0.16	0
炭酸ナトリウム	20	88.9	0.05	0
炭酸水素 ナトリウム	飽和液	92.4	0.32	0
灯油	_	26.7	0.40	×



試験結果

製品名	摩耗量(mm)
ビュートップU20	0.06
ビュートップM20	0.03
一般ビニル床タイル	0.34

試験結果

滑りの最適値と許容範囲(下足床での歩行感統計)

※履物は紳士硬底靴の場合



滑りの測定結果

ビュートップ M20		0.50 👭		№ 0.85
ビュートップ U20	(0.47 🖠 📗		0.86
一般ビニル 床タイル	(0.46 🕌 🛚	 0.7	' 5
一般ビニル 床シート		0.49 👭		0.81

◆表面状態が水+ダスト ◆表面状態が清掃

技術資料

●接着工法

接着耐久性能

建物の屋根面に施工されている防水層には、熱やアルカリ水等種々の劣化要因に対しても剥がれることのない長期接着性が要求されます。

ビュートップ防水接着工法の接着耐久性 能を確認しました。

下地挙動への防水層追従性能①

破断抵抗性

ビュートップ接着工法に使用される接着 剤は、そのゴム弾性により下地亀裂部に 発生する応力を緩和させ、シートの破断 抵抗性を高めます。実際にどの程度の亀 裂幅まで追従できるかを確認しました。

下地挙動への防水層追従性能②

繰返し疲労性能

防水層の下地は様々な要因により挙動が 生じており、その下地の動きに防水層が 追従できなければ、破断、漏水の事態に 至ります。ビュートップ防水接着工法の 繰返し下地追従性能を確認しました。

接着耐久性試験

■ 試験方法

スレート板下地に接着工法用接着剤でビュートップ M20 を貼り付けた試験体を80°ドライオーブン中 および60°アルカリ水(飽和水酸化カルシウム水溶液)中にて促進劣化させ、接着強度を測定する。また、実現場における経年後のビュートップ接着工法の接着強度を測定する。

破断抵抗性試験

■ 試験方法

スレート板下地に接着剤でビュートップ M20 (300mm×100mm) を貼り付けた試験体の中央部亀裂を一定速 (5mm/min) で開いてゆき、防水層破断時の亀裂幅と現象を確認する。

測定温度:20℃

繰返し疲労試験

■ 試験方法

JASS8 T-501 メンブレン防水層の性能評価試験方法 疲労試験に準ずる。

スレート板下地に接着剤でビュートップ M20 を貼り付けた試験体 (A 形試験体) を下表試験工程に従い疲労処理を行い、試験後の防水層の状態を確認する。



ステップ		1	2	3
工程	温度(℃)	20	60	-10
	ムーブメント(mm)	20		
I	0.5~1.0	0-	→ ○ –	→ ○
П	1.0~2.0	○←	→ ○ −	→ ○
Ш	2.5~5.0	○ ←	→ ○ −	→ ○
※1.7の仕署の / デンハー・沿舟不田田 10.八子 50			\ 	

- ※1 その位置のムーブメントと温度で周期 10 分で 500 回行うことを示す。
- ※2同一試験体により試験を継続する順序を示す。

試験結果

		接着力 (N/cm²)	破壊現象
初期		18	ビューボンド 凝集破壊
80° 熱処理:		18	ビューボンド 凝集破壊
60℃アルカリ水 処理30日		17	ビューボンド 凝集破壊
₽18+8 Λ	経年 1 <i>7</i> 年	21	ビューボンド 凝集破壊
実現場A	経年 21年	31	ビューボンド 凝集破壊

試験結果

温度(℃)	亀裂幅(mm)	現象
20	60mm以上	接着剤のずれ





試験結果

区分	現象	
疲労A4	工程Ⅲで3体とも破断なし	

●機械的固定工法

耐風圧性能 アンカーの固定力

建物の屋上では風の影響を受け、負圧と呼ばれる力がかかります。機械的固定工法の場合、アンカー部のみで防水層を下地に固定しています。ビュートップ防水機械的固定工法のアンカー固定力を確認しました。

アンカー引抜試験

■ 試験方法

■ 1000/01 コンクリートブロック (圧縮強度 24N/mm²) に各種アンカーを固定し、建研式引張り試験器で引抜強度を測定する。



試験結果

アンカー名	埋め込み 深さ(mm)	引抜強度(N)	
ATアンカー	30	4,000	
UPアンカー	30	5,560	
UPアンカー8	40	6,380	
UPアンカー10	50	6,010	
TCアンカー	40	4,410	
エアピン	25	4,280	

ディスクと塩ビ防水シートの接合性能①

接合部の耐温水性

ビュートップシステムは、ディスク表面材として、塩ビフィルムを用いています。 UP ディスクとビュートップ U はディスクヒーター(誘導加熱装置)による熱融着、または溶着剤による溶着が可能です。接合部に対しての熱、水分への影響を確認しました。

接合部引張試験

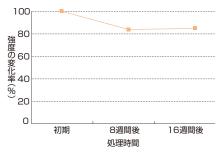
■ 試験方法

UP ディスクヘビュートップ U をディスクヒーターに て接合させる。60℃温水へ試験体を所定期間、浸漬 養生を行った後、接合部の引張強度を測定する。

測定温度: 20℃ 試験速度: 200mm/min



試験結果



ディスクと塩ビ防水シートの接合性能②

ディスク屋外曝露後の接合性能 UP ディスクを屋外に曝露後、ビュートップ U との接合をディスクヒーター(誘導加熱装置)で行った場合の接合性を確認しました。

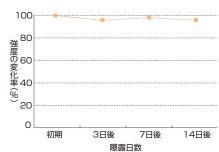
接合部引張試験

■ 試験方法

UP ディスクを所定期間屋外に曝露後、ディスクヒーターにて接合させ、接合部の引張強度を測定する。

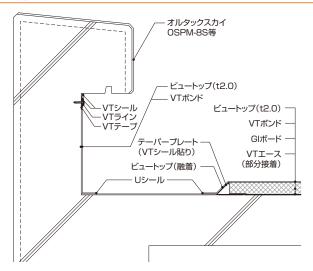
測定温度: 20℃ 試験速度: 200mm/min

試験結果

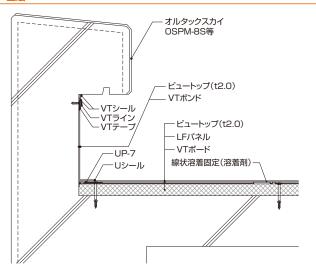


納まり図例

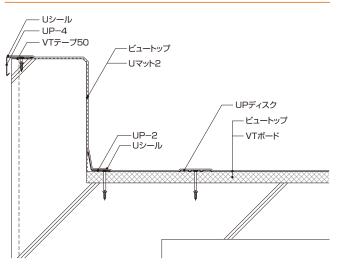
GI工法



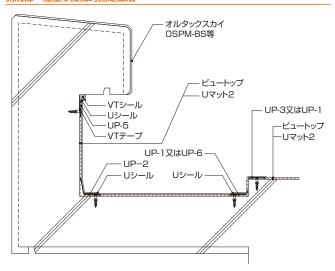
LF 工法



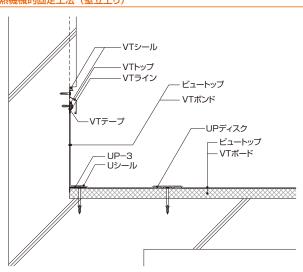
断熱機械的固定工法(端末塩ビ被覆鋼板プレート)



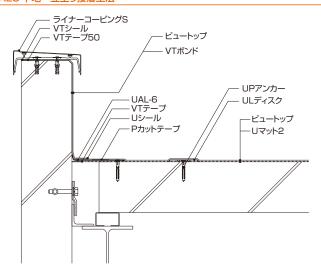
側溝部 立上り機械的固定工法



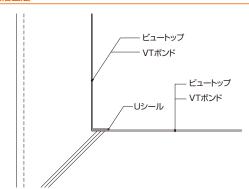
断熱機械的固定工法(壁立上り)

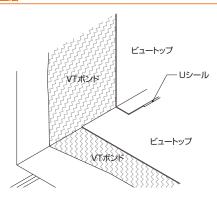


ALC 下地 立上り接着工法



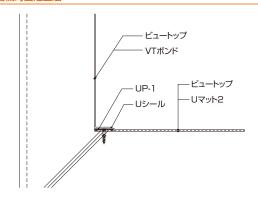
平場:接着工法 立上り:接着工法

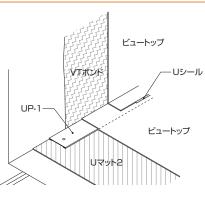




平場:機械的固定工法

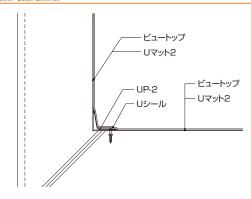
立上り:接着工法

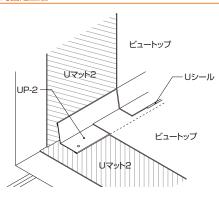




平場:機械的固定工法

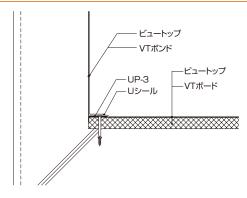
立上り:機械的固定工法

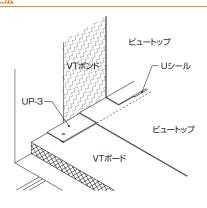




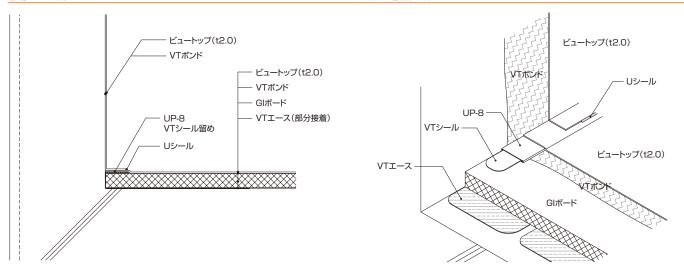
平場: 断熱機械的固定工法

立上り:接着工法

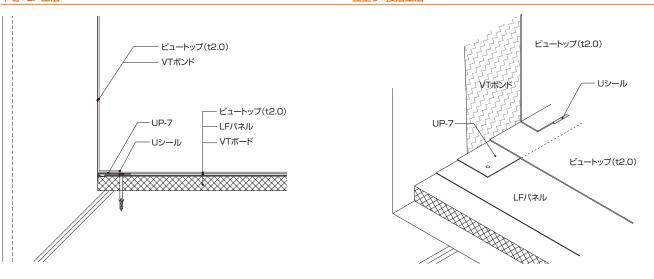




平場: GI 工法 立上り: 接着工法

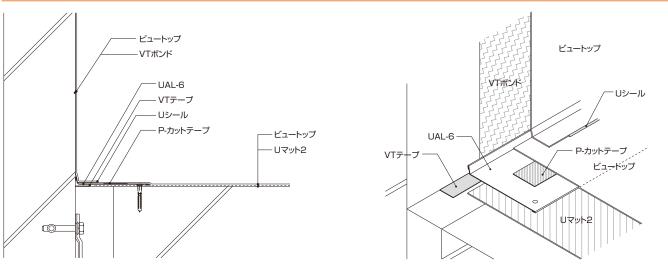


平場:LF工法 立上り:接着工法

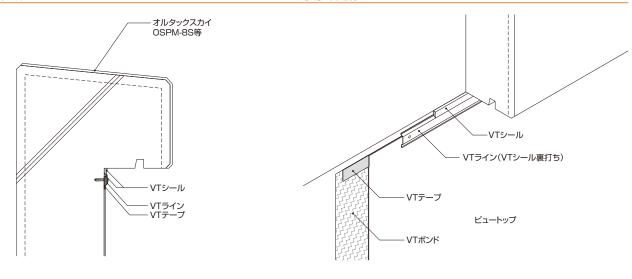


ALC 下地 平場:機械的固定工法

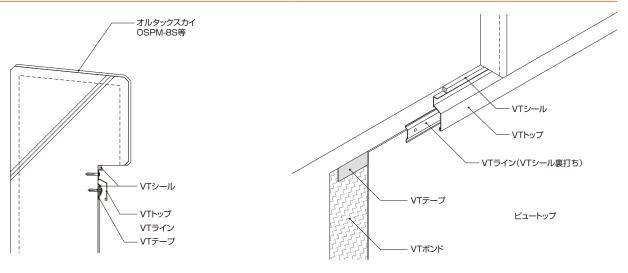
ALC 下地 立上り:接着工法



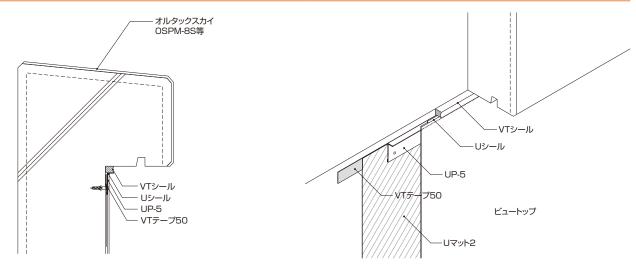
立上り:接着工法 水切り目地有り



立上り:接着工法 水切り目地無し

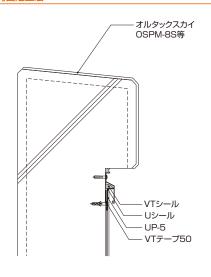


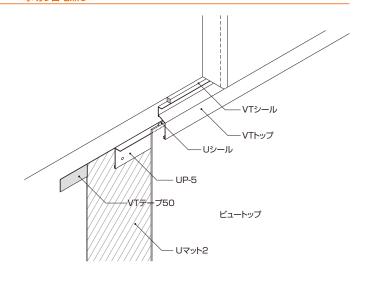
立上り:機械的固定工法 水切り目地有り



立上り:機械的固定工法

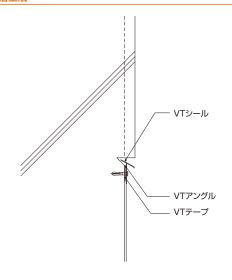
水切り目地無し

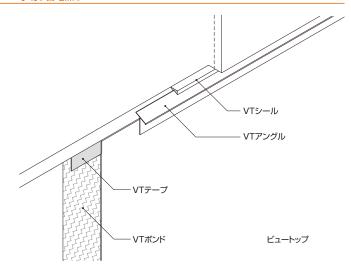




立上り:接着工法

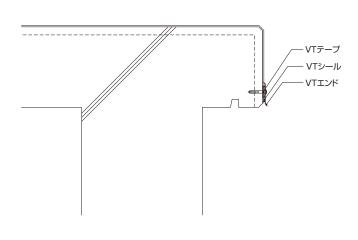
水切り目地無し

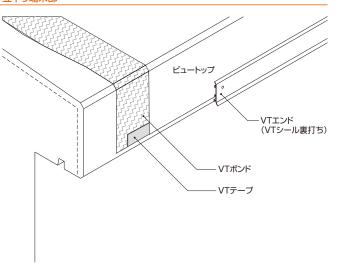




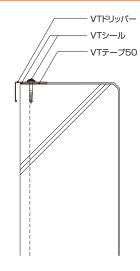
立下り:接着工法

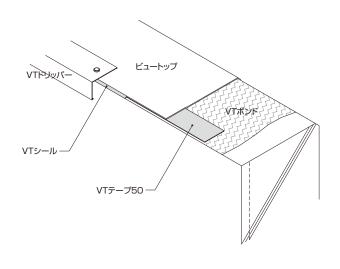
立下り端末部



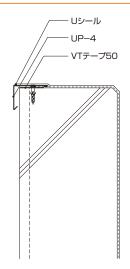


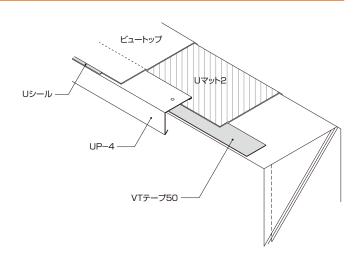
パラペット天端 端末部:VTドリッパー



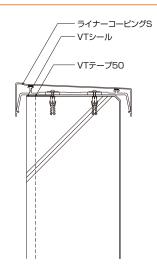


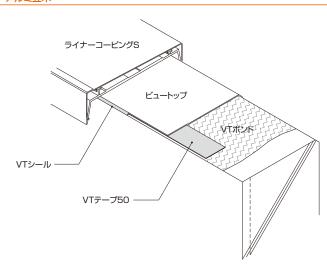
パラペット天端 端末部: UP-4



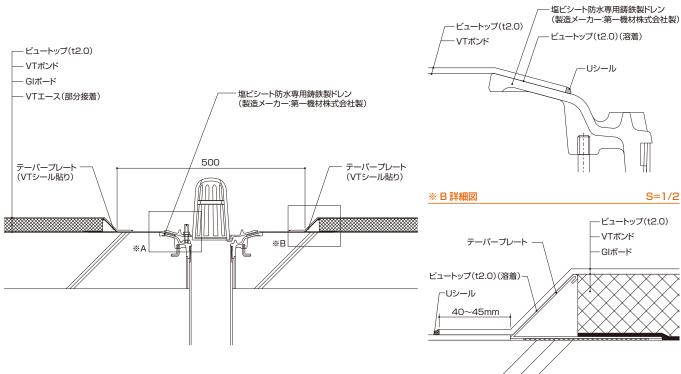


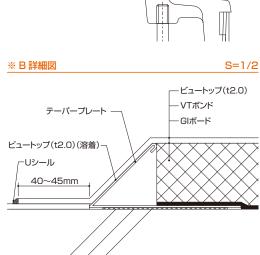
パラペット天端 アルミ笠木



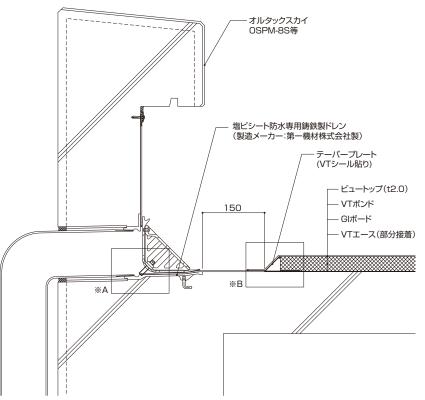


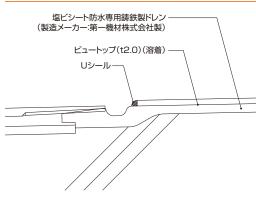
-Uシール



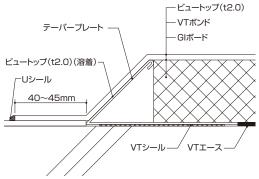


GI 工法 横ドレン廻り (新築) S=1/10 ※ A 詳細図 S=1/2

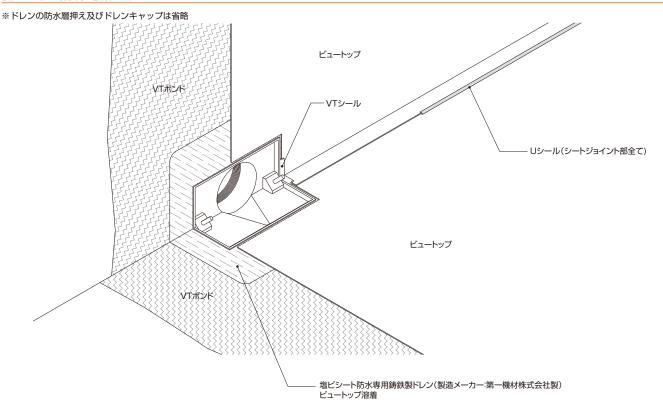




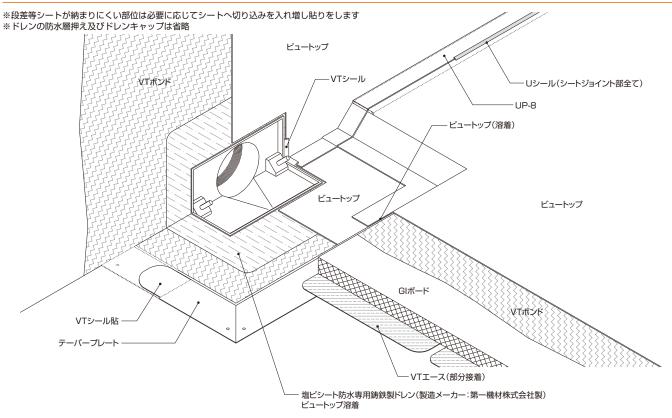
※ B 詳細図 S=1/2



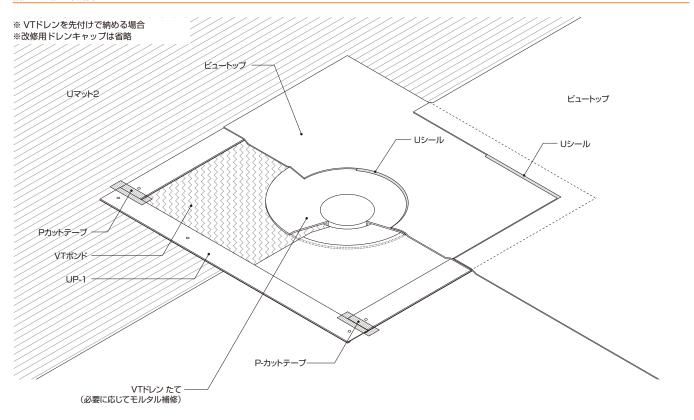
横ドレン廻り (新築):接着工法



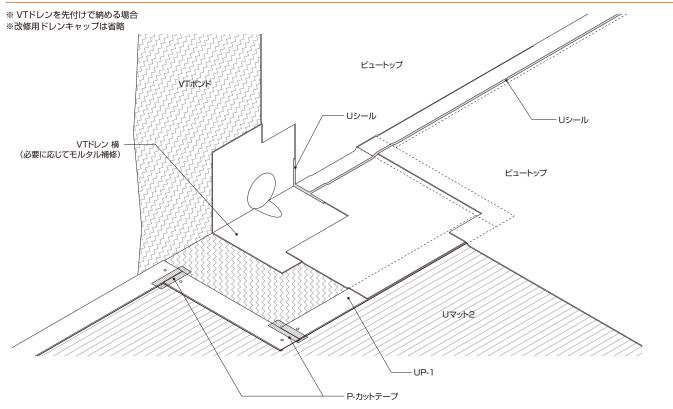
横ドレン廻り (新築): GI 工法

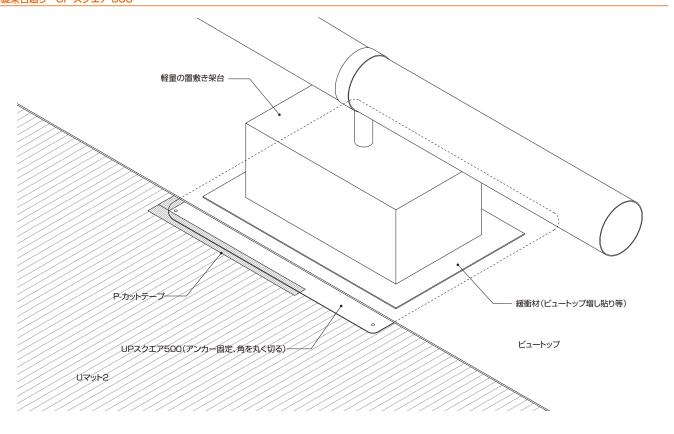


縦ドレン廻り (改修)

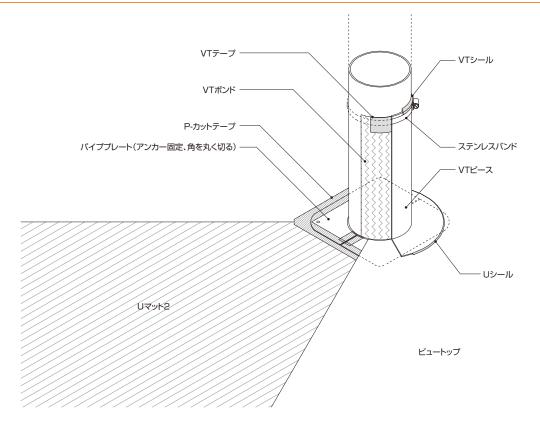


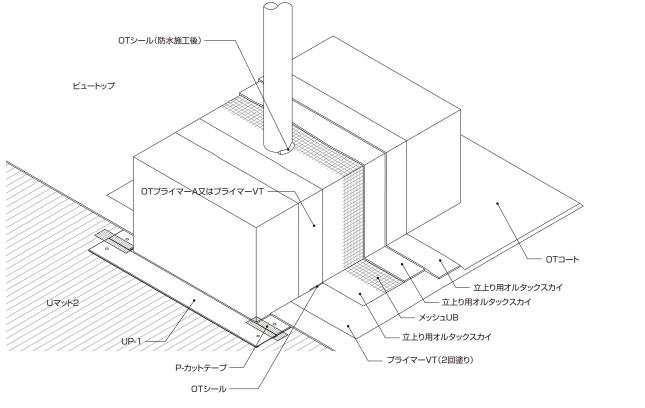
横ドレン廻り(改修)



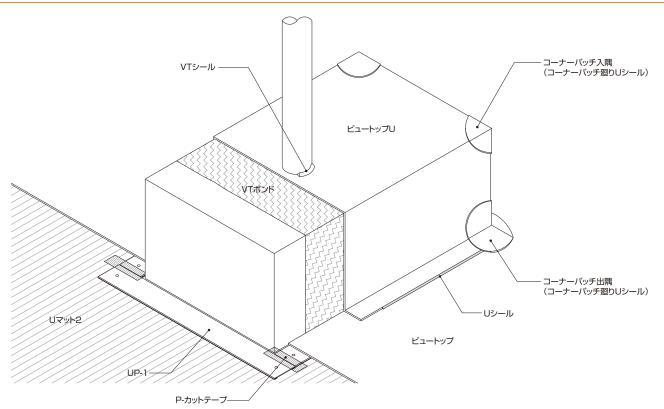


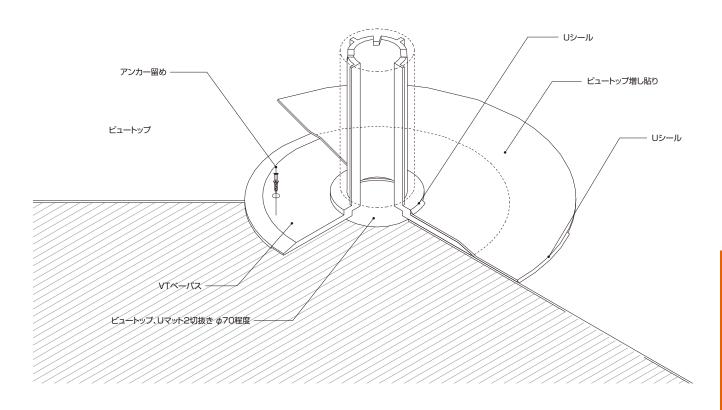
パイプ廻り パイププレート





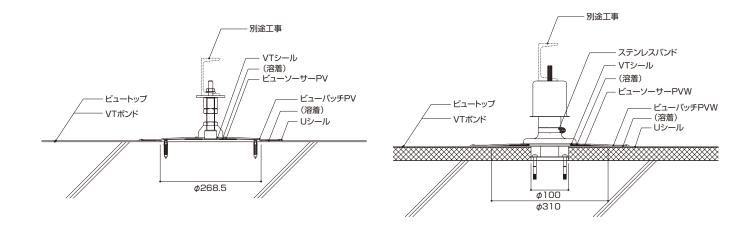
架台処理(接着工法)

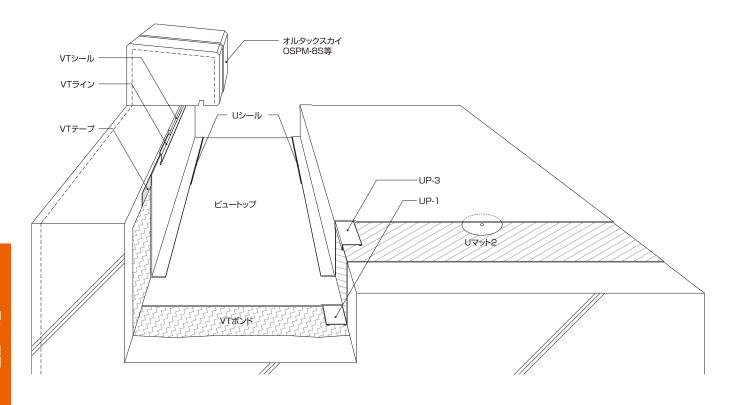




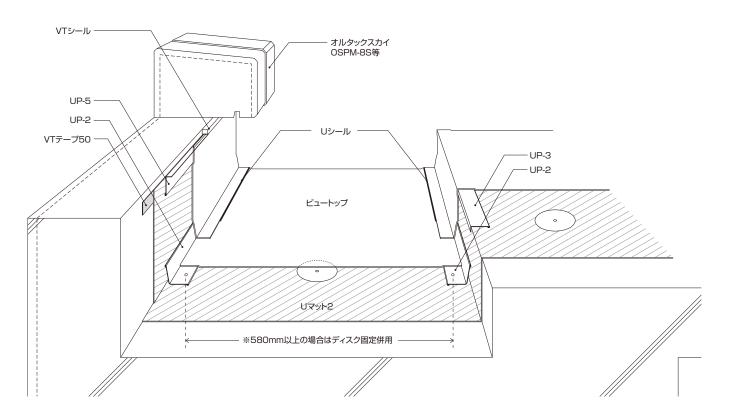
太陽光発電システム設置用乾式基礎(ソーラーベース)

太陽光発電システム設置用乾式基礎(ソーラーベース W)

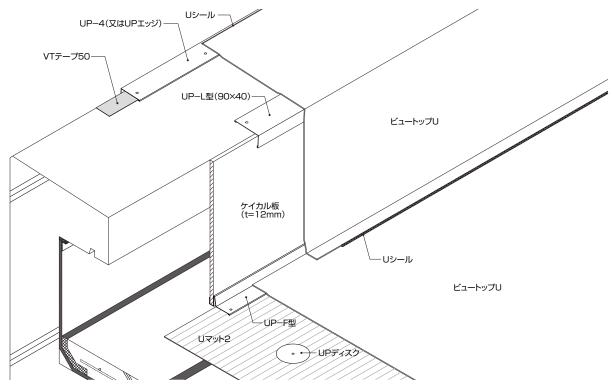




側溝 立上り:機械的固定工法

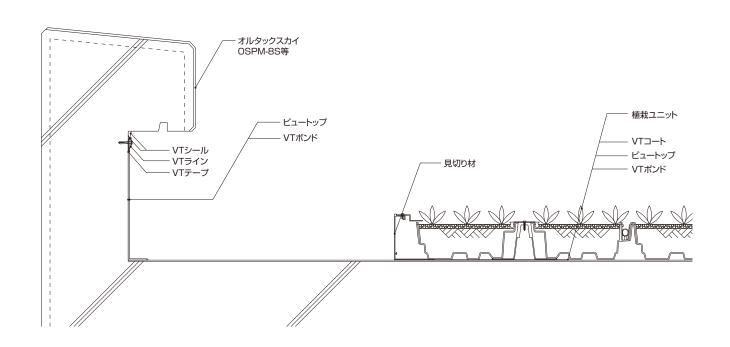


立上り乾式かぶせ工法



※詳細に関しては、乾式工法のチラシをご参照ください。

屋上緑化システム



材料紹介 ~シート類~

● ビュートップU15/U20



合成高分子系ルーフィングシート 複合シートー般複合タイプ塩化ビニル樹脂系 適合 JIS A 6008 認証番号:TC 03 11 002

ビュートップU15:1.5mm厚 1.2m×10m ビュートップU20:2.0mm厚 1.2m×10m

Color: V-12 ライトグレー V-16 ダークグレー V-21 ライトグリーン V-24 グリーン V-43 アイボリー

表而拡大写直

● ビュートップM20



合成高分子系ルーフィングシート 複合シートー般複合タイプ塩化ビニル樹脂系 適合 JIS A 6008 認証番号:TC 03 11 002

ビュートップM20:2.0mm厚 1.2m×10m

Color: V-12 ライトグレー V-16 ダークグレー V-21 ライトグリーン V-24 グリーン V-43 アイボリー



● ビュートップC15/C20

(グリーン購入 高日射反射率防水適合品)



合成高分子系ルーフィングシート 複合シートー般複合タイプ塩化ビニル樹脂系 適合 JIS A 6008 認証番号:TC 03 11 002

ビュートップC15:1.5mm厚 1.2m×10m ビュートップC20:2.0mm厚 1.2m×10m (受注生産品)

Color: V-10 パールグレー V-20 ホワイトグリーン

表面拡大写真

● カラーバリエーション

※各見本の色は印刷上現物と幾分の色差がありますのでご決定の際は現物見本等をご確認ください。
※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

〈シート〉

● ビュートップU15・U20・M20



● ビュートップC15・C20



〈保護塗料〉

● VT⊐-トC



材料紹介 ~アンカー類~

	TCアンカー50	TCアンカー80	TCアンカー 100	TCアンカー 125	TCアンカー 150	エアピン30	エアピン35
			James	The second secon		Ţ	Ţ
材質			ステンレス製			ステンレス製	
適応下地		:	コンクリート下地	ġ		コンクリート下地(PC不可)	
固定方式			ねじ込み			エアツール打ち込み	
径×長さ (mm)	6.6×50	6.6×80	6.6×100	6.6×125	6.6×150	3.6×30	3.6×35
荷姿		100本	:/箱(締付専用ビ	ット付)		100	本/箱
ドリル径	5.5mm					-	_
埋込深さ	40mm以上					20~30mm	20~30mm
有効取付 厚さ*1	0~10mm	10~40mm	35~60mm	60~85mm	85~110mm	0~10mm	5~15mm

	ATアンカー45	UPアンカー 35	UPアンカー 50	UPアンカー 60	UPアンカー 75	UPアンカー 8-60	UPアンカー 8-80	UPアンカー 8-100	UPアンカー 8-120	UPアンカー 10-200
		professional formatter of the second	tecche mms		- Section 1			1	1	
材質	アルミ・ ステンレス製	Į	ビス:ステンレス	製/プラグ:樹脂園	IJ Z	ビス:ステンレス製/プラグ:樹脂製				
適応下地		:	コンクリート下地	Ė		コンクリート・ALC下地 コンク!			コンクリ	ート下地
固定方式	打ち込み		ねじ	込み		ねじ込み				
径×長さ (mm)	5.5×44	ビス:4.8×40 プラグ:6×35	ビス:4.8×55 プラグ:6×50		ビス:4.8×80 プラグ:6×75	ビス:5.8×65 プラグ:8×60	ビス:5.8×85 プラグ:8×80	ビス:5.8×105 プラグ:8×100	ビス:5.8×125 プラグ:8×120	ビス:6.5×207 プラグ:10×50
荷姿	100本/箱		100本七	2ット/箱			100本t	2ット/箱		50本セット/箱
ドリル径	6mm	6mm				8mm				10mm
埋込深さ	30mm以上		30mr	m以上			40mi	m以上	l .	50mm
有効取付 厚さ*1	0~14mm	0~5mm	5~20mm	20~30mm	20~45mm	0~20mm	20~40mm	40~60mm	60~80mm	150mm

^{*1} 固定可能な断熱材などの厚さ

~プレート類~

	UP-1/UL-1	UP-2/UL-2	UP-3/UL-3	UP-4/UL-4*2	UP-5/UL-5*2	
			-			
寸法	50 25 25 UP: \$\phi 7.UL: \$\phi 8	35 15 50	50 20 30 UP:#7.UL:#8	70 40 30 UP:φ7.UL:φ8 55 (ジョイント板)	50 15 35 UP.ø7.UL.ø8	
用途例	入隅・ドレン廻り用	入隅用 (立上り機械的固定)	出隅用·入隅用	立上り天端防水端末用	立上りあご下防水 端末用	
規格	長さ:2m 各10本/箱					
穴径	直径:7mm 個数:6力所					

*2 UP-4,UL-4、UP-5,UL-5には、端末にVTテープ50を使用します。 ※ UL-1,2,3,4,5 は受注生産品。

	UP-6/UL-6	UP-7/UL-7	UP-8	テーパープレート	材質(ブレート類共通)
					0.4mm
寸法	0 UP: \$\phi 7.UL: \$\phi 8 \\ \frac{35}{50}	70 20 50 UP:ø7,UL:ø8	50 	(*3) <u>原</u> 85(*3) 受注生産品	0.1mm メッキ鋼板 0.1mm 塩ビ層 [該当品] ・UPプレート ・UALプレート
用途例	入隅用(立上り接着)	LF工法 入隅用	GI工法 入隅用	断熱工法 ドレン廻り用	·ULプレート ·ドレンプレート
規格	長さ:2m 各10本/箱		長さ:2m 1本単位		・UPスクエア500 ・テーパープレート
穴径	直径:7mm 個数:6 力所		穴なし		

材質(UPエッジ)

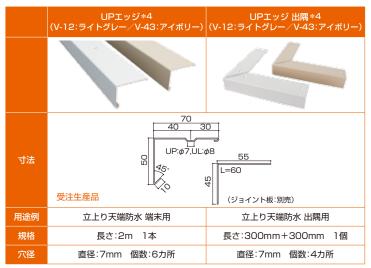
塩ビ層

塩ビ層

高耐蝕 メッキ鋼板

0.4mm

*3 図は断熱材厚35mm用の寸法です。他の厚み用(25、30、40、50mm)では、各々寸法が変わります。 ※ UP-7,8 および UL-6,7 は受注生産品。



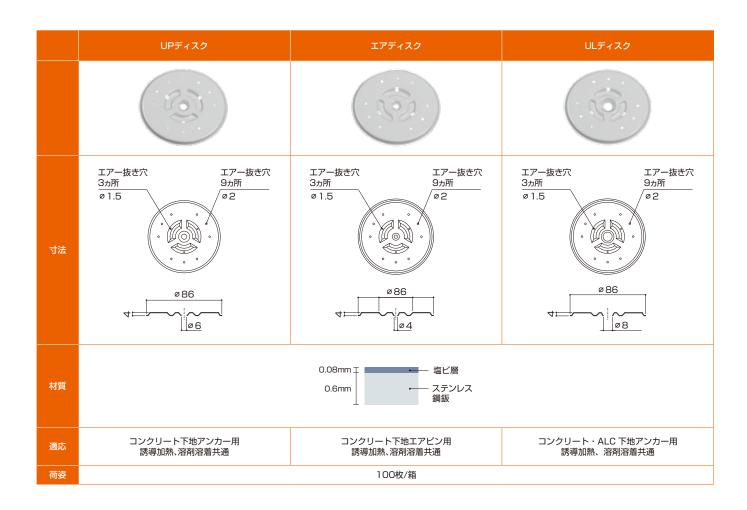


[※]各材料の寸法は実際の製品と若干異なる場合があります。

材料紹介 ~プレート・ディスク~

	UAL-1	UAL-2	UAL-4	UAL-6	
寸法	### ### ### ### #####################	130 20 150 ALC下地用 受注生產品	80 60 20 08 65 45. (ジョイント板) ALC下地用 受注生産品	130 20 150 ALC下地用 受注生產品	
 用途例	入隅・ドレン廻り用	入隅用(立上り機械的固定)	立上り天端防水端末用	入隅用(立上り接着)	
 規格	長さ:2m 各10本/箱				
穴径		直径:8mm	個数:6カ所		

※ UALプレートの材質は80ページをご参照ください。

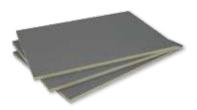


~アルミ製水切材~

	VTトップ	VTアングル	VTライン	VTエンド	VTドリッパー	
寸法	011 W 40 10 20	1215	7 \(\text{LE} \)	5 09 75	04	
納まり図例	VTシール VTトップ VTライン VTテープ	VTシール VTアングル VTテーブ	VTシール VTライン VTテーブ		VTドリッパー VTシール VTテープ50	
厚さ	1.0mm 1.1mm					
規格	長さ2m 10本/束					
色 ————————————————————————————————————			解着色(ブロンズ)/アクリル樹脂			
ビス固定数		5万	で/本 ※製品に穴は開いておりませ	±6.		

材料紹介 ~断熱材・マット類~

GIボードW



GI工法用硬質ポリウレタンフォーム。 表面には「UP ディスク」取付け目安となる ライン入り。

900mm×1,200mm 厚さ:25,30,35,40,50mm

VTボード



断熱機械的固定工法用 硬質ポリウレタンフォーム。 1,160mm×1,200mm 厚さ:25,30,35,40,50mm ※40mmは受注生産品

スタイロフォームRB-GK-Ⅱ



両面スキン層付 押出法ポリスチレンフォーム。 910mm×910mm 厚さ:25,30,35,40,50,60mm

PEフォーム



断熱接着工法用 ポリエチレンフォーム。 1m×2m 厚さ:15,20,25,30mm

プラストフォーム10



断熱接着工法用 ポリエチレンフォーム。 1m×50m 厚さ:10mm

LFパネル



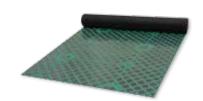
高耐蝕鋼板に塩ビを被覆したパネル。 断熱軽歩行仕様に用いる。 600mm×2,000mm 厚さ:0.6mm 固定用穴:4穴×2列 ※受注生産品

Uマット2



発泡ポリエチレン製絶縁緩衝マット。 ディスク取り付け位置のマーク付き。 1,160mm×50m 厚さ:2.0mm

シールドマット



シールド工法専用 表面特殊加工保護絶縁マット。 1,180mm×100m 厚さ:0.18mm

VT探傷マット



探傷検査用 アルミ箔積層絶縁緩衝マット。 1m×50m 厚さ:2.0mm

※受注生産品

防炎マット



断熱機械的固定工法 防火認定仕様用特殊 フィルム積層ガラスマット。 1.2m×100m 厚さ:0.3mm

※受注生産品

~接着剤・プライマー類・トップコート類~

2014年12月にグループ会社と経営統合を実施したことに伴い、包装材デザインを順次刷新中です。 つきましては、カタログ掲載の荷姿写真と現物包装が異なる場合がありますので、ご了承ください。

VTエース

F&&&&



GI ボード接着用変成シリコーンエポキシ樹脂系接着剤。(専用クシ目刷毛入り) 2kg/本 9本/箱

VTボンド

F☆☆☆☆



トルエン、キシレンを使用していないニトリルゴム系ビュートップ専用接着剤。 15kg缶

ビューボンド



ニトリルゴム系ビュートップ専用接着剤。 15kg缶

シールドボンド

F&&&&



シールドマットを下地塩ビシート面に貼り付けるシールド工法専用接着剤。

プラストボンド



PE フォーム、プラストフォーム等の貼り付けに使用するクロロプレンゴム系接着剤。 15kg缶

ACボンド



アクリルエマルション系接着剤。 Uマット2などの仮固定に使用。 18kg缶

プラストプライマー



ポリエチレン系断熱材接着工法用プライマー。 15kg缶

溶着剤



シートラップ部、ディスク・プレートとシートを溶着する際に使用。 1kg缶

Uシール



シート端部専用不定形シール材。 1kg缶

VTコートC



高反射機能付きアクリルウレタン系保護塗料。グリーン購入・高日射反射率防水適合品。 15kgセット(主剤:5kg/硬化剤:10kg) 4色(T-10,25,35,45)

VTコートC難燃



防火 (飛び火) 認定番号 DR-0256 に対応 したアクリルウレタン系保護塗料です。 15kgセット(主剤:6kg/硬化剤:9kg) 色:V-10

VTJ-ト



高耐久性のアクリルウレタン系保護塗料。 15kgセット(主剤:5kg/硬化剤:10kg) タッチアップ缶セット(主剤:0.3kg/硬化剤:0.6kg) 5色(T-12,16,21,24,43)

材料紹介 ~副資材~

P-カットテープ



絶縁緩衝マットなどのジョイント・UP プレートのジョイント部絶縁保護に使用。 50mm×25m 30巻/箱

VTテープ/VTテープ50





脱気テープ



脱気用粘着付き通気テープ。 50mm×30m 10巻/箱

ルートガードテープ



GI 工法用断熱材ジョイント隙間・段差調整 用テープ。 100mm×50m

コーナーパッチ入隅・出隅



塩ビ樹脂成形役物・入隅出隅などで使用。 各25個/袋 色:ビュートップ各色

VTピースUM/VTピースC



役物廻り用塩ビシート。 VTビースUM 640mm×5m VTビースC 640mm×5m 厚み=2.0mm VTビースUM:5色 VTビースC:2色

ATディスク



後打ち工法用塩ビ被覆ディスク。 外径 60mm 穴径 7mm 100枚/箱

ATパッチ



後打ち工法用塩ビ樹脂成形材。 外径 140mm 100枚/箱 色:ビュートップ各色 ※V-10,V-20は受注生産品

ASディスク



スタイロフォーム RB-GK- II 固定用ディスク。 外径 60mm 穴径 7mm 100枚/箱

PE改修パッチ



既存ポリエチレン断熱シート防水改修時に施工するディスクの沈み込みを緩衝します。 厚紙製 外径:120mm 100枚/袋

UPスクエア500



現場で加工し、パイプ用プレートとして使用することができる塩ビ被覆鋼板です。 現場加工用 500mm×457mm 4枚/箱 ※任意寸法で受注生産可(1枚)

VTシール



変成シリコーン系 1 液弾性シーリング材。 333cc(500g)カートリッジ・20本/箱 色:グレー ※塗布量目安:120g/m

ボンドE206 (S·W)



ALC 下地機械的固定工法用2液硬化型低粘度工ポキシ注入剤。 3kgセット(主剤:2kg/硬化剤:1kg) 4セット/箱

ステンレスバンドF



貫通管など、パイプ廻りの防水層端末部固定用バンド。パイプの寸法に合わせて切断して使用するフリーサイズ品バンド:5m クリップ 10個/袋

VTベーパス



塩ビシート防水専用脱気装置。 2個/箱

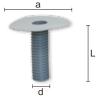
VT立上り用ベーパス



塩ビシート防水専用立上り脱気装置。 脱気カバー5個 脱気テーブ50mm×2.5m/セット

材料紹介 ~ドレン~

VTドレン たて 45/60/75/90/115/140



塩ビシート専用の塩ビ製改修用縦型二重ドレン。 各1個/箱

ドレン たての規格

品名	а	(
m 1	a	内径	外径	-
たて45	200	35	45	230
たて60	220	49	61	230
たて75	240	60	72	230
たて90	265	72	87	230

100

124

113

139

300

325

(mm)

230

230

(mm)

(mm)

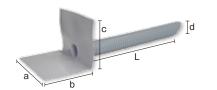
ドレンキャップ190/AS



アルミダイキャスト製たて引き用ドレンキャッ プ。ステンレス製板バネ (樹脂製キャップ付) をドレン内部に差し込んで設置。

190:黒、1個/箱 AS:黒・ライトグレー、5個/箱

VTドレン 横 45/60/75/90/115/140



塩ビシート専用の塩ビ製改修用横型二重ドレン。 各]個/箱

ドレン 構の粗格

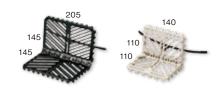
たて115

たて140

ドレン 関の流情 (1						
		b				L
品名	а	D D	С	内径	外径	(有効長)
横45	200	150	150	35	45	500
横60	250	180	180	49	61	500
横75	250	180	180	60	72	500
横90	250	180	180	72	87	500
横115	360	205	205	100	113	500
横140	385	235	235	124	139	500

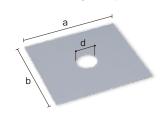
※ドレン寸法は、たて・横ともに小数点以下を四捨五入 しており、実際の製品との誤差があります。

ドレンキャップ横引き用AL/AS



角度調節ができるアルミダイキャスト製ドレ ンキャップ。固定用ステンレス製板バネ付。 横引用AL:黒、1個/箱 横引用AS:ライトグレー、1個/箱

ドレンプレート75/100



ドレン廻り用。 4枚/包 塩ビ被覆鋼板 ※断面構成は80ページをご参照ください

ドレンプレートの規格※

1 0 2 2 0 1 93/96/14		(111111)		
	d(穴径)		b	
ドレンプレート75	75	457	E00	
ドレンプレート100	100	407	500	

※任意寸法での製造も可能です。(受注生産品: 1枚) ※パイププレートとしてもご利用いただけます。

塩ビシート防水専用鋳鉄製ドレン (推奨品)







鋳鉄製ドレン本体に塩ビ被覆を施した専用鋳鉄製ドレン。(専用キャップ付) 第一機材(株)製 詳しくは第一機材(株)カタログをご参照ください

ドレンの規格

1 D 2 3/961H						
種類型式		呼 径				
+ 70	RVPC-V-K [ねじ込式]	50·65·75·100· 125·150				
たて口	RAPC-M-V-K [差し込式]	50·65·75·100· 125·150				
よこ口	RL-4S-V-K [ねじ込式]	50·65·75·100· 125·150				

~下地処理剤·工具類~

2014年12月にグループ会社と経営統合を実施したことに伴い、包装材デザインを順次刷新中です。 つきましては、カタログ掲載の荷姿写真と現物包装が異なる場合がありますので、ご了承ください。

リグレーエポ



水性エポキシ系ポリマーセメントモルタル。 28kgセット (主剤:4kg/硬化剤:4kg/パウダー:20kg)

リグレー



ポリマーセメントモルタル。 リグレー 18kg缶 リグレーパウダー 厚塗り用:20kg袋/ 薄塗り用:20kg袋

リグレーパテ



下地の欠損部補修などに用いるエポキシ樹脂系パテと、専用プライマー。 リグレーパテブライマー:500g缶 リグレーパテ:3kgセット(主剤:2kg・硬化剤:1kg)

VT溶着キット



ボトルー体型溶着作業用刷毛。 U シール塗布用ノズル付。 1セット/袋

VT溶着刷毛



角度調整型溶着作業用刷毛。 10本/袋

押え板セット



溶着剤塗布部圧着専用板セット。 ラップ部用:2個·ディスク用:3個/箱

VTヒーター



ディスクとビュートップ U を熱融着させる、小型・軽量タイプの誘導加熱装置。 アルミケース入り

エアロスミス(推奨機)



エアピン 30・35 専用エア式釘打ち機。

ステッチャー



入り隅部、3枚重ね部等の転圧用ローラー。 5本/箱

平板転圧ローラー



小型転圧ローラー。 1個

ルーフィングカッターDXⅡ



下地を傷つけず、シートのみを切れるカッター。 市販の替刃 (NT カッター) を使用。 1本

ドリルビット(推奨品)



ロングタイプのアンカーを使用する場合の ビット。 (株)ミヤナガ製 デルタゴンビットSDSブラスロングビット

材料紹介 ~ウレタン塗膜防水材類~

VTプライマー





アクリルウレタン系2液硬化型プライマー。 架台廻りウレタン塗膜膜防水併用工法に使 田

6kg/セット(主剤:2kg/硬化剤:4kg)

OTプライマーA

F&&&&



ウレタン系 1 液硬化型プライマー。 16kg缶

立上り用オルタックスカイ

F&&&&



環境対応型立上り用ウレタン防水材。 24kgセット(主剤:8kg/硬化剤:16kg) 比重:1.3

メッシュUB



ウレタン防水材用補強布。 1.040mm×100m

OTコートシリコーン

F&&&&



弱溶剤タイプの高耐久性シリコーン系保護 塗料。

14kgセット(主剤:6kg/硬化剤:8kg)

OTJ----

F&&&&



弱溶剤タイプのアクリルウレタン系保護塗料。 14kgセット(主剤:6kg/硬化剤:8kg)

OTシール



ウレタンゴム系 1 液硬化型シーリング材。 320ccカートリッジ・20本/箱 色:グレー

~防滑性ビニル床シート類・メンテナンスシート~

2014年12月にグループ会社と経営統合を実施したことに伴い、包装材デザインを順次刷新中です。 つきましては、カタログ掲載の荷姿写真と現物包装が異なる場合がありますので、ご了承ください。

ビュージスタVJ



防滑性ビニル床シート (グリーン購入法適合品)。 1,250mm/1,350/1,620/1,820×10m 厚さ:2.5mm

セメントTH



ビュージスタ VJ 用ウレタン樹脂系接着剤。 9kg缶 18kg缶

セメントU



ビュージスタ VJ 用ウレタン樹脂系接着剤。 4kg缶 18kg缶

VGシール



ウレタン樹脂系シーリング材 (5色)。 320ccカートリッジ・2本/箱

メンテナンスシート



防水層に対する取り扱い・メンテナンス等の 注意事項を記載した粘着タイプのシート。 A2サイズ(420mm×594mm) 専用ブライマー付属

材料一覧

種類	品名	規格	備考
	ビュートップU15	1.5mm厚 1.2m×10m	塩ビ樹脂系防水シート 色: V-12·V-16·V-21·V-24·V-43
シート	ビュートップU20	2.0mm厚 1.2m×10m	塩ビ樹脂系防水シート 色: V-12·V-16·V-21·V-24·V-43
	ビュートップM20	2.0mm厚 1.2m×10m	塩ビ樹脂系防水シート 色: V-12・V-16・V-21・V-24・V-43
ト 類	ビュートップC15	1.5mm厚 1.2m×10m	高反射率塩ビ樹脂系防水シート 色:V-10·V-20
	ビュートップC20	2.0mm厚 1.2m×10m	高反射率塩ビ樹脂系防水シート 色: V-10・V-20 **受注生産品
	Uマット2	2.0mm厚 1.16m×50m	ポリエチレン製緩衝材
	シールドマット	0.18mm厚 1.18m×100m	シールド工法用特殊ポリエステル絶縁マット
抽	VT探傷マット	2.0mm厚 1.0m×50m巻	探傷検査用 アルミ箔積層絶縁緩衝マット ※受注生産品
補助材	防炎マット	0.3mm厚 1.2m×100m巻	防火認定仕様用特殊フィルム積層ガラスマット ※受注生産品
173	コーナーパッチ 入隅・出隅	各25個/袋	入隅・出隅用塩ビ製成型材 色:シート各色
	VTピースUM	2.0mm厚 640mm×5m	役物周囲等用シート 色: V-12·V-16·V-21·V-24·V-43
	VTピースC	2.0mm厚 640mm×5m	色:V-10·V-20
	VTI-Z	2kg/本 9本/箱 (専用クシ目刷毛入り)	GIボード接着用変成シリコーンエポキシ樹脂系接着剤
	VTボンド	15kg缶	ノントルエン・キシレンタイプ ビュートップ用接着剤 F☆☆☆☆
	ビューボンド	15kg缶	ニトリルゴム系ビュートップ用接着剤
	シールドボンド	15kg缶	シールドマット用接着剤 F☆☆☆☆
接	溶着剤	lkg缶	シートラップ部用溶着剤
接 着 剤	プラストボンド	15kg缶	PEフォーム・プラストフォーム用接着剤
7.15	プラストプライマー	15kg缶	プラストボンド用プライマー
	ACボンド	18kg缶	仮固定用アクリルエマルション系接着剤
	Rボンド	1.3kgカートリッジ 12本/箱	断熱材用接着剤
	ボンドE206	3kgセット (主剤: 2kg・硬化剤: 1kg) 4セット/箱	ALC下地機械的固定工法用 2液硬化型低粘度エポキシ注入剤
	UPプレート	UP-1·2·3·4·5·6·7·8* 各2m 10本/箱 *UP-8は1本	塩ビ被覆プレート ※UP-7・8は受注生産品
	ULプレート	UL-1·2·3·4·5·6·7 各2m 10本/箱	塩ビ被覆プレート ※受注生産品
	UPエッジ	2m 1本	立上り天端防水端末用装飾プレート 色: V-12・V-43 ※受注生産品
	UPエッジ 出隅	L=300mm+300mm 1個	立上り天端防水 出隅用装飾プレート 色: V-12・V-43 ※受注生産品
	テーパープレート	2m 厚み:25·30·35·40·50mm用 1本	断熱工法用塩ビ被覆鋼板 ※受注生産品
	UALプレート	UAL-1·2·4·6 各2m 10本/箱	塩ビ被覆プレート (ALC下地機械的固定工法用) ※受注生産品
	UPディスク	外径86mm 100枚/箱	塩ビ被覆ディスク(アンカー固定用)
プレ	エアディスク	外径86mm 100枚/箱	塩ビ被覆ディスク (エアロスミス用)
Ī	ULディスク	外径86mm 100枚/箱	塩ビ被覆ディスク(ALC下地機械的固定工法用)
デ	ASディスク	外径60mm 100枚/箱	スタイロフォームRB-GK-II固定用ディスク
ィスク類	ディスクパッチ	500枚/箱	スタイロフォームRB-GK-II保護用パッチ
類	PE改修パッチ	外径120mm 100枚/袋	既存ポリエチレン断熱シート防水改修パッチ
	ATディスク	外径60mm 100枚/箱	ディスク後施工用塩ビ被覆ディスク
	ATパッチ	外径140mm 100枚/箱	ディスク後施工用パッチ ※V-20は受注生産品
	ドレンプレート 75/100	457mm×500mm 穴径:75·100mm 4枚/箱	ドレン用塩ビ被覆鋼板
	UPスクエア500	457mm×500mm 4枚/箱	塩ビ被覆鋼板、加工用
	LFパネル	0.6mm厚 600mm×2,000mm	LF工法用塩ビ被覆パネル ※受注生産品
	VTシリーズ	VTアングル・ライン・トップ・エンド・ドリッパー L=2m 各10本/束	アルミ製雨仕舞材

種類	品名	規格	備考
	ATアンカー45	アンカー長さ:45mm 100本セット/箱	打ち込み式アンカー
	UPアンカー35/50/60/75	プラグ長さ:35・50・60・75mm 100本セット/箱	ねじ込み式アンカー
	UPアンカー 8-60/8-80/8-100/8-120	プラグ長さ:60・80・100・120mm 100本セット/箱	ねじ込み式アンカー
アン	UPアンカー10-200	プラグ長さ:50mm 50本セット/箱	ねじ込み式アンカー
カ ー 類	TCアンカー 50/80/100/125/150	アンカー長さ:50·80·100·125·150mm 100本セット/箱	ねじ込み式アンカー(プラグレス)
	エアピン30/35	アンカー長さ:30·35mm 100本セット/箱	エアロスミス専用ピン
	Rビス75	ビス長さ:75mm 200本/箱	金属下地改修用
	DIPSビス60	ビス長さ:60mm 100本/箱	金属下地改修用
	MRビス100	ビス長さ:100mm 100本/箱	MRプレート固定用
シー	Uシール	lkg缶	ジョイント部用塩ビ系シール材 色:シート各色
ル 材	VTシール	333cc (500g) カートリッジ 20本/箱	シート端末部用変成シリコーンシーリング材 色:グレー
	VTテープ	30mm×15m 5巻/箱	シート端末部用非加硫ゴム定型シール材
ァ 	VTテープ50	50mm×15m 3巻/箱	立上り部機械的固定工法用端末テープ
プ 材	P-カットテープ	50mm×25m 30巻/箱	アクリル粘着材付きPEクロステープ
	ルートガードテープ	100mm×50m	GI工法用断熱材ジョイント隙間・段差調整用テープ
	GIボードW	厚さ:25·30·35·40·50mm 900mm×1,200mm	ノンフロン硬質ポリウレタンフォーム
断	VTボード	厚さ:25·30·35·40·50mm 1,160mm×1,200mm	ノンフロン硬質ポリウレタンフォーム※40mmは受注生産品
断 熱 材	スタイロフォームRB-GK-II	厚さ:25·30·35·40·50·60mm 910mm×910mm	ノンフロン押出法ポリスチレンフォーム
	PEフォーム	厚さ:15·20·25·30mm 1m×2m	ポリエチレンフォーム
	プラストフォーム10	厚さ:10mm 1m×50m	ポリエチレンフォーム
	VTドレン <i>た</i> て 45/60/75/90/115/140	各1個/箱	塩ビ製改修用ドレン
۴	VTドレン 横 45/60/75/90/115/140	各1個/箱	塩ビ製改修用ドレン
5	ドレンキャップ190/AS	190:1個/箱 AS:5個/箱	アルミダイキャスト製ドレンキャップ 色:黒 (190) 黒・ライトグレー (AS)
	ドレンキャップ横引用AL/AS	1個/箱	アルミダイキャスト製ドレンキャップ 色:黒(AL)・ライトグレー(AS)
	VTベーパス	2個/箱	塩ビシート用脱気筒
脱 気 材	VT立上り用ベーパス	脱気カバー5個 縦120mm×横125mm 脱気テープ50mm×2.5m 長さ1巻/セット	立上り用脱気装置
	脱気テープ	50mm×30m 10巻/箱	粘着材付き通気テープ
	VT⊐-⊦C	15kgセット (主剤: 5kg・硬化剤: 10kg)	塩ビシート用アクリルウレタン系2液硬化型高反射率保護塗料 色:T-10・T-25・T-35・T-45
仕上げ塗料	VTJ	15kgセット(主剤:5kg・硬化剤:10kg)	塩ビシート用アクリルウレタン系2液硬化型保護塗料 色:T-12・T-16・T-21・T-24・T-43
塗料	VTコートタッチアップ缶	0.9kgセット (主剤: 0.3kg・硬化剤: 0.6kg)	塩ビシート用アクリルウレタン系2液硬化型保護塗料 色:T-12·T-16·T-21·T-24·T-43 *受注生産品
	VTコートC難燃	15kgセット(主剤:6kg・硬化剤:9kg)	防火 (飛び火) 認定DR-0256対応高反射保護塗料色: V-10

材料一覧

種類	品名	規格	備考
下地調整材	リグレーエポ	28kgセット (主剤:4kg・硬化剤:4kg・パウダー:20kg)	下地調整用速硬型水性エポキシ系樹脂モルタル
	リグレー	18kg缶	ポリマーセメントモルタル用SBR系混和材
	リグレーパウダー厚塗り用	20kg袋	ポリマーセメントモルタル用粗粉体骨材
	リグレーパウダー薄塗り用	20kg袋	ポリマーセメントモルタル用細粉体骨材
	リグレーパテプライマー	500g缶	ウレタン系プライマー
	リグレーパテ	3kgセット(主剤:2kg・硬化剤:1kg)	エポキシ樹脂系パテ
施工機械・工具	ディスクヒーター	1.6kg 100V·8A	ディスク・ビュートップUの熱融着用誘導加熱装置
	押え板 ラップ・ディスク用	ラップ用2個 ディスク用3枚/箱	溶着剤塗布部圧着板
	VT溶着刷毛	10本/袋	溶着作業用刷毛
	VT溶着キット	1セット/袋	ボトルー体型溶着作業用刷毛
	ステッチャー	5本/箱	出入隅、3枚重ね部等の転圧用ローラー
	平板転圧ローラー	1個	小型転圧ローラー (ローラー部:幅145mm×20¢)
	ル <i>ー</i> フィングカッターDXⅡ	1本	シート用力ッター
	メンテナンスシート	A2サイズ (594mm×420mm) 1枚/セット	ビュートップ専用屋上用注意書きシート (専用プライマー付属) ※受注生産品
ソーラーベース	ソーラーベース	3.3kg/個 2個/箱	ソーラーシステム設置架台 ※受注生産品
	ビューソーサーPV	10枚/袋	塩ビ防水用塩ビ被覆鋼板 ※受注生産品
	ビューパッチPV	10枚/袋	塩ビ防水用増し貼りシート ※受注生産品
	PVアンカー40・60・80	100本セット/箱	ねじ込み式アンカー (下穴径8mm) ※受注生産品
	ボンドE206	3kg/セット	アンカー補強用エポキシ樹脂
	ソーラーベースW	3.9kg/個 2個/箱	ソーラーシステム断熱用設置架台 ※受注生産品
	ビューソーサーPVW	10枚/袋	塩ビ防水用塩ビ被覆鋼板 (断熱用) ※受注生産品
	ビューパッチPVW	10枚/袋	塩ビ防水用増し貼りシート (断熱用) ※受注生産品
	PVアンカーW60・80	40本セット/箱	打ち込み式アンカー (下穴径8mm)
	ARケミカルセッターEX-350	350ccセット/個	アンカー補強用エポキシ樹脂 (2液カートリッジタイプ) *受注生産品
仕上げ材	ビュージスタVJ	凸部厚さ: 2.5mm 1,250/1,350/1,620/1,820mm×10m	JIS A5705 耐候・防滑性ビニル床シート
	セメントTH	9kg缶・18kg缶・333ccカートリッジ 1本/箱	ビュージスタ用ウレタン樹脂系接着剤
	セメントU	4kg缶·18kg缶	ビュージスタ用ウレタン樹脂系接着剤
	VGシール	320ccカートリッジ 2本/箱	ウレタン樹脂系シーリング材
	フレクターフイルム	色:ホワイト・イエロー・オレンジ	防水層用高輝度反射フィルム ※受注生産品
	フレクタープライマーV	15kgセット(主剤:6kg 硬化剤:9kg)	フレクターフイルム用プライマー 色:クリア・V-12・V-16・V-21・V-24・V-43
ウレタン塗膜併用工法	VTプライマー	6kgセット(主剤: 2kg・硬化剤: 4kg)	塩ビシート用アクリルウレタン系2液硬化型プライマー 色:クリア
	OTプライマーA	16kg/缶	架台 (コンクリート) 下地用ウレタン系1液硬化型プライマー
	立上り用オルタックスカイ	24kgセット (主剤:8kg・硬化剤:16kg) 比重1.3	2液硬化型ウレタン塗膜防水材 色:水色
	OTコートシリコーン	14kgセット (主剤:6kg・硬化剤:8kg)	シリコーン変成アクリルウレタン系2液硬化型トップコート 色: Sグレー・Sグリーン・Sブラウン (各色つや有)
	A4—CTO	14kgセット (主剤:6kg・硬化剤:8kg)	アクリルウレタン系2液硬化型トップコート 色:グレー・グリーン・ライトグレー・他11色※ (各色半つや)
	メッシュUB	1,040mm×100m	補強用ガラスメッシュ
	OTシール	320ccカートリッジ 20本/箱	ウレタン系シーリング (速乾性 1液)

防水層の維持管理

【防水層の維持管理について】

防水層が長期にわたり防水性能や意匠性を発揮するためには、定期的な点検とメンテナンスを実施することが必要不可欠です。

通常時において

- ・メンテナンス目的以外で非歩行用防水層上の歩行及び使用は厳禁です。
- ・維持補修保守点検の目的で防水層上を歩行する際には、防水層を損傷する可能性の低い履物(ゴム底の靴などの柔らかい履物)を使用してください。
- ・防水層の表面が雨や雪でぬれていたり、落葉・苔・砂・埃などが堆積していると防水層上は滑りやすくなりますので、歩行の際には転倒にご注意ください。
- ・防水層上に溶剤・油・薬品類をこぼさないよう、注意してください。万が一、こぼれてしまった際には専門工事店にご相談ください。
- ・防水層に傷をつけたり、防水層上でものを落としたり、引きずったりすることは避けてください。
- ・雪下ろしには、金属製のスコップなどの防水層を損傷させやすい道具を使用しないでください。
- ・防水層の上に、重量物や振動物を直接載せないでください。
- やむを得ない場合には、ビュートップU20·M20·ビュージスタVJ等、 防水層の養生となるもので防水層本体を保護してください。
- ・たばこの投げ捨てや防水層上での火気使用は厳禁です。

定期的なメンテナンスのお願い

- ・防水層の表面状況の点検…1年に1回
- 防水層の亀裂・破断の発生状況、保護塗料の減耗状況、大きなフクレ発生の有無、設備基礎廻りの劣化状況
- ・防水廻りの金物の点検…1年に2回
- 立上り押え金物の設置状況、金物廻りのシーリングの劣化状況、水切金物・笠木の設置状況
- ・ルーフドレン、排水溝、排水経路の点検、清掃… 1年に2回
- ゴミの清掃、ドレン廻りでの植物の生育状況
- ・保護塗料の塗り替え…5年に1回程度
- ・防水層の点検・補修・仕上げ塗料の再塗装には、専門技術が必要です。
- 弊社営業担当または工事を請け負った防水施工業者へご依頼ください。(原則有償)



歩行する場合は、底が 柔らかい履物を使用し てください。



防水層の上で火を燃や したり、タバコを投げ 捨てたりしないでくだ さい。



重量物を、防水層の上 に置かないでくださ い。



振動する物や鋭利な物を、防水層の上に置かないでください。



防水層の上に溶剤・薬 品類をこぼしたり流さ ないでください。



防水シート上でペット (犬、猫、小動物類)を 飼うことは、ご遠慮く ださい。



防水層の表面に水や雪 等があると滑り易くな りますので、歩行には 注意してください。



防水層に苔・草等を生 やさないように、側溝・ ドレン周辺に土砂等が たまったら、定期的に 取り除いてください。



防水層の端末・ドレン 周辺は、半年毎に点検 を実施し、異常があっ た場合はご相談くださ



北海道防水改修事業センター

東北防水改修工事協同組合

関東防水管理事業協同組合

東海防水改修工事協同組合

北陸防水改修事業センター

関西防水管理事業協同組合

中国防水改修事業センター

九州防水改修工事協同組合

田島ルーフィング株式会社

http://www.tajima.jp

東京支店

〒101-8579 千代田区外神田4-14-1 TEL 03-6837-8888

大阪支店

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5 TEL 06-6443-0431

札幌営業所

〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6 TEL 011-221-4014

仙台営業所

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35 TEL 022-261-3628

北関東営業所

〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-49-8 TEL 048-641-5590

千葉営業所

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1 TEL 043-244-3711

横浜営業所

〒231-0012 横浜市中区相生町6-113 TEL 045-651-5245

金沢営業所

〒920-0025 金沢市駅西本町1-14-29 TEL 076-233-1030

名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄1-9-16 TEL 052-220-0933

広島営業所

〒730-0029 広島市中区三川町2-10 TEL 082-545-7866

福岡営業所

〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-35 TEL 092-724-8111